EPSON
EXCEED YOUR VISION

CPS ソフトリッパー Plus3 for LASER

ユーザーズガイド

PostScript® ソフトウェアインタープリタ

Adobe® PostScript® 3™

NPD1851-00

商標およびご注意

Apple の名称、ロゴ、漢字 Talk、AppleTalk、Macintosh、Power Macintosh、PowerBook、ColorSync、FireWire およびTrueTypeは米国その他の国における米国アップルコンピュータ社の登録商標または商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Adobe Illustrator、Adobe Photoshop、Adobe PageMaker、PostScript、Acrobat は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）およびその子会社の各国での登録商標または商標です。
PowerPC は米国 IBM コーポレーションの商標です。
Quark、QuarkXPress は Quark 社の登録商標です。
GretagMacbeth は GretagMacbeth Holding AG. Logo の登録商標です。ProfileMaker は LOGO GmbH の商標です。
本書に記載したその他の製品名は、その所有者の登録商標または商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

© セイコーエプソン株式会社　2006

もくじ

はじめに

本製品の特長.....7
使用時の注意.....9

Windows での使用方法

セットアップについて.....11
プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）.....13
プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）.....15
スタンドアロン接続環境でのインストール.....17
印刷を始める前に.....19
EPSON PS Server の準備.....19
EPSON PS Server の起動.....22
印刷の手順.....23
プリンタドライバの設定項目について.....25
［印刷設定］ダイアログ.....25
［詳細オプション］ダイアログ.....28
その他の印刷方法.....33
ファイルへの出力.....33
ドラッグ&ドロップによる印刷.....35
［ファイル］メニューから印刷.....35
EPSON PS Folder を使用して印刷.....35
カラーシミュレーション機能について.....36
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは.....36
設定と印刷の手順.....38
EPSON PS Server の使用方法.....41
ファイルの直接印刷.....41
初期設定.....42
プリンタ初期設定.....43
カラーマネージャ設定.....48
プリンタの再選択.....52
メッセージのクリア.....52
メインウィンドウ.....53
［ヘルプ］メニュー.....54
EPSON PS Manager について.....55
EPSON PS Manager の概要.....55
起動.....55
終了方法.....57
EPSON PS Manager の操作.....58
EPSON PS Folder.....61
動作環境.....61

操作方法.....61

Mac OS X での使用方法

セットアップについて 63
AppleTalk 接続でのプリンタの追加.....65
Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加.....68
TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加.....70
印刷を始める前に 73
EPSON PS Server の準備.....73
EPSON PS Server の起動.....77
印刷の手順 78
用紙設定の手順.....78
印刷設定の手順.....79
プリンタドライバの設定項目について.....80
［ページ設定］ダイアログ.....80
［プリント］ダイアログ.....84
その他の印刷方法 99
ファイルへの出力.....99
ドラッグ&ドロップによる印刷.....101
［ファイル］メニューから印刷.....102
ホットフォルダを使用して印刷（EPSON PS Folder）.....102
カラーシミュレーション機能について.....103
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは.....103
設定と印刷の手順.....105
EPSON PS Server の使用方法.....108
ファイルの直接印刷.....108
環境設定.....109
プリンタ初期設定.....115
カラーマネージャ設定.....120
プリンタの再選択.....124
メッセージのクリア.....125
メインウィンドウの表示 / 非表示.....125
［ヘルプ］メニューについて.....126
EPSON PS Manager について 127
EPSON PS Manager の概要.....127
起動.....127
終了方法.....129
EPSON PS Manager の操作.....129
EPSON PS Folder 133
EPSON PS Folder の概要.....133
ホットフォルダの作成方法.....133
［ホットフォルダプロパティ］画面について.....137
ホットフォルダの削除方法.....139

Mac OS 9 クライアントでの使用方法

セットアップについて 141
AppleTalk 接続でのプリンタの選択 143
TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択 145
印刷の手順 149
用紙設定の手順 149
印刷設定の手順 150
プリンタドライバの設定項目について 151
［用紙設定］ダイアログ 151
［プリント］ダイアログ 158
ファイルへの出力 172
カラーシミュレーション機能について 174
CMYK/RGB カラーシミュレーションとは 174
設定と印刷の手順 176
EPSON PS Manager について 179
EPSON PS Manager の概要 179
起動 179
終了方法 181
EPSON PS Manager の操作 181

付録

困ったときは 185
本製品をアンインストールしたい 189
ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定 190
プリンタ用 ICC プロファイルについて（Mac OS 9、Mac OS X の場合） 190
インストールされるファイル、フォルダ 191

索引 194

はじめに

ここでは、本製品の特長と使用上の注意について説明します。

● **本製品の特長**.....7
● **使用時の注意**.....9

本製品の特長

本製品は、エプソンレーザープリンタを PostScript プリンタとしてお使いいただくためのアプリケーションソフトです。プリンタ本体が PostScript に対応していなくても、本製品を使って PostScript プリンタとして使用できます。
本製品の特長は次の通りです。

■ EPSON PS Server のプリントサーバ機能

本製品の中心的なソフトウェア「EPSON PS Server」は、コンピュータからの印刷命令を処理して、プリンタを PostScript プリンタとして機能させて印刷を行います。ネットワーク環境で、1 台のコンピュータに EPSON PS Server をインストールし、そのコンピュータをプリントサーバとして、他の複数コンピュータ（クライアント）から、プリンタを共有して印刷できます。また、スタンドアロン接続も使用できます。

■ EPSON PS Manager の印刷ジョブ管理機能

EPSON PS Server の印刷ジョブを管理・コントロールするユーティリティソフト「EPSON PS Manager」を装備しています。EPSON PS Manager を使って、以下のことができます。

- 印刷ジョブの再印刷、印刷設定の変更が可能。
- 印刷ジョブのプレビュー（サムネイル）表示が可能。
- FTPを使用してEPSON PS Serverに印刷ファイルの転送が可能(Mac OS Xサーバはサポートしていません)。

■ ファイルの直接印刷（管理者権限でのみ印刷可）

PostScript ファイル、EPS ファイル、PDF（Ver. 1.5）ファイル、JPEG ファイル、TIFF ファイルの直接印刷ができます。お使いのアプリケーションソフトウェアから直接印刷できるだけでなく、アプリケーションを起動することなく、これらの形式のファイルを印刷することができます。

■ EPSON PS Folder を使用したホットフォルダによる印刷をサポート

あらかじめ登録しておいたフォルダに、対応ファイルをドラッグ＆ドロップすることで、アプリケーションソフトを介さずに印刷できます。

■ オフセット印刷機色のシミュレーション機能を搭載

本製品は「CMYK シミュレーション機能」を搭載しています。最終的にオフセット印刷機で印刷する CMYK 色をシミュレートできます。シミュレートできる印刷機の色は、「DIC」、「TOYO」、「SWOP」、「Euro」、「JMPA」、「JapanColor2001」の 6 つの中から選択できます。さらに、カスタムプロファイルを使用することで、上記 6 種類以外の CMYK シミュレーションも可能です。

■ RGB カラーのシミュレーション機能を搭載

本製品は RGB カラーのシミュレーション機能を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーを指定した RGB カラーでシミュレートできます。「自然な色合い」と「鮮やかな色合い」を選択することで、プリンタカラーのシミュレートも行うことが可能です。

■ 市販の Type 1/CID フォントが利用可能（Windows は不可）

本製品の標準フォント以外にも、市販のさまざまな欧文 Type 1 フォントや和文 CID フォントで印刷できます。ただし、OCF フォントは使用できません。

- 市販のプリンタフォントは、本製品のEPSON PS Serverをインストールした1台のコンピュータにインストールします。各フォントパッケージに添付されている標準のインストーラでインストールできます。必ず EPSON PS Server を先に起動しておいてから、プリンタフォントをインストールしてください。フォントのインストール手順については、フォントの取扱説明書を参照してください。
- 印刷を行うコンピュータには、スクリーンフォントやATMフォントをインストールします。

■ 市販の OpenType フォントが利用可能

Windows 版および Mac OS 版の OpenType フォントは、印刷を行う各コンピュータにインストールして印刷できます。フォントのインストール手順については、フォントの取扱説明書を参照してください。

> **参考** 本製品は OpenType フォントのダイナミックダウンロード機能に対応しています。お使いのアプリケーションソフトがダイナミックダウンロードに対応していれば OpenType フォント用の特殊なプリンタフォントは必要はありません。

使用時の注意

本製品のプリントサーバ機能（EPSON PS Server）を管理する方は、次の点に注意してください。

■ スリープ機能（節電設定）について

プリントサーバがスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

- Windows の場合
  ［電源オプションのプロパティ］の［電源設定］ダイアログで［電源設定］を［常にオン］に設定してください。
- Mac OS X の場合
  ［省エネルギー］の［スリープ］を無効にしてください。

■ FTP サーバまたは LPR サーバについて

FTP サーバまたは LPR サーバが動作しているコンピュータでは、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■ Mac OS X のパーソナル Web 共有について

Mac OSX 版の EPSON PS Server で EPSON PS Manager を使用したジョブの操作を行うには、［共有］の［パーソナル Web 共有］の機能をオンにする必要があります。

■ OS のログインユーザ権限について

EPSON PS Server の実行には Administrator（管理者）権限のユーザでログインする必要があります。

■ Windows XP SP2 のファイアウォールの設定について

Windows XP Service Pack 2（SP2）のサーバ環境、クライアント環境どちらの場合も、EPSON PS Server をファイアウォールの例外対象に設定します。

① Windows XP SP2 で［スタート］－［コントロールパネル］を選択し、コントロールパネル画面で［Windows ファイアウォール］をダブルクリックします。
② Windows ファイアウォールの画面で［例外］タブをクリックし、［例外］タブ画面で［プログラムの追加］をクリックします。
③［プログラムの追加］画面で［EPSON PS Server］を選択し、［OK］をクリックします。
④［Windows ファイアウォール］の［例外］画面で、［EPSON PS Server］が登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。

Windows での使用方法

ここでは、Windows で使用する方法について説明します。

● セットアップについて 11
● 印刷を始める前に 19
● 印刷の手順 23
● プリンタドライバの設定項目について 25
● その他の印刷方法 33
● カラーシミュレーション機能について 36
● EPSON PS Server の使用方法 41
● EPSON PS Manager について 55
● EPSON PS Folder 61

セットアップについて

EPSON PS Server が稼動する OS（プリントサーバ）と印刷を行う OS（クライアント）の組み合わせによって印刷をおこなうための前提条件などが異なります。下表を参照して前提条件（［A］～［F］）を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS（EPSON PS Server 稼動コンピュータ）	
		Mac OS X	Windows XP
クライアントの OS	Mac OS 9	［A］AppleTalk、TCP/IP	［B］TCP/IP
	Mac OS X	［C］AppleTalk、Rendezvous/Bonjour*、TCP/IP	［D］TCP/IP
	Windows 2000/XP	［E］TCP/IP	［F］TCP/IP

* Mac OS X v10.2.8/v10.3.9：Rendezvous
Mac OS X v10.4.x：Bonjour

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

［A］Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

☞ 本書 143 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの選択」
☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

［B］Mac OS 9 → Windows XP

Mac OS 9 の［セレクタ］からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

［C］Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。

☞ 本書 65 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 68 ページ「Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[D] Mac OS X → Windows XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[E] Windows 2000/XP → Mac OS X

Windows 2000/XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

[F] Windows 2000/XP → Windows XP

Windows XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

スタンドアロン接続

本製品をスタンドアロン接続で使用する場合でも、システム内部ではプリントサーバとクライアントソフトがネットワークによる通信を行います。Windows XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 17 ページ「スタンドアロン接続環境でのインストール」

プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）

1 **コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。**

2 **プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON ステータスモニタがインストールされていることを確認します。**
プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON ステータスモニタのセットアップについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

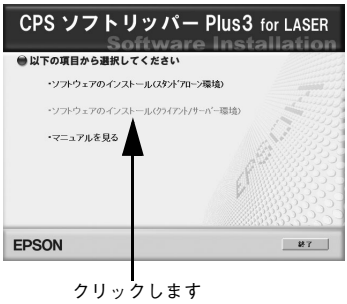
3 **CD-ROM をセットします。**
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。

> **参考** インストールの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] – [CD-ROM] – [epsetup.exe] をダブルクリックしてください。

4 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、[インストール中止] をクリックし、ウィルスチェックプログラムを中止して 3 からやり直します。

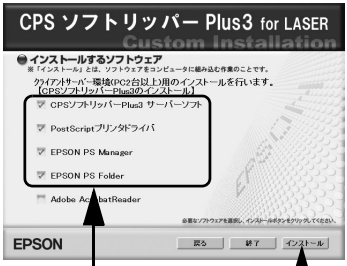
5 **使用許諾契約の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。**

6 **[ソフトウェアのインストール（クライアント / サーバー環境)] をクリックします。**



クリックします

7 **インストールするソフトウェアを確認して、[インストール] をクリックします。**



①確認して　②クリックします

参考

- 標準ドライバおよびEPSONステータスモニタがインストールされていないと、エラーメッセージが表示されてインストーラが終了します。
- 下記のメッセージが表示された場合は、[OK] をクリックしてインストール作業を続けて、インストール終了後にSNMPポートを未使用にしてください。

クリックします

8 **画面の指示に従ってインストールを続けます。**

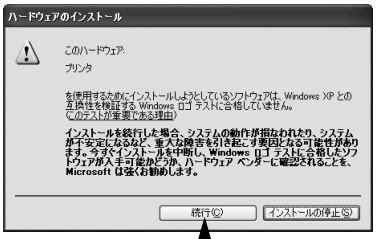
9 **インストール終了画面で［完了］をクリックします。次にドライバの設定を行います。**

10 **［ドライバインストーラ］画面のリストから、[IP_127.0.0.1］ポートを選択して [インストール] をクリックします。**

①選択して　②クリックします

参考

下記の画面が表示された場合は、[続行] をクリックしてインストール作業を続けてください。



クリックします

11 **画面の指示に従って作業を続行します。**

12 **インストール完了画面が表示されたら［終了］をクリックします。**

プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）

1 **コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。**

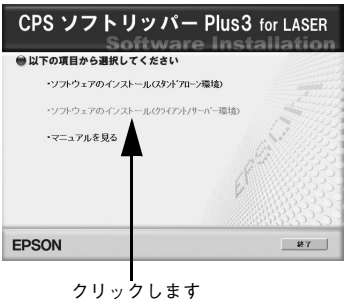
2 **CD-ROM をセットします。**
インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。

> **参考** インストールの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] − [CD-ROM] − [epsetup.exe] をダブルクリックしてください。

3 **画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。**
ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、[インストール中止] をクリックし、ウィルスチェックプログラムを中止して 2 からやり直します。

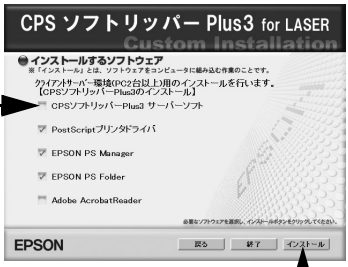
4 **使用許諾契約の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。**

5 **[ソフトウェアのインストール（クライアント / サーバー環境)] をクリックします。**



クリックします

6 **右の画面のように、[CPS ソフトリッパーPlus3 サーバーソフト]のチェックボックスからチェックマークを外して [インストール] をクリックします。**



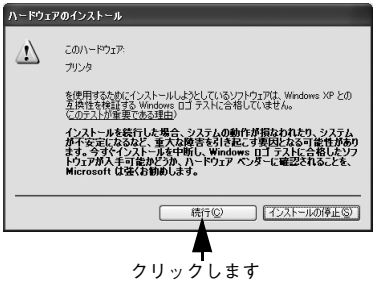
①チェックマークを外して　②クリックします

> **参考** [PostScript プリンタドライバ]、[EPSON PS Manager]、[EPSON PS Folder] のチェックボックスにチェックが入っていることを確認してください。

7 **［ドライバインストーラ］画面のリストから、EPSON PS Server をインストールしたコンピュータの IP アドレスをポートとして選択し、［インストール］をクリックします。**

リストにポートがない場合は、［ポート新規追加］をクリックし、EPSON PS Server をインストールしたコンピュータの IP アドレスを設定してポートを作成します。

参考 下記の画面が表示された場合は、［続行］をクリックしてインストール作業を続けてください。



8 **画面の指示に従って作業を続行します。**

9 **インストール完了画面が表示されたら［終了］をクリックします。**

スタンドアロン接続環境でのインストール

❶ コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

> **!注意** OS の起動ディスクを C 以外に変更している場合はインストールが行えません。OSの起動ディスクをCドライブに変更してからインストールを行ってください。

❷ プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON ステータスモニタがインストールされていることを確認します。

プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON ステータスモニタのセットアップについては、プリンタの取扱説明書を参照してください。

❸ CD-ROM をセットします。

インストーラが自動的に起動して、インストールの画面が表示されます。

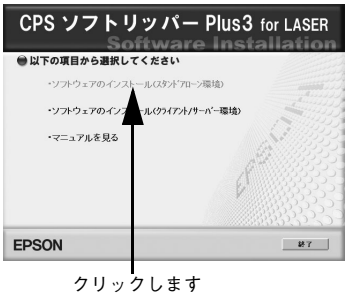
> **参考** インストールの画面が表示されない場合は、[マイコンピュータ] − [CD-ROM] − [epsetup.exe] をダブルクリックしてください。

❹ 画面の内容を確認して、[続ける] をクリックします。

ウィルスチェックプログラムを起動している場合は、[インストール中止] をクリックし、ウィルスチェックプログラムを中止して ❸ からやり直します。

❺ 使用許諾契約の画面で内容を確認して、[同意する] をクリックします。

❻ [ソフトウェアのインストール（スタンドアローン環境）] をクリックします。

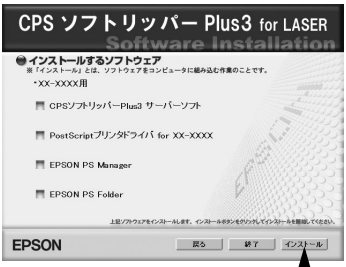


クリックします

7 **インストールするプリンタ名をクリックします。**

クリックします

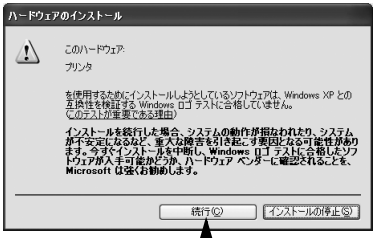
8 **［インストール］をクリックします。**



クリックします

9 **画面の指示に従ってインストール作業を続けます。**

参考 下記の画面が出た場合は、［続行］をクリックしてインストール作業を続けてください。



クリックします

10 **インストール終了画面が表示されたら、［終了］をクリックします。**

印刷を始める前に

Windows から印刷する前に、EPSON PS Server を起動する必要があります。
以下の手順に従って、コンピュータの準備を整えてください。

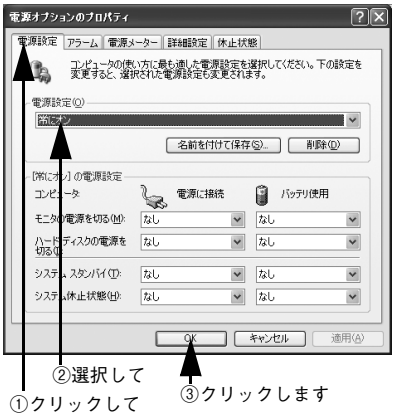
EPSON PS Server の準備

電源オプションの設定

EPSON PS Server をインストールした PC がスリープしないように設定します。

1. **［電源オプションのプロパティ］ダイアログを表示します。**
［スタート］－［コントロールパネル］－［パフォーマンスとメンテナンス］－［電源オプション］の順にクリックします。

2. **［電源設定］タブをクリックし、［電源設定］で［常にオン］を選択して、［OK］をクリックします。**



！注意 EPSON PS Server をインストールしたプリントサーバはスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

Windows XP SP2 ファイアウォールの設定

Windows XP Service Pack 2（SP2）のサーバ環境、クライアント環境どちらの場合も下記の設定が必要です。

1. **［スタート］－［コントロールパネル］を選択して、［セキュリティセンター］をクリックします。**

2. **［Windows ファイアウォール］をクリックします。**

3. **［例外］タブをクリックします。**

クリックします

4. **［プログラムの追加］をクリックします。**

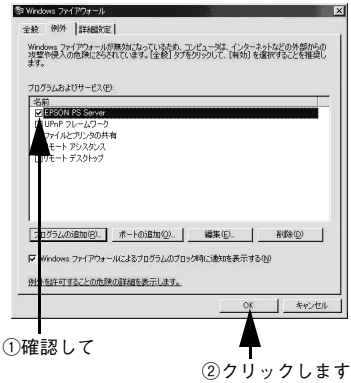
クリックします

5. **［EPSON PS Server］を選択して［OK］をクリックします。**

①選択して

②クリックします

6 **［EPSON PS Server］が登録され、チェックが付いていることを確認したら、［OK］をクリックします。**



起動する前に

EPSON PS Server を起動する前に、次の点に注意してください。

■ プリンタは印刷可能な状態ですか？

EPSON PS Server を起動する前にプリンタの動作確認を行って、プリンタが正しく動作していることを確認してください。動作確認の方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。

■ プリンタに同梱されている標準プリンタドライバと EPSON ステータスモニタはインストールされていますか？

EPSON PS Server を起動する場合、プリンタに同梱されている標準プリンタドライバとEPSONステータスモニタがインストールされており、印刷可能な状態になっている必要があります。これらのソフトウェアがインストールされていない場合は、インストールしてから EPSON PS Server を起動してください。プリンタドライバのインストールと使用方法については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

■ 管理者権限のユーザアカウントでログインしていますか？

EPSON PS Server を起動するには管理者（Administrator）権限が必要です。制限ユーザアカウントでは EPSON PS Server を起動できません。

■ SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバ /LPR サーバが動作していませんか？

SNMP プロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバまたは LPR サーバが動作しているコンピュータでは、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

EPSON PS Server の起動

準備が整ったら、印刷する前に EPSON PS Server を起動してください。Windows 環境にインストールした EPSON PS Server は以下の手順で起動できます。

!注意
- 印刷の前には、必ず EPSON PS Server を起動してください。
- EPSON PS Server を起動するには準備が必要です。準備を整えていない場合は、以下のページを参照してしてください。
☞ 本書 19 ページ「EPSON PS Server の準備」

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにし、プリンタがエラー状態にないことを確認します。

参考 使用しているコンピュータにSNMPプロトコルを使用するアプリケーションや FTP サーバまたは LPR サーバが動作している場合は、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については、各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

2 EPSON PS Server をインストールした Windows の［スタート］－［すべてのプログラム］－［EPSON］－［CPS ソフトリッパー Plus3］－［EPSON PS Server］の順にクリックします。

EPSON PS Server が起動するとメインウィンドウが開き、印刷の状態やエラー状況を確認できます。EPSON PS Server の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 41 ページ「EPSON PS Server の使用方法」

参考 EPSON PS Server をインストール後初めて起動する場合は、以下のページを参照してライセンス番号を入力してください。
☞ セットアップガイド「ライセンス番号の入力」

印刷の手順

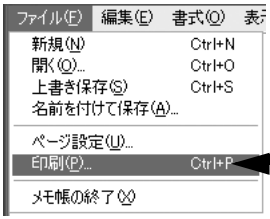
EPSON PS Server が管理するプリンタが［プリンタと FAX］または［プリンタ］に追加されており、EPSON PS Server が起動していれば印刷できます。ここでは、Windows アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。
実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で印刷の向きなどを設定します。

> **参考** アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. **EPSON PS Server が起動していることを確認します。**

2. **アプリケーションソフトを起動します。**

3. **［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。**
   アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（［プリント］など）。



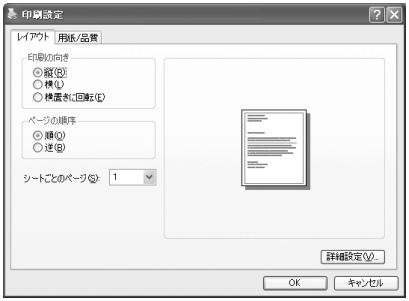
4. **［印刷］ダイアログで、EPSON PS Server が使用するプリンタ（通常は EPSON XX-XXXXPS のように、機種名の末尾に PS が付いているプリンタ）を選択し、［詳細設定］または［プロパティ］をクリックします。**

> **参考** プリンタに同梱されている標準プリンタドライバ（EPSON XX-XXXX）と本製品の PS プリンタドライバ（EPSON XX-XXXXPS）を混同しないよう使い分けてください。PostScript プリンタとして利用するには、本製品としてインストールされた PS プリンタドライバを使用してください。

5 **各項目を設定します。**

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 25 ページ「[印刷設定] ダイアログ」



参考

- プリンタ固有の機能を利用するには、[詳細オプション] ダイアログで設定してください。
  ☞ 28 ページ「[詳細オプション] ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、右クリックして表示される［ヘルプ］をクリックし、ヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

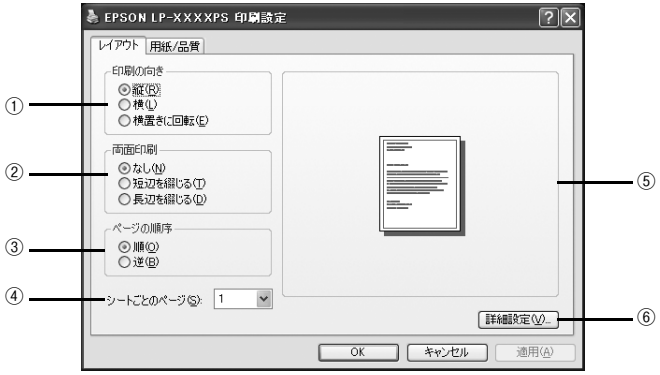
6 **[OK] をクリックし、[印刷] ダイアログで［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

プリンタドライバの設定項目について

［印刷設定］ダイアログ

［印刷設定］ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。

レイアウト



① 印刷の向き

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するか選択します。
［横向きに回転］を選択すると、用紙を反時計回りに 90° 回転して印刷します。

② 両面印刷

両面印刷ユニットを使って用紙の両面に印刷するときに、両面印刷のとじ方向を選択します。

設定	説明
なし（初期設定）	片面のみ印刷を行います。
短辺を綴じる	短辺を綴じるように両面印刷を行います。
長辺を綴じる	長辺を綴じるように両面印刷を行います。

③ ページの順序

設定	機能
順	最初のページから印刷します。
逆	最後のページから印刷します。

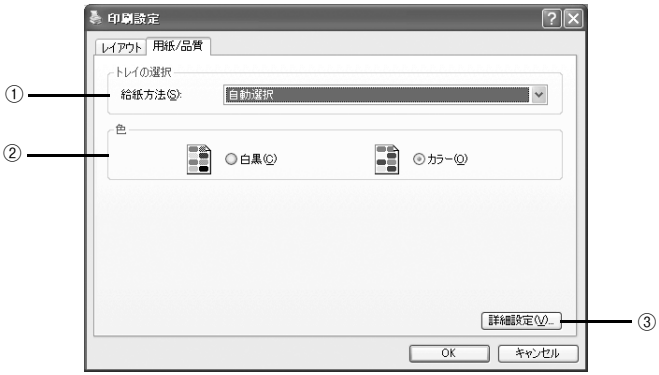
④ シートごとのページ

設定	機能
1	割付印刷しません。
2、4、6、9、16	連続した印刷データを 1 枚の用紙に、指定したページ数を割り付けて印刷します。

⑤ プレビューウィンドウ
設定状況をイラストで表示します。

⑥ 詳細設定
［詳細オプション］ダイアログを開きます。
☞ 本書 28 ページ「［詳細オプション］ダイアログ」

［用紙 / 品質］ダイアログ



① 給紙方法
どの給紙装置にセットされている用紙を使用するかを選択します。

設定	機能
自動選択（初期設定）	［自動選択］選択時、接続形態によって使用される給紙装置が次のように異なります。 • プリントサーバ、スタンドアロン接続の場合 プリンタ本体側と EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で、設定されている給紙装置が異なる場合、プリンタ本体側の設定が有効になります。 • クライアントの場合 プリンタ本体側と EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で、設定されている給紙装置が異なる場合、EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で設定されている給紙装置が使用されます。この場合、EPSON ステータスモニタやプリンタの操作パネルに給紙装置変更のメッセージが表示されますので、メッセージに従って給紙装置を変更する必要があります。 ☞ Windows：本書 43 ページ「プリンタ初期設定」 ☞ Mac OS X：本書 115 ページ「プリンタ初期設定」
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2/3/4	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

② 色

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

設定	機能
白黒*	モノクロ（白黒）で印刷します。グレースケール（階調）は再現しません。
カラー	カラーまたはグレースケールで印刷するときに選択します。

* アプリケーションソフトによっては、［白黒］を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、［詳細オプション］ダイアログで［カラー］を［モノクロ］に設定してください。
☞ 本書 28 ページ「［詳細オプション］ダイアログ」

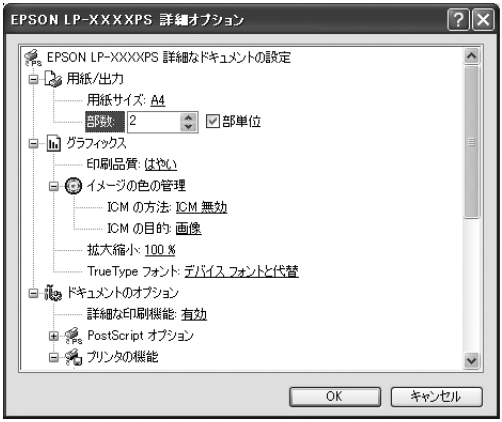
③ 詳細設定

［詳細オプション］ダイアログを開きます。
☞ 本書 28 ページ「［詳細オプション］ダイアログ」

［詳細オプション］ダイアログ

［詳細オプション］ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。

> **参考** 各項目で、現在の設定では使用できない選択肢は、選択肢名の左側に⚠が表示されます。



用紙 / 出力

設定	機能
用紙サイズ	印刷する用紙サイズを選択します。
部数	• 印刷する部数を最大 9999 部まで設定できます。 • ［部数］で複数部数を設定すると、［部単位］を設定できます。1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷できます。

グラフィックス

設定	機能	
印刷品質	印刷品質を指定します。	
	はやい（初期設定）	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
	きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調の変化する画像）の印刷に適しています。
イメージの色の管理	カラーグラフィックの色の管理について設定します。詳細については、PS ドライバのヘルプを参照してください。	
拡大縮小	3% ～ 1000% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。	
TrueType フォント	TrueType フォントのオプションを指定します。	
	デバイスフォントと代替（初期設定）	TrueType フォントが含まれるデータを印刷するときに、同等のプリンタフォントを使います。印刷は高速化されますが、プリンタフォントでサポートされていない特殊文字は印刷されません。
	ソフトフォントとしてダウンロード	プリンタフォントを使わずに、TrueType フォントをダウンロードして印刷します。

ドキュメントのオプション

設定		機能	
詳細な印刷機能		印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定します。	
		有効（初期設定）	メタファイルスプーリングはオンになり、それぞれのプリンタに応じた、［ページの順序］、［ブックレット印刷］、［シートごとのページ数］などのオプションもオンになります。通常は［有効］に設定してください。
		無効	メタファイルスプーリングはオフになり、印刷オプションも利用不能になる可能性があります。 互換性に関する問題が発生する場合は、［無効］に設定できます。
PostScript オプション		PostScript オプションを設定します。詳細については、PS ドライバのヘルプを参照してください。	
プリンタの機能		プリンタの印刷オプションを設定します。	
	用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。	
	カラー	カラー印刷するかグレースケール印刷するかを設定します。	
		カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
		モノクロ	モノクロで印刷します。
	スクリーン	スクリーンを選択します。	
		階調優先（初期設定）	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
		解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。
	CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択できます。 ☞ 本書 36 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
		オフ	シミュレーションしません。
		DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
		SWOP	SWOP™ 出版印刷色
		Euro	ヨーロッパの印刷色
		TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
		JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
		JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
		カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

設定		機能	
プリンタの機能	純ブラック	黒の調整方法を設定します。	
		オフ	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
		オン（初期設定）	CMYK4 色のうち、K のみを使用して黒の階調を表現します。
	RGB 補正方法	RGB 色空間を CMYK 印刷でシミュレートする場合に、補正する RGB 色を選択できます。 ☞ 本書 36 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
		オフ	RGB シミュレーションを行いません。
		Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
		Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
		sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
		自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
		鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
		カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
	RGB レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、［RGB 補正方法］のみに機能します。	
		オフ（初期設定）	色の再現範囲を調整しません。
		知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
		相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
		彩度	彩度を保持して変換を行います。
		絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

設定		機能	
プリンタの機能	RIT	RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。 * RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする EPSON 独自の印刷機能	
		オン（初期設定）	RIT をオンにします。
		オフ	RIT をオフにします。
	トナーセーブ	カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。	
		使用しない（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
		使用する	トナーセーブ機能を使用します。
	180 度回転	印刷データを 180 度回転して印刷します。	
		オフ（初期設定）	180 度回転しません。
		オン	180 度回転します。
	カラー / モノ自動判別	印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。	
		しない（初期設定）	カラー / モノ自動判別を行いません。
		する	カラー / モノ自動判別を行います。
	待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。	
		オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
		オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。
	ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
		オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
		上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
		下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
		左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
		右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

参考 ジョブ情報の印刷は印刷可能領域内に印刷されます。印刷可能領域いっぱいのデータを印刷する場合、ジョブ情報の印刷は［オフ］にしていただくことをお勧めします。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。

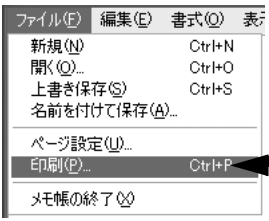
ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS（PostScript）ファイルまたは EPS（Encapsulated PostScript）ファイルとして保存することができます。

> **参考** PS ファイルや EPS ファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページを参照してください。
> ☞ 本書 35 ページ「ドラッグ & ドロップによる印刷」
> ☞ 本書 41 ページ「ファイルの直接印刷」

1 ［ファイル］メニューから［印刷］を選択します。

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（［プリント］など）。

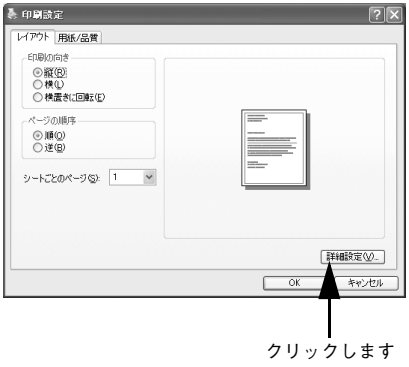


2 保存する範囲を設定して、［ファイルへ出力］にチェックマークを付けます。

> **参考** EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを超えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

3 EPSON PS Server が使用するプリンタ（通常は EPSON XX-XXXXPS のように、機種名の末尾に PS が付いているプリンタ）を選択して、［詳細設定］（または［プロパティ］）をクリックします。

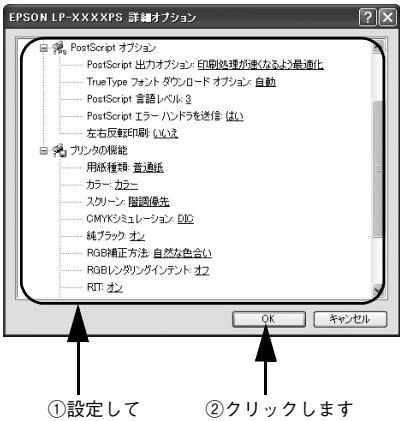
4 **［詳細設定］をクリックします。**



5 **［Post Script オプション］および［プリンタの機能］の各項目を設定し、［OK］をクリックします。**

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 28 ページ「［詳細オプション］ダイアログ」



6 **［印刷設定］ダイアログで［OK］をクリックし、［印刷］ダイアログで［印刷］をクリックします。**

7 **出力先のファイル名を入力して、［OK］をクリックします。**

ドラッグ&ドロップによる印刷

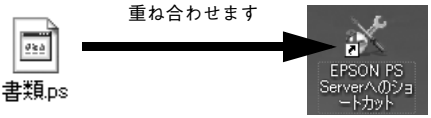
EPSON PS Server をインストールしてあるコンピュータであれば PostScript 対応アプリケーションがなくても、［ファイルへ出力］の設定で出力した印刷ファイルを［EPSON PS Server］アイコンまたは EPSON PS Server のウィンドウに重ね合わせて（ドラッグ&ドロップ）印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。

参考

- EPSON PS Server のショートカットを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ & ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

印刷したいファイルの上でマウスボタンを押し、そのままマウスを移動させて EPSON PS Server（またはショートカット）のアイコンまたはウィンドウの上にファイルを重ね合わせ、マウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

＜例：EPSON PS Server のショートカットにドラッグ & ドロップする場合＞



参考

- ［印刷設定］ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に［印刷設定］や［詳細オプション］ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］より優先されます。
  ☞ 本書 43 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ & ドロップしても EPSON PS Server が反転表示されない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

［ファイル］メニューから印刷

EPSON PS Server の［ファイル］メニューから［開く］を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。
印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 41 ページ「ファイルの直接印刷」

EPSON PS Folder を使用して印刷

あらかじめ作成した専用フォルダに、対応ファイルをドラッグ&ドロップするだけで、アプリケーションソフトを介さずに印刷することができます。詳細については以下のページを参照してください。
☞ 本書 61 ページ「EPSON PS Folder」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）のほとんどでは、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 ☞ 本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB 補正方法

本製品は RGB カラーの補正機能を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーを指定した RGB カラーでシミュレートできます。「自然な色合い」と「鮮やかな色合い」を選択することで、プリンタカラーのシミュレートも行うことが可能です。

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB 補正方法を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品で補正できる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色 ☞ 本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

!注意 本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
  ☞ 本書 190 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

> **参考** 印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

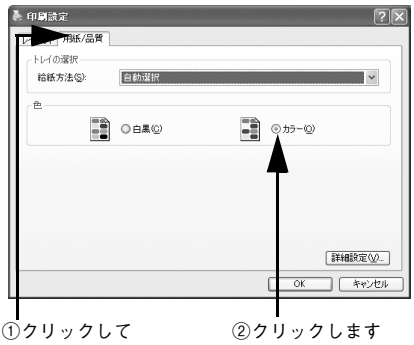
> **参考** Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 [印刷] ダイアログを開きます。

☞ 本書 23 ページ「印刷の手順」

3 EPSON PS Server が使用するプリンタ(通常は EPSON XX-XXXXPS のように、機種名の末尾に PS が付いているプリンタ)を選択して、[詳細設定](または [プロパティ])をクリックします。

4 [印刷設定] ダイアログの [用紙 / 品質] タブをクリックし、[色] で [カラー] を選択します。



> **!注意** 必ず [カラー] を選択してください。[白黒] を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

5 [詳細設定] をクリックします。

6 **［ドキュメントのオプション］の［プリンタの機能］の［カラー］で［カラー］を選択します。**

> **!注意** 必ず［カラー］を選択してください。［モノクロ］を選択すると、CMYK シミュレーションや RGB 補正などのカラー調整に関する設定は行われません。

7 **［CMYK シミュレーション］と［RGB 補正方法］で、シミュレーションの対象となるプロファイルを選択して、［OK］をクリックします。**

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社のDIC標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 ☞ 本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色 ☞ 本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYKデータであればCMYKシミュレーションが行われ、RGBデータであればRGB シミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、［オフ］ を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず［オフ］を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
  ☞ 本書 190 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

8 **［印刷設定］ダイアログで［OK］をクリックし、［印刷］ダイアログで［印刷］をクリックして印刷を実行します。**

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルに対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。
対応：
PS、PDF Ver. 1.5、TIFF*1、JPEG*2、EPS*3

*1 ベースラインに準拠、LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポートしています。
ZIP 圧縮、1bit TIFF、16bit TIFF、YcbC、マルチページ、α チャネルには非対応です。

*2 ベースラインに準拠、1 ピクセル =1 ポイントで描画します。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応です。

*3 基本的な EPS ファイルは全てサポートします。アプリケーションソフトによっては、EPS ファイルの末尾に"showpage"のコマンドが入らないファイルが作成されます。その場合は、ホットフォルダで"showpage"コマンドが付くように設定して印刷していただければ問題ありません。

!注意 直接印刷については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 33 ページ「その他の印刷方法」

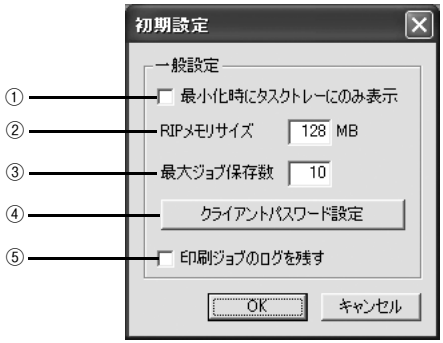
参考
- アプリケーションソフトで作成した EPS ファイルでページのサイズ情報などが保存されない場合は、最大サイズで印刷されます。
- カスタム用紙サイズを選択して EPS ファイルを作成した場合、最大用紙サイズで印刷してください。
- A4などの定型用紙サイズを選択してEPSファイルを作成した場合、指定した用紙サイズで印刷してください。

EPSON PS Server の［ファイル］メニューから［開く］を選択します。印刷したいファイルを選択して、［開く］をクリックしてください。

PS、PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は［プリンタ初期設定］ダイアログで設定できます。
☞ 本書 43 ページ「プリンタ初期設定」

初期設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server の［編集］メニューから［初期設定］を選択します。



① 最小化時にタスクトレーにのみ表示

チェックマークを入れると、EPSON PS Server ウィンドウを最小化したときに、タスクバー右側のタスクトレーにアイコンで表示します。

② RIP メモリサイズ

PostScript インタープリタが使用可能な最大メモリサイズを設定します。20MB から設定できます（初期設定は 128MB）。処理が遅い場合や一部が印刷できない場合などにメモリサイズを増やしてみてください。ただし、物理メモリサイズよりも多く設定した場合は、処理速度が落ちる場合があります。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

③ 最大ジョブ保存数

保存できるジョブの最大数を設定します。1 ～ 99 まで設定できます（初期設定は 10 です）。設定数を超えるジョブを受信した場合、EPSON PS Manager でジョブの一覧を表示した際、古いジョブから順に削除されます。

④ クライアントパスワード設定

クリックして表示される［PS Manager パスワード］画面で、クライアントの EPSON PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。テキストボックスにパスワードを入力し、［OK］をクリックするとパスワードが設定されます。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

> **参考** 初期設定では、パスワードは設定されていません。

⑤ 印刷ジョブのログを残す

チェックマークを付けると、以下のフォルダに印刷ジョブのログを残します。

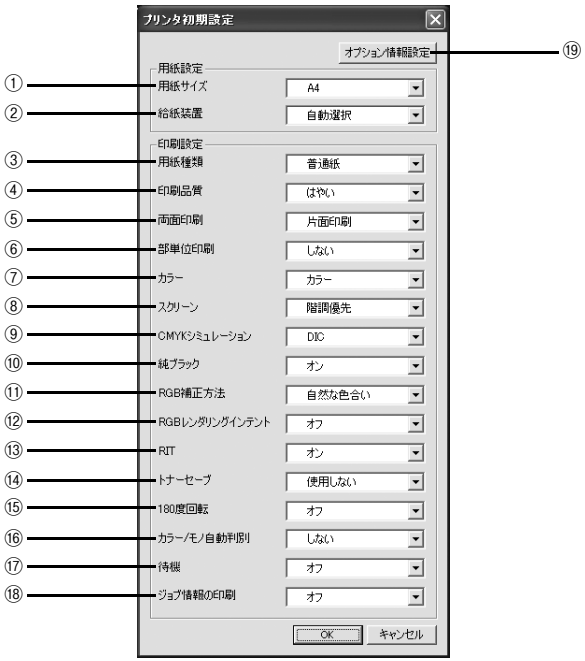
¥Documents and Settings¥（ログインユーザ名）¥Application Data¥EPSON¥PS Server¥job.log

プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の［編集］メニューから［プリンタ初期設定］を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PS、PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。
☞ 本書 41 ページ「ファイルの直接印刷」

参考

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。



① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。TIFF、JPEG ファイルの場合、用紙サイズに合わせて画像サイズが拡大・縮小されます。この自動縮小・拡大をさせたくない場合、EPSON PS Folder の共有フォルダを使うと拡大させない設定が可能です。
☞ 本書 61 ページ「EPSON PS Folder」

② 給紙装置

用紙の給紙装置を選択します。

③ 用紙種類
印刷で使用する用紙の種類を選択します。

④ 印刷品質
印刷の解像度を選択します。

⑤ 両面印刷
両面印刷ユニットを使って用紙の両面に印刷するときに、両面印刷のとじ方向を選択します。

設定	説明
片面印刷（初期設定）	片面のみ印刷を行います。
短辺綴じ	短辺を綴じるように両面印刷を行います。
長辺綴じ	長辺を綴じるように両面印刷を行います。

⑥ 部単位印刷
2 部以上印刷するときに 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。

⑦ カラー
カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
モノクロ	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑧ スクリーン
スクリーンを選択します。

設定	説明
階調優先（初期設定）	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

⑨ CMYK シミュレーション
オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするプロファイルを選択できます。

設定	説明
オフ	シミュレーションしません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑩ 純ブラック

黒の調整方法を設定します。

設定	説明
オフ	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
オン（初期設定）	CMYK4 色のうち、K のみを使用して黒の階調を表現します。

⑪ RGB 補正方法

RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB プロファイルを選択できます。

設定	説明
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑫ RGB レンダリングインテント

出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。

設定	説明
オフ（初期設定）	色の再現範囲を調整しません。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度	彩度を保持して変換を行います。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

⑬ RIT

RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

* RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする EPSON 独自の印刷機能

設定	説明
オン（初期設定）	RIT をオンにします。
オフ	RIT をオフにします。

⑭ トナーセーブ

カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

設定	説明
使用しない（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
使用する	トナーセーブ機能を使用します。

⑮ 180 度回転

印刷データを 180 度回転して印刷します。

設定	説明
オフ（初期設定）	180 度回転しません。
オン	180 度回転します。

⑯ カラー / モノ自動判別

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

設定	説明
しない（初期設定）	カラー / モノ自動判別を行いません。
する	カラー / モノ自動判別を行います。

⑰ 待機

印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

⑱ ジョブ情報の印刷

ジョブ情報を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

参考 ジョブ情報の印刷は印刷可能領域内に印刷されます。印刷可能領域いっぱいのデータを印刷する場合、ジョブ情報の印刷は［オフ］にしていただくことをお勧めします。

⑲［オプション情報設定］ボタン

クリックすると、プリンタに装着されているオプション装置の手動設定などができます。

設定	説明
オプションカセット	オプションの給紙装置を装着していない場合は、［なし］を選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名を選択します。
両面印刷ユニット	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、クリックして選択します。
オフセット	印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と左（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。 上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向） 左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログでは、以下の操作が行えます。

- 印刷モード（用紙種類、解像度）ごとに適用するカラープロファイルの設定を変更する。
- CMYK 入力カラープロファイルのトーンカーブを微調整する。
- EPSON 純正専用紙以外の用紙についての用紙設定を行う。

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の［編集］メニューから［カラーマネージャ設定］を選択します。

① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② ICC プロファイル（CMYK）

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の CMYK シミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルを編集する場合や、①で［カスタム］を選択した場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［詳細オプション］ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書を参照してください。

③ 色調整
①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして［トーンカーブ］ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、［調整済み］と表示されます。
☞ 本書 50 ページ「［トーンカーブ］ダイアログ」

> **参考** トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、［トーンカーブ］ダイアログで［リセット］クリックしてから、［保存］をクリックしてください。

④ RGB
RGB 補正方法のプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ ICC プロファイル（RGB）
④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の RGB 補正方法のプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルを編集する場合や、④で［カスタム］を選択した場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

> **参考**
> - ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［詳細オプション］ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
> - 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
> - カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書を参照してください。

⑥ 用紙
印刷で使用する用紙種類を選択します。

⑦ ICC プロファイル（用紙）
⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。各用紙（メディア）に対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。選択したカスタムプロファイルは所定のフォルダに追加コピーされます（プロファイルは 5 つまで追加可能）。また、追加コピーした任意のカスタムプロファイルを削除する場合は、［−］をクリックして削除してください。

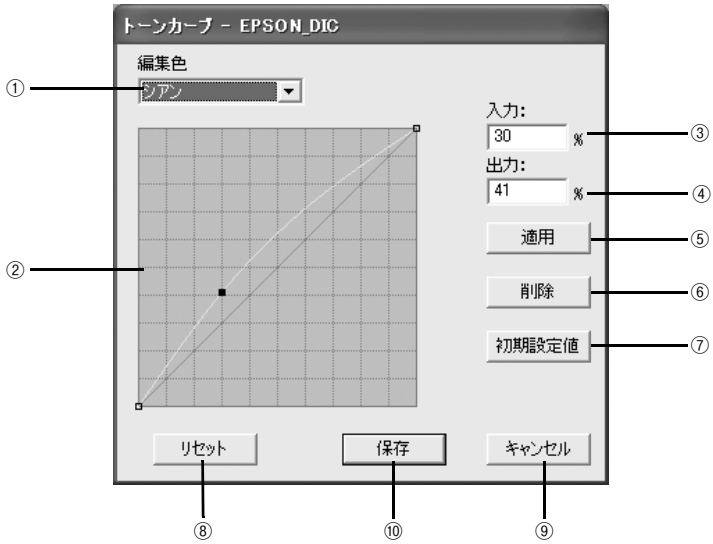
⑧ キャリブレーション情報
キャリブレーション情報を表示します。

⑨ リセット
［カラーマネージャ］ダイアログで変更した設定を初期設定に戻します。ただし、キャリブレーション情報は削除されません。

［トーンカーブ］ダイアログ

［カラーマネージャ設定］ダイアログの［色調整］にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、［トーンカーブ］ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

☞ 本書 49 ページ「③ 色調整」



① 編集色

調整する色を［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、［入力］と［出力］で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

［入力］で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

［入力］と［出力］で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ 初期設定値
［編集色］で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ リセット
トーンカーブエディタを開いた時の設定に戻します。

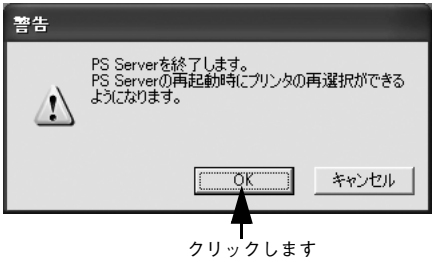
⑨ キャンセル
変更した設定値をキャンセルします。

⑩ 保存
調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、［カラーマネージャ設定］ダイアログの［色設定］に［調整済み］と表示します。

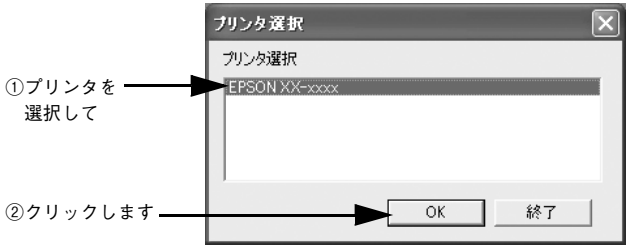
> **参考** トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、［トーンカーブ］ダイアログで［リセット］クリックしてから、［保存］をクリックしてください。

プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。［編集］メニューから［プリンタの再選択］を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、［OK］をクリックし EPSON PS Server を一旦終了させます。



次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。同じプリンタを選択してください。



メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、［編集］メニューから［メッセージをクリア］を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて［メッセージをクリア］を実行してください。
☞ 本書 53 ページ「メインウィンドウ」

メインウィンドウ

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

印刷中のメインウィンドウ

エラー状況の表示

① ステータス
現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル
印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときにクリックします。

③ プログレスバー
印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージを表示
EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この［メッセージを表示］をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、［編集］メニューにある［メッセージをクリア］を選択します。
☞ 本書 52 ページ「メッセージのクリア」

[ヘルプ] メニュー

⑤ ヘルプ

メニューバーで、[ヘルプ] ー [EPSON PS Server ヘルプ] を選択、クリックすると、本書（PDF マニュアル）が表示されます。

[ヘルプ] ー [EPSON PS Server について] をクリックすると、本製品のバージョン情報などが確認できます。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。
EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
Windows XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 ＜使用可能ブラウザ＞ IE4.0 以降で動作可能ですが、最新バージョンのご利用をお勧めします。

起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

1 EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。

- EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
- EPSON PS Server を起動します。

2 次の手順で EPSON PS Manager を起動します。

Windows 上で［スタート］をクリックし、表示されるメニューから［すべてのプログラム］－［EPSON］－［CPS ソフトリッパー Plus3］－［EPSON PS Manager］の順に選択、クリックします。

3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。

4 **パスワード入力画面が表示されます。**

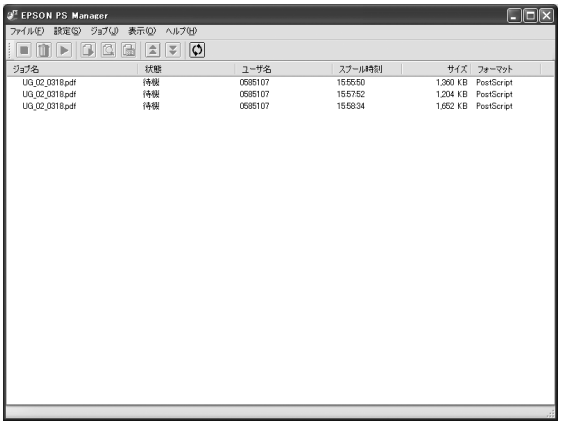
- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま［OK］をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。

> **参考**
>
> パスワードは、EPSON PS Server で設定します。
> - Windows の場合
>
> ［編集］メニュー－［初期設定］－［クライアントパスワードの設定］
> ☞ Windows：本書 42 ページ「初期設定」
> - Mac OS X の場合
>
> ［環境設定］－［クライアントパスワード］
> ☞ Mac OS X：本書 109 ページ「環境設定」

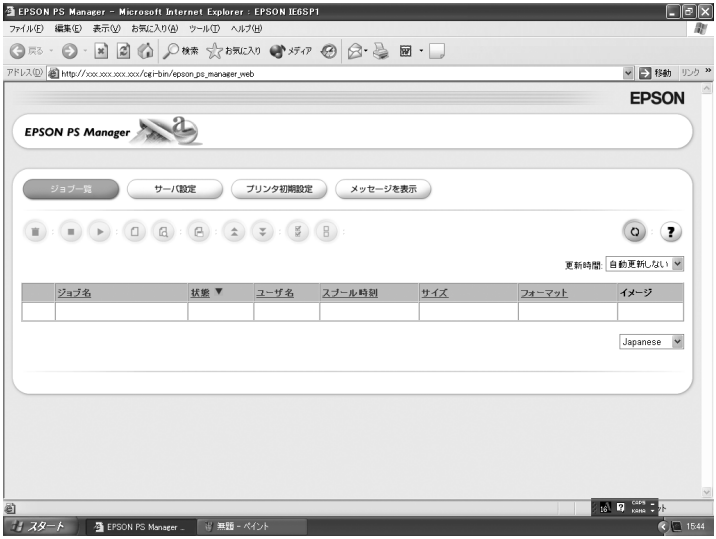
5 **EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。**

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】



【Web 版 EPSON PS Manager】



終了方法

EPSON PS Manager の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［ファイル］－［終了］をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。

【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（%）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備 • フォーマット異常 • PS エラー • カバーオープン • 用紙切れ • トナー切れ • インク切れ • 用紙ジャム
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を表示します。表示形式は以下の通りです。 • アプリケーション版「時：分：秒」 • Web 版「年：月：日　時：分」
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG

参考

- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、［待機］を［オン］に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されます。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	プレビュー表示	［プレビュー］画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	印刷設定	［印刷設定］画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	すでに印刷待ちになっているジョブより優先して印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	印刷の優先度を下げて、より優先度の高いほかのジョブより後で印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］－［サーバ設定］をクリックし、［全般］タブをクリックます。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［サーバ設定］をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。各設定項目については次のページを参照してください。
☞ 本書 43 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］－［サーバ設定］をクリックし、［デフォルト］タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［プリンタ初期設定］をクリックします。

③ メッセージを表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	［メッセージを表示］をクリックします。

④イメージ（サムネイル）表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

ジョブ一覧の［イメージ］に印刷ジョブにサムネイル画像を表示させます。
［イメージ］にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブか分かりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の［イメージ］欄 をクリックします。

!注意 **Web 版 EPSON PS Manager について**

- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、IE4.0 以降 * が標準のブラウザに設定されている必要があります。
  * 最新バージョンのご利用をお勧めします。
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、このWebブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、タスクバーなどで起動している EPSON PS Manager を手動で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

EPSON PS Folder

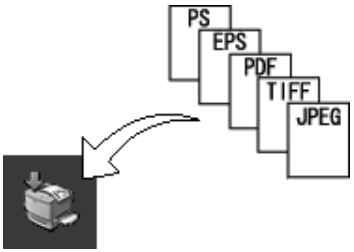
EPSON PS Folder は、あらかじめ登録しておいたフォルダに、対応ファイル（PS、EPS、PDF、TIFF、JPEG 形式）をドラッグ&ドロップすることで、アプリケーションソフトを介さずに印刷するソフトウェアです。設定方法や詳細な機能説明は、EPSON PS Folder のヘルプを参照してください。

動作環境

コンピュータ	USB ポートを標準搭載した PC/AT 互換機
対象 OS	Windows 2000/XP
CPU	Intel PentiumIII 以上を推奨
メモリ	128MB 以上を推奨
空きハードディスク	50MB 以上

操作方法

フォルダの追加登録で作成したフォルダに、ファイル（PS、EPS、PDF、TIFF、JPEG 形式）をドラッグ&ドロップします。
EPSON PS Folder が指定されているプリンタへファイルを出力します。操作方法の詳細は、EPSON PS Folder のヘルプを参照してください。



対応ファイル形式

ファイル形式	説明
PS	PostScript ファイル（ASCII で記述されたファイルのみ）
EPS	Encapsulated PostScript ファイル（ASCII で記述されたファイルのみ、バイナリ形式には対応していません）
PDF	Portable Document Format ファイル（バージョン 1.5 まで対応）
TIFF	Tagged Image File Format ファイル
JPEG	Joint Photographic Experts Group ファイル ※ただし、JPEG2000 には対応していません。

Mac OS X での使用方法

ここでは、Mac OS X で使用する方法について説明します。

● セットアップについて 63
● 印刷を始める前に 73
● 印刷の手順 78
● プリンタドライバの設定項目について 80
● その他の印刷方法 99
● カラーシミュレーション機能について 103
● EPSON PS Server の使用方法 108
● EPSON PS Manager について 127
● EPSON PS Folder 133

セットアップについて

EPSON PS Server が稼動する OS（プリントサーバ）と印刷を行う OS（クライアント）の組み合わせによって印刷をおこなうための前提条件などが異なります。下表を参照して前提条件（[A] ～ [F]）を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS（EPSON PS Server 稼動コンピュータ）	
		Mac OS X	Windows XP
クライアントの OS	Mac OS 9	[A] AppleTalk、TCP/IP	[B] TCP/IP
	Mac OS X	[C] AppleTalk、Rendezvous/Bonjour*、TCP/IP	[D] TCP/IP
	Windows 2000/XP	[E] TCP/IP	[F] TCP/IP

* Mac OS X v10.2.8/v10.3.9：Rendezvous
Mac OS X v10.4.x：Bonjour

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

[A] Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

☞ 本書 143 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの選択」
☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

[B] Mac OS 9 → Windows XP

Mac OS 9 の［セレクタ］からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

[C] Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。

☞ 本書 65 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 68 ページ「Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[D] Mac OS X → Windows XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[E] Windows 2000/XP → Mac OS X

Windows 2000/XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

[F] Windows 2000/XP → Windows XP

Windows 2000/XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

スタンドアロン接続

本製品をスタンドアロン接続で使用する場合でも、システム内部ではプリントサーバとクライアントソフトがネットワークによる通信を行います。TCP/IP によるプリンタの追加を推奨します。EPSON PS Server インストール後に［環境設定］メニューで確認したアドレスを設定してプリンタを追加してください。

☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

AppleTalk や Bonjour を使ってプリンタを追加する場合は以下のページを参照してください。

☞ 本書 65 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 68 ページ「Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加」

!注意 スタンドアロン接続の場合、Rendezvous は使用できません（Rendezvous でプリンタを追加できません）。

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。

AppleTalk 接続でのプリンタの追加

Mac OS X から AppleTalk を使って印刷するには、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

1 **［アプリケーション］フォルダの［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

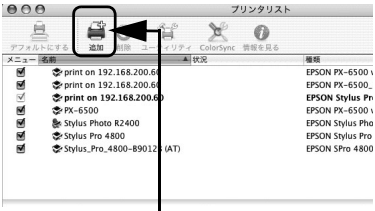
ダブルクリックします

2 **［プリンタ設定ユーティリティ］または［プリントセンター］をダブルクリックします。**

ダブルクリックします

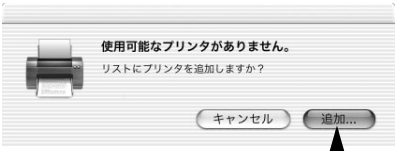
3 **右の画面が表示されます。どちらの場合も［追加］をクリックします。**

ほかに使用可能なプリンタがすでに登録されていると右上の画面が、登録されていないと右下の画面が表示されます。



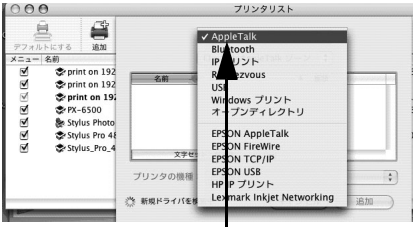
クリックします

Mac OS X v10.4 で［追加］をクリックして［プリンタ名］に機種名（AppleTalk 接続）が表示された場合は、**5** へ進みます。表示されない場合は、**4** へ進みます。



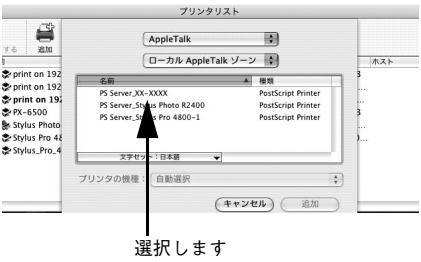
クリックします

4 **Mac OS X v10.2/v10.3 の場合、画面上にあるリストから［AppleTalk］を選択します。Mac OS X v10.4 で［プリンタ名］が表示されない場合は、［ほかのプリンタ］をクリックしてリスト画面を開いてから［AppleTalk］を選択します。**



5 **プリンタの機種名が表示されますので、追加したいプリンタを選択します。**

プリンタの機種名が表示されない場合は、プリントサーバで EPSON PS Server が起動しているかどうか確認してください。



6 **［自動選択］が選択されている状態で［追加］をクリックします。**

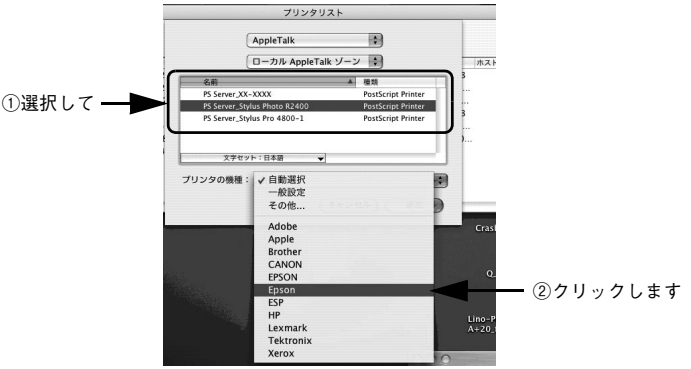
7 **プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを終了します。**

> **参考** Mac OS X では AppleTalk はオフ（使用しない）が初期設定になっています。AppleTalk が使用できない場合は、［システム環境設定］から［ネットワーク］を開き、［AppleTalk 使用］がオンになっているかを確認してください。

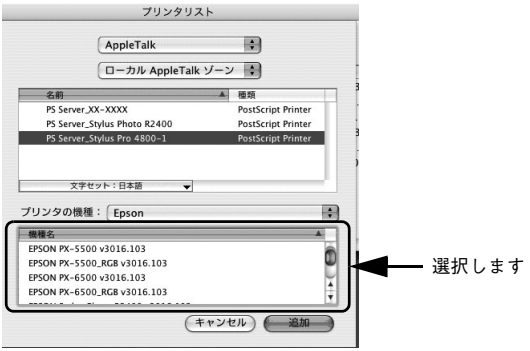
参考

Mac OS X v10.2/v10.3 の場合、❺ で［プリンタの機種］の［自動選択］を使用しない場合は、以下の手順でプリンタを追加してください。

- 接続したい PS Server を選択して、［プリンタの機種］リストの中から、[Epson] を選択します。



- 使用したい PPD ファイルを選択します。



- ［追加］をクリックします。
- プリンタ設定ユーテリティ / プリントセンターを終了します。

以上で AppleTalk 接続でのプリンタの追加は終了です。

Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加

Mac OS XからRendezvous(Mac OS X v10.2/v10.3)/Bonjour(Mac OS X v10.4)を使って印刷するには、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

!注意 スタンドアロン接続の場合、Rendezvous は使用できません。LPR 接続、AppleTalk 接続、または Bonjour 接続で使用してください。

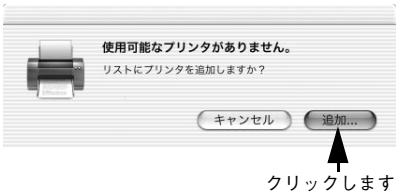
❶ **［アプリケーション］フォルダの［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

❷ **［プリンタ設定ユーティリティ/プリントセンター］をダブルクリックします。**

❸ **右の画面が表示されます。どちらの場合も［追加］をクリックします。**

ほかに使用可能なプリンタがすでに登録されていると右上の画面が、登録されていないと右下の画面が表示されます。

Mac OS X v10.4 で［追加］をクリックして［プリンタ名］に機種名が表示された場合は、❺ へ進みます。



4 **Mac OS X v10.2/v10.3 の場合は［Rendezvous］を選択します。**

Mac OS X v10.4 の場合はPPD が表示されるため、そのまま次へ進みます。

5 **プリンタを追加します。**

- Mac OS X v10.2/v10.3 の場合は、［プリンタの機種］で大文字、小文字に注意して必ず［Epson］を選択し、［機種名］で使用するプリンタ名を選択して、［追加］をクリックします。
- Mac OS X v10.4 の場合は、［使用するドライバ］に使用するプリンタ名が選択されていることを確認して、［追加］をクリックします。

6 **プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを終了します。**

以上で Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加は終了です。

TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加

Mac OS X から TCP/IP（LPR）を使って印刷するには、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

参考

- サーバ側のコンピュータではEPSON PS Serverを起動しておいてください。
  ☞ Windows：本書 22 ページ「EPSON PS Server の起動」
  ☞ Mac OS X：本書 77 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順を繰り返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数のEPSON PS Serverを切り替えて印刷する場合は、印刷時に EPSON PS Server を選択し直してください。
- プリンタの IP アドレスは、EPSON PS Server の［EPSON PS Server］メニューで［環境設定］を選択し、表示される画面の［LPR］タブを選択して表示される IP アドレスを使用してください。
- EPSON PS Server が起動している Mac OS X 上で「プリンタ共有」や「ファイアウォール」を設定していると印刷できません。

1 **［アプリケーション］フォルダにある［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**

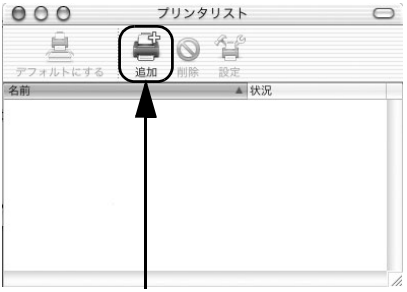
ダブルクリックします

2 **［プリンタ設定ユーティリティ］（Mac OS X v10.2.8 では［プリントセンター］）をダブルクリックします。**

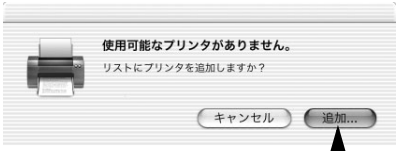
ダブルクリックします

3 **右の画面が表示されます。どちらの場合も［追加］をクリックします。**

ほかに使用可能なプリンタがすでに登録されていると右上の画面が、登録されていないと右下の画面が表示されます。



クリックします



クリックします

4 **画面の上にあるリストをクリックし、［IP プリント］を選択します。**

Mac OS X v10.4 の場合は、［IP プリンタ］アイコンをクリックします。

リストをクリックして［IP プリント］をクリックします

5 **［プリンタのアドレス］/［アドレス］（Mac OS X v10.4）にプリントサーバの IP アドレスを入力します。**

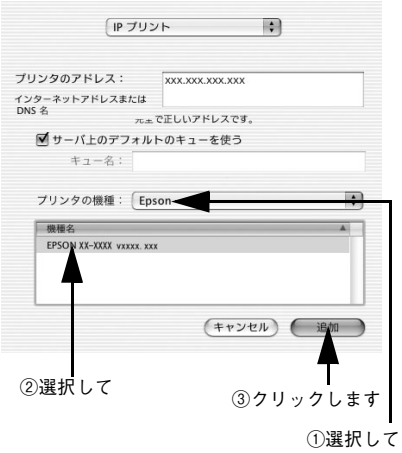
- Mac OS X v10.3 の場合は［プリンタのタイプ］から［LPD/LPR］を選択します。Mac OS X v10.4 の場合は［プロトコル］から［LPD(Line Printer Daemon)］を選択します。
- IP アドレスは、EPSON PS Server の［EPSON PS Server］メニューで［環境設定］を選択し、表示される画面の［LPR］タブに表示される値を使用してください。

入力します

- ［キュー名］/［キュー］（Mac OS X v10.4）を設定する必要はありません。
- Mac OS X v10.4 の場合［名前］と［場所］を設定する必要はありません。

6 **プリンタを追加します。**

- Mac OS X v10.2/v10.3 の場合は、[プリンタの機種] で大文字、小文字に注意して必ず [Epson] を選択し、[機種名] で使用するプリンタ名を選択して、[追加] をクリックします。
- Mac OS X v10.4 の場合は、[使用するドライバ] に使用するプリンタ名が選択されていることを確認して、[追加] をクリックします。



7 **[プリンタ設定ユーティリティ]（Mac OS X v10.2.8 では [プリントセンター]）メニューから [プリンタ設定ユーティリティを終了] / [プリントセンターを終了] を選択して、プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターを閉じます。**

> **参考** スタンドアロン接続の場合でネットワークに接続していない状態で EPSON PS Server を起動した場合、印刷は IP プリントでのみ可能です。ただし、この場合、IP プリントに使用できるアドレスはループバックアドレス（127.0.0.1）のみです。

以上で、印刷前の準備は終了です。

印刷を始める前に

Mac OS X から印刷する前に、一度 EPSON PS Server を選択して使用するプリンタの機種を設定する必要があります。

EPSON PS Server の準備

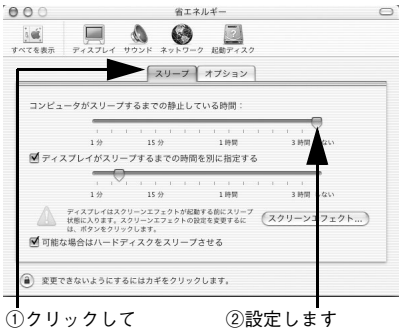
以下の手順に従って、コンピュータの準備を整えてください。

省エネルギーの設定

1. **Apple メニューから［システム環境設定］を選択します。**

2. **［省エネルギー］をクリックします。**

3. **［スリープ］タブをクリックして、［コンピュータがスリープするまでの静止している時間］/［コンピュータがスリープするまでの待機時間］（Mac OS X v10.4）を［しない］に設定します。**
   画面が表示されない場合は［詳細情報を表示］をクリックしてください。



> **注意** EPSON PS Server をインストールしたプリントサーバはスリープしないようにしてください。スリープすると EPSON PS Server が正常に動作せず、印刷できない場合があります。

4. **［省エネルギー］ダイアログ左上の［すべてを表示］をクリックします。**

AppleTalk の使用

1 **［ネットワーク］をクリックします。**

クリックします

2 **AppleTalk を使用してクライアントまたはプリンタと接続する場合には、［内蔵 Ethernet］の［AppleTalk］タブをクリックし、［AppleTalk 使用］にチェックマークを付けて、［今すぐ適用］をクリックします。**

ネットワークに接続していない環境では AppleTalk は使用できません。

②チェックマークを付けて

①クリックして　　③クリックします

参考

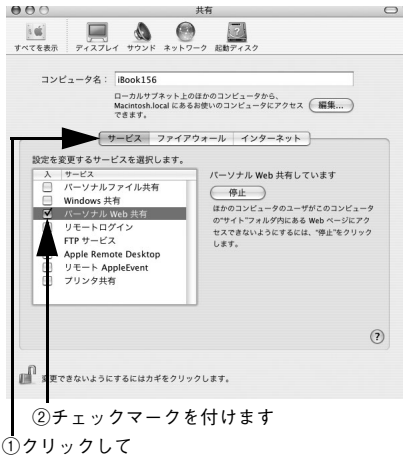
- 印刷に AppleTalk を使用しない場合は、[AppleTalk 使用] を無効にできます。PS Server は、AppleTalk が使用できない場合でも起動します。
- スタンドアロン接続の場合でネットワークに接続していない状態で EPSON PS Server を起動した場合、印刷は Bonjour または IP プリントでのみ可能です。

パーソナル Web 共有

1. ［ネットワーク］ダイアログ左上の［すべてを表示］をクリックします。

2. ［共有］をクリックします。

3. **［サービス］タブをクリックし、［パーソナル Web 共有］にチェックマークを付けます。**
EPSON PS Manager を使用するためには、［パーソナル Web 共有］に必ずチェックマークを付けて有効にしてください。



> **参考** Mac OSX 版の EPSON PS Server で EPSON PS Manager を使用したジョブの操作を行うには、[パーソナル Web 共有] の機能をオンにする必要があります。EPSON PS Manager を使用しない場合は、［パーソナル Web 共有］ を無効にできます。

4. **画面左上の［システム環境設定］メニューから［システム環境設定を終了］を選択して、［共有］ダイアログを閉じます。**

起動する前に

EPSON PS Server を起動する前に、次の点に注意してください。

■ プリンタは印刷可能な状態ですか？

EPSON PS Server を起動する前にプリンタの動作確認を行って、プリンタが正しく動作していることを確認してください。動作確認方法は、プリンタの取扱説明書を参照してください。

■ FTP サーバ /LPR サーバが動作していませんか？

使用しているコンピュータでFTPサーバまたはLPRサーバが動作している場合は、EPSON PS Server の一部の機能が正常に動作しません。EPSON PS Server を起動するときは、これらのサービスを終了してください。終了方法については各サービスのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

■ プリンタ共有やファイアウォールの設定をしていませんか？

「プリンタ共有」はオフにしてください。「プリンタ共有」がオンになっていると、EPSON PS Server に LPR 接続で印刷できなくなります。また、ファイアウォールの設定をしている場合も同様です。この場合使用するポート（515）を開放する必要があります。

EPSON PS Server の起動

準備が整ったら、以下の手順で EPSON PS Server を起動してください。

1 プリンタの電源をオンにします。

EPSON PS Server を起動する前に必ずプリンタの電源をオンにします。

2 ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。

> **参考** ［Macintosh HD］というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

3 EPSON PS Server を起動します。

［アプリケーション］フォルダ内の［EPSON PS Server］アイコンをダブルクリックします。

EPSON PS Server について詳しくは、以下のページを参照してください。
☞ 本書 108 ページ「EPSON PS Server の使用方法」

> **参考**
> - EPSON PS Server をインストール後初めて起動する場合は、「セットアップガイド」を参照してライセンス番号を入力してください。
> - 印刷の前には、必ず EPSON PS Server を起動してください。
> - スタンドアロン接続で頻繁に印刷する場合は、EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップ上などに置いておくか、Dock に EPSON PS Server を登録しておくと便利です。
> - EPSON PS Server を［システム環境設定］の［アカウント］－［起動項目］（Mac OS X v10.3）/［ログイン項目］（Mac OS X v10.4）のリストに追加しておくと、Mac OS の起動時に自動的に EPSON PS Server を起動させることができます。
> - EPSON PS Server の［環境設定］の［一般］タブにある［Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする］を有効にすると、EPSON PS Server を起動していない状態でも、バックグラウンドで印刷処理が行われます。

印刷の手順

EPSON PS Server が管理するプリンタがプリントセンターで追加されており、EPSON PS Server が起動していれば印刷できます。ここでは、Mac OS アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。プリンタの追加については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 65 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 68 ページ「Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

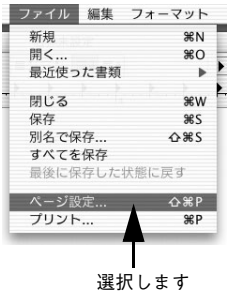
> **参考** アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 EPSON PS Server が起動していることを確認します。

2 アプリケーションソフトを起動します。

3 ［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択します。

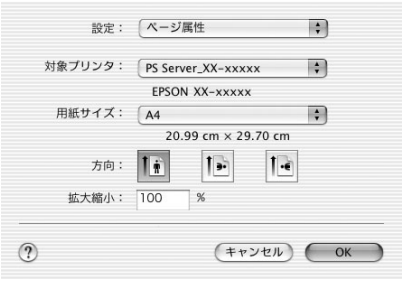
アプリケーションソフトによっては、メニュー表示名が異なる場合があります（［プリンタの設定］など）。



4 各項目を設定します。

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページを参照してください。

  ☞ 本書 80 ページ「［ページ設定］ダイアログ」



5 ［OK］をクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。

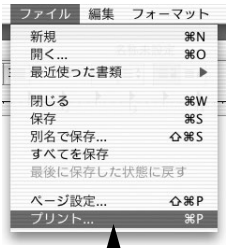
☞ 本書 79 ページ「印刷設定の手順」

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

アプリケーションソフトによっては、メニュー表示名が異なる場合があります（［印刷］など）。



2 **各項目を設定します。**

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書 84 ページ「［プリント］ダイアログ」

> **参考**
>
> - CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用するなどプリンタ固有の機能を利用するには、［印刷設定］ダイアログで設定してください。
>   ☞ 本書 93 ページ「［印刷設定］ダイアログ」
> - アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
> - EPSON PS Server が起動している Mac OS X 上で「プリンタ共有」や「ファイアウォール」を起動していると印刷できないため、注意してください。

3 **［プリント］をクリックして、印刷を実行します。**

プリンタドライバの設定項目について

ダイアログに表示される項目は、OS のバージョンにより異なる場合があります。
これらの、プリンタドライバに依存しない OS の機能については、Mac OS X の説明書やヘルプも参照してください。

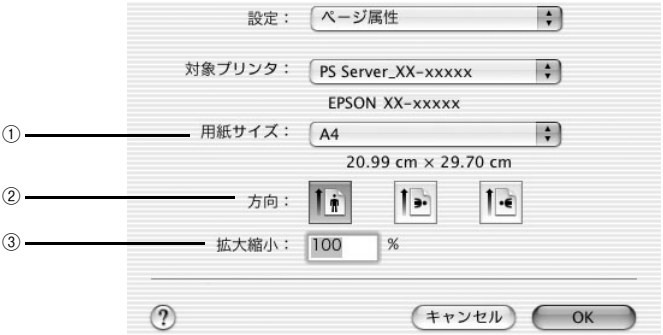
[ページ設定] ダイアログ

[ページ設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

① 設定
ポップアップメニューから設定画面を選択すると、下記のダイアログが表示されます。

② 対象プリンタ
印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

[ページ属性] ダイアログ



① 用紙サイズ
ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。

> **参考**
> カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
> ☞ 本書 81 ページ「[カスタム用紙サイズ] / [カスタム・ページ・サイズ] ダイアログ」

② **方向**
印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ **拡大縮小**
25% ～ 400% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

> **参考** 25 ～ 400 以外の値は、入力しても無効になります。

［カスタム用紙サイズ］/［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログ

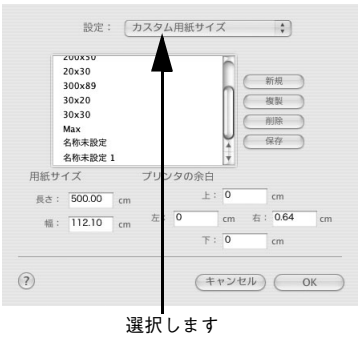
カスタム用紙サイズを作成できます。作成方法は OS バージョンによって異なります。ただし、Mac OS X v10.2.8 のカスタム用紙サイズには対応していません。

Mac OS X v10.3 の場合

Mac OS X v10.4 の場合

Mac OS X v10.3 の場合

1. **［ページ設定］ダイアログの［設定］のポップアップメニューで［カスタム用紙サイズ］を選択します。**



2. **［新規］をクリックします。**

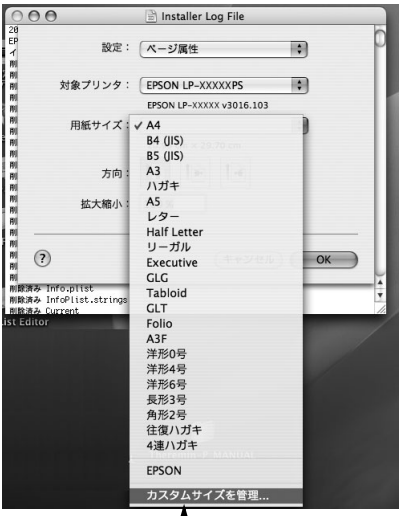
3. **［用紙サイズ］と［プリンタの余白］の各項目に数値を入力し、［保存］をクリックして登録します。**

参考

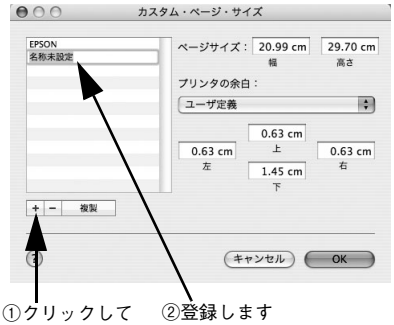
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をリストから選択して［削除］をクリックします。
- 用紙サイズ名をリストから選択して［複製］をクリックすると、「xxx　のコピー」という用紙サイズ名で、［用紙サイズ］と［プリンタの余白］の設定が同じ用紙サイズが追加されます。
- 作成したカスタム用紙サイズは、［ページ属性］ダイアログの［用紙サイズ］から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

Mac OS X v10.4 の場合

1 **［ページ設定ダイアログ］の［用紙サイズ］で［カスタムサイズを管理…］をクリックします。**



2 **［+］をクリックしてリストに表示された［名称未設定］をダブルクリックしてカスタム用紙名を登録します。**



3 **［ページサイズ］に用紙サイズを入力します。**

4 ［プリンタの余白］のプルダウンメニューから、プリンタ名を選択します。

5 ［プリンタの余白］に数値を入力し、［OK］をクリックして登録します。

参考

- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をリストから選択して［−］をクリックします。
- 用紙サイズ名をリストから選択して［複製］をクリックすると、「xxx1」（xxx1がすでに存在する場合は xxx2）という用紙サイズ名で、［用紙サイズ］と［プリンタの余白］の設定が同じ用紙サイズが追加されます。
- 作成したカスタム用紙サイズは、［ページ設定］ダイアログの［用紙サイズ］から選択できます。
- プリンタに付属のユーティリティで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

［プリント］ダイアログ

［プリント］ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の［印刷設定］メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。

① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② プリセット

［プリセット］のポップアップメニューから［保存］または［別名で保存］を選択して、［プリント］ダイアログの設定を保存できます。保存した設定名は、［プリセット］のポップアップメニューから選択できます。

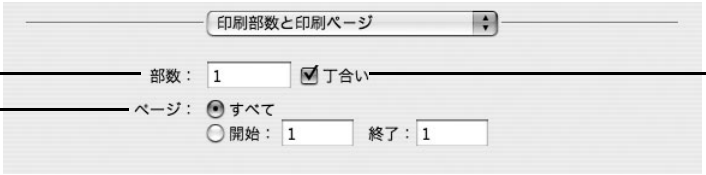
また、［名称変更］を選択すると設定名を変更でき、［削除］を選択すると設定を削除できます。

> **参考** 「標準」の設定を選択している場合は、［保存］、［名称変更］、［削除］は選択できません。

③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降を参照してください。

［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ



① 部数
印刷する部数を設定します。直接数値を入力して設定します。設定可能な部数は OS の仕様に準じます。

② 丁合い
①の部数で指定した部単位でまとめて印刷する場合にチェックします。

③ ページ
印刷するページの範囲を設定します。

［レイアウト］ダイアログ

① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、［1］を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。スタンドアロン接続では本機能は使用できません。ただし、印刷データを一旦ファイルとして保存した場合は、スタンドアロン接続でも本機能をご利用いただけます。

分割印刷をする場合

- 連続した印刷データを１枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。

② レイアウト方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左上→右上→左下→右下の順に並べます。
	ページを右上→左上→右下→左下の順に並べます。
	ページを左上→左下→右上→右下の順に並べます。
	ページを右上→右下→左上→左下の順に並べます。

③ 枠線（Mac OS X v10.2/v10.3）/ 境界線（Mac OS X v10.4）

割り付けた印刷データの周りに枠線 / 境界線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線 / 境界線の種類も選択できます。

④ **両面プリント（Mac OS X v10.2/v10.3）/ 両面（Mac OS X v10.4）**
両面印刷ユニットを使って用紙の両面に印刷するときに、両面印刷のとじ方向を選択します。

設定	機能
切	片面のみ印刷を行います。
長辺とじ	長辺を綴じるように両面印刷を行います。
短辺とじ	短辺を綴じるように両面印刷を行います。

［両面印刷］ダイアログ（Mac OS X v10.2 のみ）

① **両面にプリントする**
両面印刷ユニットを使って用紙の両面に印刷するとき、両面印刷のとじ方向を選択します。

［出力オプション］ダイアログ（Mac OS X v10.2 ～ v10.3 のみ）

① ファイルとして保存

印刷データを、PDF ファイルまたは PostScript ファイルに保存するときにチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、［プリント］ダイアログの［プリント］が［保存］に切り替わります。

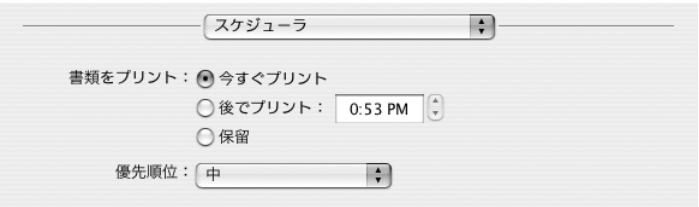
② フォーマット

［ファイルとして保存］にチェックマークを付けたときに有効になります。保存時のファイル形式を、［PDF］または［PostScript］から選択します。

［スケジューラ］ダイアログ（Mac OS X v10.3 以降のみ）

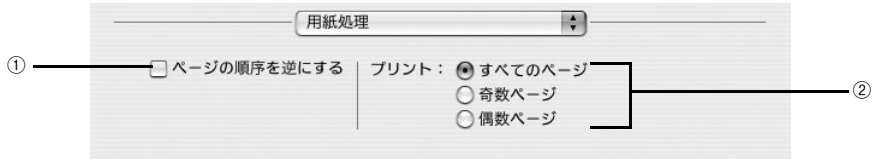
［プリント］ダイアログで［スケジューラ］を選択すると、印刷を実行するタイミングを設定することができます。

詳細は、Mac OS のヘルプを参照してください。



［用紙処理］ダイアログ（Mac OS X v10.3 以降のみ）

［プリント］ダイアログで［用紙処理］を選択すると、先頭ページからではなく最後のページから逆に印刷する逆順印刷の設定ができます。



Mac OS X v10.4 の場合

① ページの順序を逆にする / ページの順序

最後のページから最初のページへ逆順所に印刷します。Mac OS X v10.4.x では［ページの順序］となり、［自動］、［通常］、［逆送り］から選択できます。

② プリント

すべてのページを印刷するか、奇数または偶数ページだけを印刷するかを選択できます。

③ 出力用紙サイズ（Mac OS X v10.4.x のみ）

レイアウトしたそのままの用紙サイズ（原寸）で印刷するには、［使用する用紙サイズ：xx］を選択します。レイアウトした用紙サイズとは異なる用紙サイズに合わせて拡大・縮小印刷するには［用紙サイズに合わせる］を選択して、メニューから用紙サイズを選択します。なお、［縮小のみ］にチェックマークを付けると縮小印刷のみ行いますので、選択した用紙サイズより小さな用紙サイズにレイアウトしてる場合は拡大印刷せずに、元の用紙サイズのまま印刷します。

［ColorSync］ダイアログ（Mac OS X v10.3 以降のみ）

［プリント］ダイアログで［ColorSync］を選択すると、カラーマネージメントに関する設定ができます。
設定の詳細は、Mac OS のヘルプを参照してください。

> **参考** お使いのアプリケーションソフトによっては、有効にならない場合があります。

［表紙］ダイアログ（Mac OS X v10.3 以降のみ）

［プリント］ダイアログで［表紙］を選択すると、印刷データに添付する表紙に関わる設定ができます。

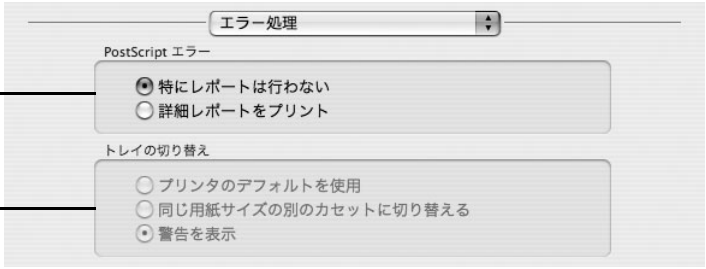
① 表紙をプリント
表紙を印刷の最初または最後に印刷するかを選択します。

② 表紙のタイプ
表紙のタイプを一覧の中から選択します。

③ 課金情報
課金情報を入力します。

> **参考** 課金情報の入力欄に日本語文字を使用すると、課金情報を表示したときに文字化けが発生することがあります。

［エラー処理］ダイアログ



① Post Script エラー

PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうか選択します。

設定	機能
特にレポートは行わない	PostScript エラーが発生しても報告しません。
詳細レポートをプリント	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

② トレイの切り替え

本製品では設定できません。

［給紙］ダイアログ

印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。通常は［全体］を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

設定	機能	
給紙	どの給紙装置にセットされている用紙を使用するかを選択します。	
	自動選択（初期設定）	［自動選択］選択時、接続形態によって使用される給紙装置が次のように異なります。 • プリントサーバ、スタンドアロン接続の場合 プリンタ本体側と EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で、設定されている給紙装置が異なる場合、プリンタ本体側の設定が有効になります。 • クライアントの場合 プリンタ本体側と EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で、設定されている給紙装置が異なる場合、EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で設定されている給紙装置が使用されます。この場合、EPSON ステータスモニタやプリンタの操作パネルに給紙装置変更のメッセージが表示されますので、メッセージに従って給紙装置を変更する必要があります。 ☞ Windows：本書 43 ページ「プリンタ初期設定」 ☞ Mac OS X：本書 115 ページ「プリンタ初期設定」
	MP トレイ	MP トレイから給紙します。
	用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
	用紙カセット 2/3/4	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

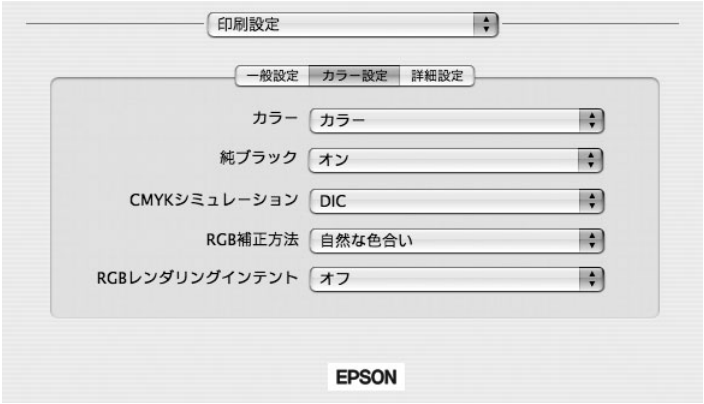
［印刷設定］ダイアログ

［印刷設定］ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。プリンタの機種によって、設定できる機能や設定の選択肢が異なります。

［一般設定］タブ

設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷品質を設定します。	
	はやい（初期設定）	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
	きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調の変化する画像）の印刷に適しています。
スクリーン	スクリーンを選択します。	
	階調優先（初期設定）	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
	解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

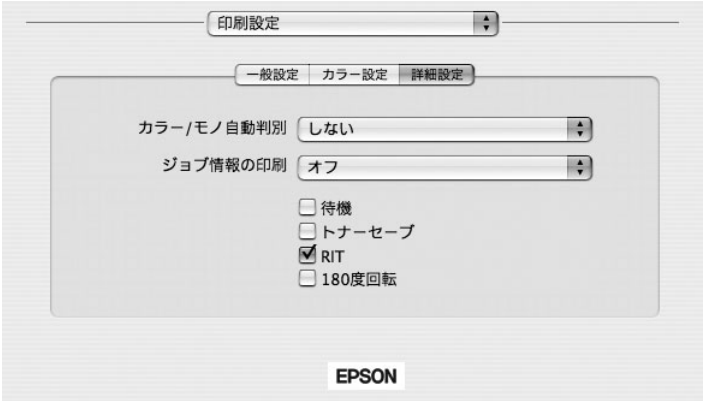
［カラー設定］タブ



設定	機能	
カラー	カラー印刷するかグレースケール印刷するかを設定します。	
	カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
	モノクロ	モノクロ（白黒の階調）で印刷します。
純ブラック	黒の調整方法を設定します。	
	オフ	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
	オン（初期設定）	CMYK4 色のうち、K のみを使用して黒の階調を表現します。
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択します。	
	オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
	DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	JapanColor2001	JapanColor 色再現印刷 2001 に準拠
	カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタムCMYKプロファイルで定義している印刷色 ☞ 本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」

設定	機能	
RGB 補正方法	RGB 色を再現して印刷する場合に、補正する RGB 色を選択します。 ☞ 本書 103 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	RGB 補正機能を使用しません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
	sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
	自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
	鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
	カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
RGB レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、［RGB 補正方法］のみに機能します。	
	オフ（初期設定）	色の再現範囲を調整しません。
	知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	彩度	彩度を保持して変換を行います。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

［詳細設定］タブ



設定	機能	
カラー / モノ自動判別	印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。	
	しない（初期設定）	カラー / モノ自動判別を行いません。
	する	カラー / モノ自動判別を行います。
ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
	オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
	上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
	下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
	左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
	右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。
待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
	オン（チェックマークあり）	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。
トナーセーブ	カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	オン（チェックマークあり）	トナーセーブ機能を使用します。
RIT	RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。 * RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする EPSON 独自の印刷機能	
	オン（チェックマークあり / 初期設定）	RIT をオンにします。
	オフ（チェックマークなし）	RIT をオフにします。

設定	機能	
180 度回転	印刷データを 180 度回転して印刷します。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	180 度回転しません。
	オン（チェックマークあり）	180 度回転します。

参考

ジョブ情報の印刷は印刷可能領域内に印刷されます。印刷可能領域いっぱいのデータを印刷する場合、ジョブ情報の印刷は［オフ］にしていただくことをお勧めします。

［一覧］ダイアログ

［プリント］ダイアログのすべての設定を一覧で表示します。

その他の印刷方法

通常の印刷方法とは異なるさまざまな印刷方法について説明します。

ファイルへの出力

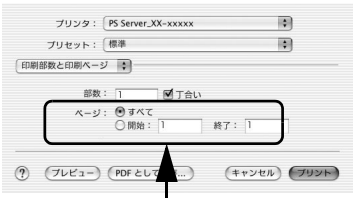
AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PDF（Portable Document Format）ファイルまたは PS（PostScript）ファイルとして保存することができます。

> **参考** PDF ファイルや PS ファイルは、その元ファイルを作成したアプリケーションソフトがなくても印刷できます。以下のページを参照してください。
> ☞ 本書 101 ページ「ドラッグ & ドロップによる印刷」
> ☞ 本書 108 ページ「ファイルの直接印刷」

Mac OS X v10.2-10.3 の場合

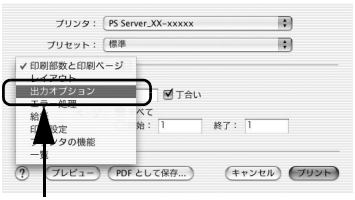
1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

2 **［印刷部数と印刷ページ］ダイアログで、保存する範囲を設定します。**



保存するページ範囲を選択します

3 **ポップアップメニューから［出力オプション］を選択します。**



選択します

4 **各項目を設定し、［保存］をクリックします。**
各項目の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 88 ページ「［出力オプション］ダイアログ(Mac OS X v10.2～v10.3のみ)」

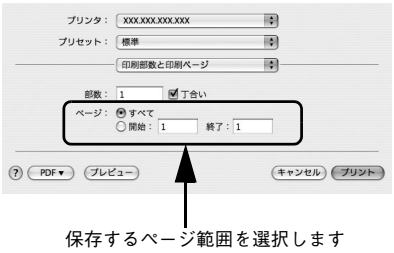
①設定して

②クリックします

5 保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、[保存] をクリックします。

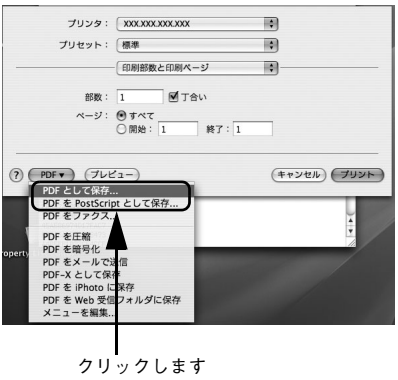
Mac OS X v10.4 の場合

1 [印刷部数と印刷ページ] ダイアログで、保存する範囲を設定します。



2 [PDF] をクリックします。

3 [PDF として保存] または [PDF を PostScript として保存] をクリックします。



4 **ファイル名と保存先を設定して［保存］をクリックします。**

ドラッグ&ドロップによる印刷

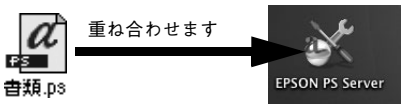
EPSON PS Server をインストールしてあるコンピュータであれば PostScript 対応アプリケーションがなくても、［ファイルとして保存］の設定で出力した印刷ファイルを［EPSON PS Server］アイコンまたは EPSON PS Server のウィンドウに重ね合わせて（ドラッグ&ドロップ）印刷できます。また、アプリケーションソフトによってはドラッグ&ドロップで印刷できる PostScript/EPS ファイルを作成できる場合があります。

参考

- EPSON PS Server のエイリアスを作成してデスクトップに置くと、簡単にドラッグ& ドロップして印刷できるので便利です。
- 通常の印刷より速く処理を終えて印刷を始められます。

印刷したいファイルの上でマウスボタンを押し、そのままマウスを移動させて EPSON PS Server（またはショートカット）のアイコンまたはウィンドウの上にファイルを重ね合わせ、マウスボタンを離します。EPSON PS Server はドロップしたファイルを読み込んで印刷を始めます。

＜例：EPSON PS Server のエイリアスにドラッグ& ドロップする場合＞



参考

- ［プリント］ダイアログは表示されません。読み込んだファイルは EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で設定した印刷条件に従って印刷されます。なお、ファイル出力時や PostScript/EPS ファイル作成時に［用紙設定］や［プリント］ダイアログの設定を行っている場合は、それらの設定が EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］より優先されます。
  ☞ 本書 115 ページ「プリンタ初期設定」
- ファイルをドラッグ& ドロップしても EPSON PS Server が反転表示されない場合は、デスクトップの更新を実行してください。

［ファイル］メニューから印刷

EPSON PS Server の［ファイル］メニューから［開く］を選択し、印刷したいファイルを直接開いて印刷することができます。
印刷できるファイル形式と印刷方法については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 108 ページ「ファイルの直接印刷」

ホットフォルダを使用して印刷（EPSON PS Folder）

コンピュータ上にホットフォルダを作成し、印刷したいファイルをドラッグ&ドロップすることで印刷できます。詳細については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 133 ページ「EPSON PS Folder」

カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）のほとんどでは、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色 ☞ 本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB 補正方法

本製品は RGB カラーの補正機能を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーを指定した RGB カラーでシミュレートできます。「自然な色合い」と「鮮やかな色合い」を選択することで、プリンタカラーのシミュレートも行うことが可能です。

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGB カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB 補正方法を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品で補正できる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色 ☞ 本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」

!注意 本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
  ☞ 本書 190 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

> **参考** 印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

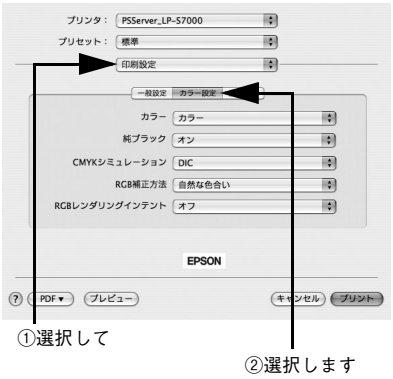
- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

> **参考** Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 ［プリント］ダイアログを開きます。

☞ 本書 79 ページ「印刷設定の手順」

3 ［プリント］ダイアログのポップアップメニューから［印刷設定］を選択し、［カラー設定］タブをクリックします。



4 ［カラー］で［カラー］を選択します。

> **!注意** 必ず［カラー］を選択してください。［モノクロ］を選択すると、CMYK シミュレーションや RGB 補正などのカラー調整に関する設定は行われません。

5 **［CMYK シミュレーション］および［RGB 補正方法］で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。**

- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社のDIC標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。☞ 本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色☞ 本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYKデータであればCMYKシミュレーションが行われ、RGBデータであればRGBシミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、［オフ］を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず［オフ］を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
  ☞ 本書190ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルをEPSON PS Serverに登録する方法については、以下のページを参照してください。
  ☞ 本書120ページ「カラーマネージャ設定」

6 **［プリント］をクリックして印刷を実行します。**

EPSON PS Server の使用方法

ファイルの直接印刷

本製品は、以下のファイルにネイティブ対応していますので、これらの形式のファイルはアプリケーションを起動することなく直接印刷できます。
対応：
PS、PDF Ver. 1.5、TIFF*1、JPEG*2、EPS*3

*1 ベースラインに準拠、LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポートしています。
ZIP 圧縮、1bit TIFF、16bit TIFF、YcbC、マルチページ、α チャネルには非対応です。

*2 ベースラインに準拠、1 ピクセル =1 ポイントで描画します。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応です。

*3 基本的な EPS ファイルは全てサポートします。アプリケーションソフトによっては、EPS ファイルの末尾に"showpage"のコマンドが入らないファイルが作成されます。その場合は、ホットフォルダで"showpage"コマンドが付くように設定して印刷していただければ問題ありません。

!注意 直接印刷については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 99 ページ「その他の印刷方法」

参考
- アプリケーションソフトで作成した EPS ファイルでページのサイズ情報などが保存されない場合は、最大サイズで印刷されます。
- カスタム用紙サイズを選択して EPS ファイルを作成した場合、最大用紙サイズで印刷してください。
- A4などの定型用紙サイズを選択してEPSファイルを作成した場合、指定した用紙サイズで印刷してください。

［ファイル］メニューから［開く］を選択します。印刷したいファイルを選択して、［開く］をクリックしてください。

PS、PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを直接印刷する場合の、印刷設定は［プリンタ初期設定］ダイアログで設定できます。
☞ 本書 115 ページ「プリンタ初期設定」

環境設定

EPSON PS Server が備える基本機能の初期状態を設定するには、EPSON PS Server のメニューから［環境設定］を選択します。

［一般］タブ

① ジョブ情報ログを出力する

チェックマークを付けると、以下の場所に印刷ジョブのログを残します。
/ ライブラリ /Logs/EPSON PS Server/job.csv

② Macintosh 起動時にバックグラウンド印刷を可能にする

Mac OS を起動したときに、EPSON PS Engine を自動的に起動するかを選択します。

- オン（チェックマークあり）の場合は、Mac OS 起動時に EPSON PS Engine を自動的に起動します。チェックマークを付けて、Mac OSを再起動すると、以後EPSON PS Engine が常駐アプリケーションとして動作します。印刷状態の確認や印刷のキャンセルは、EPSON PS Server を起動して行ってください。
- オフ（チェックマークなし）の場合は、Mac OS 起動時に EPSON PS Engine を起動しません。EPSON PS Engine を起動する場合は、手動で EPSON PS Server を起動してください。EPSON PS Engine を常駐させたくない場合は、チェックマークを外してください。

③ 最大ジョブ保存数

保存できるジョブの最大数を設定します。1 ～ 99 まで設定できます（初期設定は 10 です）。設定数を超えるジョブを受信した場合、PS Manager で表示している古いジョブから順に削除されます。

④ クライアントパスワード

PS Manager が接続するときに必要なパスワードを設定します。半角で 32 文字まで設定できます。テキストボックスにパスワードを入力し、［OK］をクリックするとパスワードが設定されます。

> **参考** 初期設定では、パスワードは設定されていません。

[RIP] タブ

① RIP メモリサイズ

PostScript インタープリタが使用可能な最大メモリサイズを（20 ～ 999MB）設定します。20MB から設定できます（初期設定＝ 128MB）。処理が遅い場合や一部が印刷できない場合などにメモリサイズを増やしてみてください。ただし、物理メモリサイズよりも多く設定した場合は、処理速度が落ちる場合があります。なお、設定は EPSON PS Server の再起動後に有効となります。

［AppleTalk］タブ

① ネットワーク名

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。ここで指定した名称が、プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターで［AppleTalk］を選択したときに表示されます。

> **参考**
>
> ネットワーク名が重複する場合、以下のようになります。
> 例 -1）同じ名前のネットワーク名が 2 つの場合
> "PS Server_LP-XXXX"
> "PS Server_LP-XXXX-1"
> 例 -2）同じ名前のネットワーク名が 3 つの場合
> "PS Server_LP-XXXX"
> "PS Server_LP-XXXX-1"
> "PS Server_LP-XXXX-2"

② 待ち時間

設定した時間（2 ～ 3600 秒）を経過しても何のデータも受信しないと、EPSON PS Server は接続状態を一旦解除します。（初期設定＝ 120 秒）

［LPR］タブ

① LPR

チェックマークを付けると、LPR サーバ機能が有効となります。
［IP アドレス］はホストに設定されている IP アドレスを表示します。
［ポート番号］は「515」に設定されています。

② Rendezvous

チェックマークを付けると、Rendezvous が有効となります。ただし、［LPR］がオフ（チェックマークなし）の場合は無効です。また、スタンドアロン接続では本機能は使用できません。

> **参考** Mac OS X v10.4 の場合は、「Rendezvous」を「Bonjour」と読み替えてください。

③ 名前

EPSON PS Server のネットワーク名を入力します。プリンタ設定ユーティリティ / プリントセンターで Rendezvous を選択したときに、ここで指定した名前が表示されます。Mac OS X v10.4 の場合は［プリンタブラウザ］上で表示される Bonjour 接続のプリンタ名が変わります。

［HTTP］タブ

①HTTP を使用してクライアント接続を可能にする

チェックマークを付けると、HTTP サーバ機能が有効となります（EPSON PS Manager が使用できるようになります）。IP アドレスはホストに設定されている IP アドレスを表示し、ポート番号は「80」に設定されます。

> **!注意** EPSON PS Manager を使用する場合は、［パーソナル Web 共有］を有効にしてください。

②URL

EPSON PS Manager の URL を表示します。

［フォルダ］タブ

①フォルダパス
EPONS PS Folder で使用する共有フォルダをフルパスで表示します。

② 削除
削除したいフォルダパスをリストから選択してクリックすると、その共有フォルダが削除されます。

③ 追加
クリックすると、フォルダを指定するダイアログが表示されます。ここで指定したフォルダが［フォルダパス］に表示されます。

> **参考**
> ここで指定したフォルダに入った印刷ジョブは、EPSON PS Folder（ホットフォルダ）の［プリンタ設定］での設定に従って印刷されます。
> ☞ 本書 133 ページ「EPSON PS Folder」

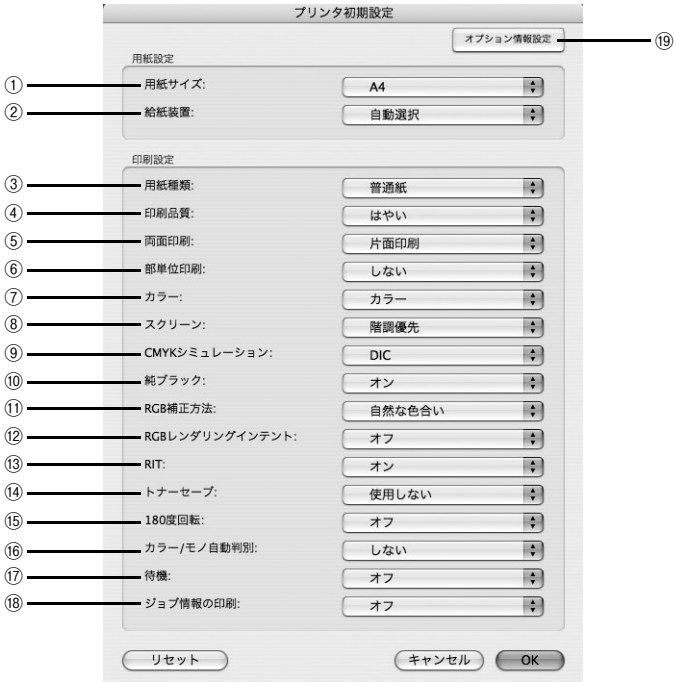
プリンタ初期設定

EPSON PS Server が印刷を行うときの初期条件を設定するには、EPSON PS Server の［EPSON PS Server］メニューから［プリンタ初期設定］を選択します。ここで設定した印刷条件は、アプリケーションソフトで作成した PS、PDF、TIFF、JPEG、EPS ファイルを、EPSON PS Server から直接印刷する場合（アプリケーションソフトから印刷しない場合）に有効となります。

☞ 本書 108 ページ「ファイルの直接印刷」

参考

- アプリケーションソフトから印刷する場合は、印刷時のプリンタドライバの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。
- アプリケーションソフトからプリンタドライバを使って PS または EPS ファイルに出力して保存した場合は、出力時点でのプリンタドライバでの印刷設定が EPSON PS Server の印刷設定より優先されます。



① 用紙サイズ

印刷で使用する用紙のサイズを選択します。TIFF、JPEG ファイルの場合、用紙サイズを［ジョブのデフォルト］と設定した場合、画像のサイズが用紙のサイズとなります。それ以外の場合は用紙サイズに合わせて画像サイズが拡大・縮小されます。

② 給紙装置

用紙の給紙装置を選択します。

③ 用紙種類
印刷で使用する用紙の種類を選択します。

④ 印刷品質
印刷の解像度を選択します。

⑤ 両面印刷
片面印刷または両面印刷を設定します。

設定	説明
片面印刷（初期設定）	片面のみ印刷を行います。
短辺綴じ	短辺を綴じるように両面印刷を行います。
長辺綴じ	長辺を綴じるように両面印刷を行います。

⑥ 部単位印刷
2 部以上印刷するときに 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。

⑦ カラー
カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。

設定	説明
カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
モノクロ	モノクロ（白黒）で印刷します。

⑧ スクリーン
スクリーンを選択します。

設定	説明
階調優先（初期設定）	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

⑨ CMYK シミュレーション
オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションするプロファイルを選択できます。

設定	説明
オフ	シミュレーションしません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパの印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した CMYK 印刷色

⑩ 純ブラック

黒の調整方法を設定します。

設定	説明
オフ	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
オン（初期設定）	CMYK4 色のうち、K のみを使用して黒の階調を表現します。

⑪ RGB 補正方法

RGB 色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする RGB 色を選択できます。

設定	説明
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色

⑫ RGB レンダリングインテント

出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。

設定	説明
オフ（初期設定）	色の再現範囲を調整しません。
知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
彩度	彩度を保持して変換を行います。
絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

⑬ RIT

RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。

* RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする EPSON 独自の印刷機能

設定	説明
オン（初期設定）	RIT をオンにします。
オフ	RIT をオフにします。

⑭ トナーセーブ

カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

設定	説明
使用しない（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
使用する	トナーセーブ機能を使用します。

⑮ 180 度回転

印刷データを 180 度回転して印刷します。

設定	説明
オフ（初期設定）	180 度回転しません。
オン	180 度回転します。

⑯ カラー / モノ自動判別

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

設定	説明
しない（初期設定）	カラー / モノ自動判別を行いません。
する	カラー / モノ自動判別を行います。

⑰ 待機

印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。

設定	説明
オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

⑱ ジョブ情報の印刷

ジョブ情報を印刷するかを設定します。

設定	説明
オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。

参考 ジョブ情報の印刷は印刷可能領域内に印刷されます。印刷可能領域いっぱいのデータを印刷する場合、ジョブ情報の印刷は［オフ］にしていただくことをお勧めします。

⑲［オプション情報設定］ボタン

クリックすると、プリンタに装着されているオプション装置の手動設定などができます。

設定	説明
オプションカセット	オプションの給紙装置を装着していない場合は、［なし］を選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名を選択します。
両面印刷ユニット	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合は、クリックして選択します。
オフセット	印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と左（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。 上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向） 左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

カラーマネージャ設定

EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログでは、以下の操作が行えます。

- 印刷モード（用紙種類、解像度）ごとに適用するカラープロファイルの設定を変更する。
- CMYK 入力カラープロファイルのトーンカーブを微調整する。
- EPSON 純正専用紙以外の用紙についての用紙設定を行う。

EPSON PS Server のカラーマネージャ機能を設定するには、EPSON PS Server の［EPSON PS Server］メニューから［カラーマネージャ設定］を選択します。

① CMYK

CMYK シミュレーションのプロファイル名をメニューから選択します。

② プロファイル名

①のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の CMYK シミュレーションプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルに対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合や、①で［カスタム］を選択した場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［印刷設定］ダイアログで選択する CMYK シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書を参照してください。

③ 色調整

①のメニューで選択している CMYK シミュレーションプロファイルに対して、さらに色の調整をする場合はトーンカーブアイコンをクリックして［トーンカーブ］ダイアログを開きます。標準およびカスタムどちらのプロファイルに対しても、微調整することができます。トーンカーブで調整を行うと、［調整済み］と表示されます。

☞ 本書 122 ページ「［トーンカーブ］ダイアログ」

参考

トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、［トーンカーブ］ダイアログで［リセット］クリックしてから、［保存］をクリックしてください。

④ RGB

RGB 補正のプロファイル名をメニューから選択します。

⑤ プロファイル名

④のメニューで選択しているプロファイル名に対応する実際の RGB 補正方法のプロファイルを表示します。本製品であらかじめ用意している標準プロファイルに対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合や、④で［カスタム］を選択した場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。

参考

- ここで選択されているプロファイルが、プリンタドライバの［印刷設定］ダイアログで選択する RGB シミュレーションプロファイルとして使用されます。
- 本製品に標準添付のプロファイルを使用する場合は、特に操作する必要はありません。
- カスタムプロファイルの作成方法については、お使いになるプロファイル作成ツールの取扱説明書を参照してください。

⑥ 用紙

印刷で使用する用紙種類を選択します。

⑦ プロファイル名

⑥のメニューで選択している用紙名に対応する実際の用紙プロファイルを表示します。各用紙（メディア）に対応するお客様独自のプロファイルを選択する場合は、ここで［+］をクリックして任意のカスタムプロファイルを選択してください。選択したカスタムプロファイルは所定のフォルダに追加コピーされます（プロファイルは 5 つまで追加可能）。また、追加コピーした任意のカスタムプロファイルを削除する場合は、［−］をクリックして削除してください。

⑧ キャリブレーション情報

キャリブレーション情報を表示します。

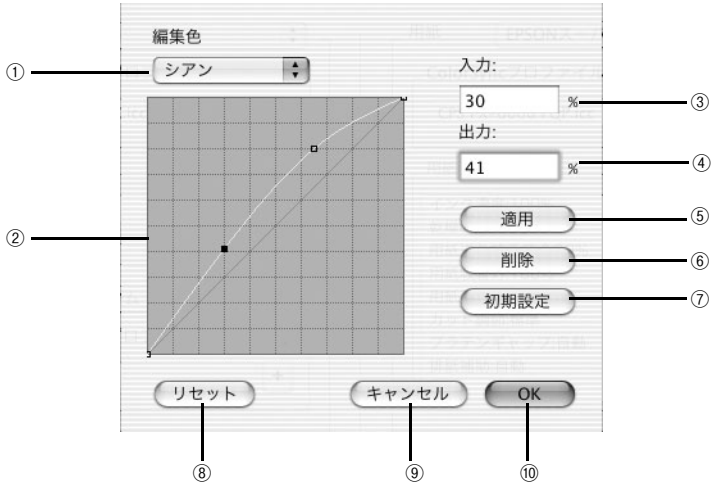
⑨ リセット

［カラーマネージャ設定］ダイアログで変更した設定を初期設定に戻します。

［トーンカーブ］ダイアログ

［カラーマネージャ設定］ダイアログの［色調整］にあるトーンカーブアイコンをクリックすると、［トーンカーブ］ダイアログが開きます。選択している CMYK プロファイルで定義している色濃度に対して、さらに濃度調整を行えます。

☞ 本書 120 ページ「③ 色調整」



① 編集色

調整する色を［シアン］、［マゼンタ］、［イエロー］、［ブラック］の中から選択します。

② トーンカーブ

CMYK プロファイルが定義している色濃度（入力値）が実際にどの色濃度（出力値）で印刷されるかの相関関係を、最初は 45 度の直線で表示します（CMYK プロファイルで定義しているトーンカーブをそのまま再現しません）。任意の色濃度位置（入力値）をドラッグして、出力値を調整できます。また、［入力］と［出力］で指定した値をグラフィカルに表示することもできます。

③ 入力

調整対象となる色濃度（入力値）をパーセントで直接指定できます。

④ 出力

［入力］で指定した色濃度に対して、実際にどの色濃度で出力するかをパーセントで直接指定できます。

⑤ 適用

［入力］と［出力］で指定した値を、トーンカーブに反映させるときにクリックします。

⑥ 削除

トーンカーブでクリックして選択した入出力点を削除します。

⑦ **初期設定**
［編集色］で選択した色のトーンカーブを 45 度の直線に戻します（プロファイル本来の定義に戻します）。

⑧ **リセット**
トーンカーブエディタを開いた時の設定に戻します。

⑨ **キャンセル**
変更した設定値をキャンセルします。

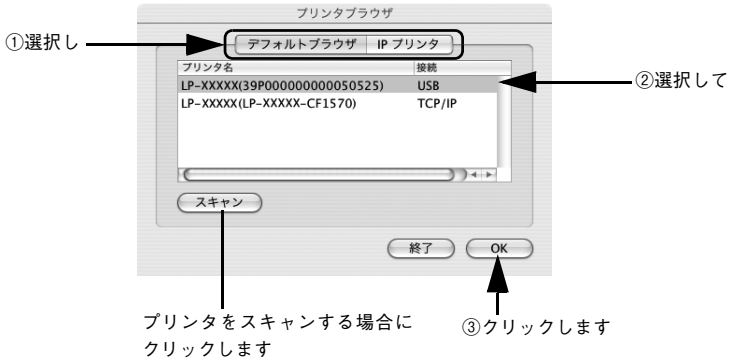
⑩ **OK**
調整したトーンカーブを記憶して、ダイアログを閉じます。トーンカーブが調整された場合は、［カラーマネージャ設定］ダイアログの［色設定］に［調整済み］と表示します。

> **参考** トーンカーブの設定は、プロファイルの色定義そのものを変更します。色定義を元に戻す場合は、［トーンカーブ］ダイアログで［リセット］をクリックしてから、［OK］をクリックしてください。

プリンタの再選択

プリンタを接続するインターフェイスを変更した場合は、プリンタを再選択する必要があります。[EPSON PS Server] メニューから［プリンタ再選択］を選択してください。以下のダイアログが表示されますので、[OK] をクリックし EPSON PS Server を一旦終了させます。

次回 EPSON PS Server を起動すると、接続先を選択するダイアログが表示されます。使用するインターフェイス（ポート）を選択してから、同じプリンタを選択してください。



参考

- USB ポートにプリンタを接続している場合、［USB］を選択しているにもかかわらずリストに機種名が表示されない場合は、プリンタの電源がオフになっている可能性があります。プリンタの電源と接続を確認してください。
- Ethernet ネットワークにプリンタを接続している場合で、使用するプリンタの名前が表示されない場合は、［スキャン］をクリックしてください。
- プリンタの再選択時に別のプリンタを選択すると、元のプリンタ（プリントサーバ）にインストールした市販のプリンタフォントは使用できません。

メッセージのクリア

メインウィンドウのメッセージをクリアしたい場合は、［編集］メニューから［メッセージをクリア］を選択してください。

メインウィンドウに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。必要に応じて［メッセージのクリア］を実行してください。
☞ 本書 125 ページ「メインウィンドウの表示 / 非表示」

メインウィンドウの表示 / 非表示

EPSON PS Server が起動すると、印刷状況を表示するメインウィンドウが開きます。また、エラーが発生した場合などは、ウィンドウを広げてエラー状況を確認することができます。

［ウィンドウ］メニューの［ウィンドウを表示］を選択すると、印刷の進行を表すウィンドウが開きます（工場出荷時には、EPSON PS Server 起動時に自動的に開くように初期設定されています）。ウィンドウを表示させる必要のないときは、［ウィンドウを非表示］を選択して閉じておくこともできます。

印刷中のメインウィンドウ

エラー状況の表示

① ステータス
現在進行中のジョブの名称と印刷状況を表示します。

② キャンセル
印刷中のジョブを削除（印刷をキャンセル）するときにクリックします。

③ プログレスバー（印刷実行時に前ページの図の位置に表示されます。）
印刷の進行状況の度合いを表示します。

④ メッセージ表示
EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認するには、この［メッセージ表示］をクリックしてウィンドウを広げます。メッセージに表示されるプリンタのエラーやワーニングメッセージは、エラーなどが解除されても EPSON PS Server が終了するまでクリアされません。メッセージの内容を消すには、［編集］メニューにある［メッセージをクリア］を選択します。
☞ 本書 125 ページ「メッセージのクリア」

［ヘルプ］メニューについて

メニューバーの［ヘルプ］－［EPSON PS Server ヘルプ］をクリックすると、本書（PDF マニュアル）を表示します。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。
EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
Windows XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 ＜使用可能ブラウザ＞ Safari1.0 以降で動作可能ですが、最新バージョンのご利用をお勧めします。

起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

1 EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。

- EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
- EPSON PS Server を起動します。

2 次の手順で EPSON PS Manager を起動します。

EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の［アプリケーション］フォルダにある［EPSON PS Manager］アイコンをダブルクリックします。

3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。

4 **パスワード入力画面が表示されます。**

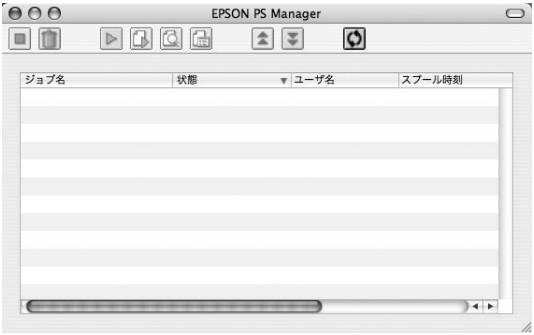
- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま［OK］をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。

> **参考**
> パスワードは、EPSON PS Server で設定します。
> - Windows の場合
>
> ［編集］メニュー－［初期設定］－［クライアントパスワードの設定］
> ☞ Windows：本書 42 ページ「初期設定」
> - Mac OS X の場合
>
> ［環境設定］－［クライアントパスワード］
> ☞ Mac OS X：本書 109 ページ「環境設定」

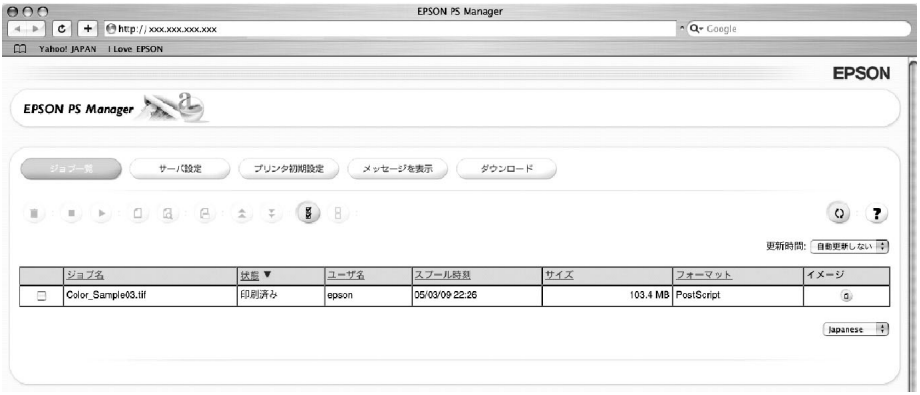
5 **EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。**

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】



【Web 版 EPSON PS Manager】



終了方法

EPSON PS Manager の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［ファイル］－［終了］をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。

【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（%）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備 • フォーマット異常 • PS エラー • カバーオープン • 用紙切れ • トナー切れ • インク切れ • 用紙ジャム
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を表示します。表示形式は以下の通りです。 • アプリケーション版「時：分：秒」 • Web 版「年：月：日　時：分」
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG

参考

- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、[待機] を [オン] に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されます。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	プレビュー表示	［プレビュー］画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	印刷設定	［印刷設定］画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	すでに印刷待ちになっているジョブより優先して印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	印刷の優先度を下げて、より優先度の高いほかのジョブより後で印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］－［サーバ設定］をクリックし、［全般］タブをクリックます。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［サーバ設定］をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。各設定項目については次のページを参照してください。
☞ 本書 115 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］－［サーバ設定］をクリックし、［デフォルト］タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［プリンタ初期設定］をクリックします。

③ メッセージを表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	［メッセージを表示］をクリックします。

④ イメージ（サムネイル）表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

ジョブ一覧の［イメージ］に印刷ジョブにサムネイル画像を表示させます。
［イメージ］にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブか分かりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。
また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の［イメージ］欄 をクリックします。

⑤ EPSON PS Folder のダウンロード（Web 版 EPSON PS Manager を起動時のみ）

ドラッグ&ドロップ印刷を行うための「PS Folder」をダウンロードできます。
EPSON PS Folder の詳細については以下のページを参照してください。
☞ 本書 133 ページ「EPSON PS Folder」

Web 版 EPSON PS Manager での操作	［ダウンロード］をクリックします。

Windows から Web 版 EPSON PS Manager を起動した場合には［ダウンロード］は表示されません。

！注意 **Web 版 EPSON PS Manager について**

- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、Safari1.0 以降 * が標準のブラウザに設定されている必要があります。
  * 最新バージョンのご利用をお勧めします。
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、この Web ブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、Dock などで起動しているEPSON PS Managerを手動で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

EPSON PS Folder

EPSON PS Folder の概要

EPSON PS Folder は、ホットフォルダのアイコンを作成するユーティリティです。EPSON PS Folder で作成したホットフォルダを使用してファイルのドラッグ&ドロップ印刷が可能です。

作成したホットフォルダは次の特徴を持っています。

■ 印刷するファイルをアイコン上にドラッグ&ドロップすることで印刷可能
■ フォルダごとに印刷設定を指定可能
■ 1 台のコンピュータに最大 16 個のホットフォルダが作成可能
■ 以下のファイル形式に対応
PS、PDF Ver. 1.5、TIFF*1、JPEG*2、EPS*3

*1 ベースラインに準拠、LZW 圧縮・JPEG 圧縮をサポートしています。
ZIP 圧縮、1bit TIFF、16bit TIFF、YcbC、マルチページ、α チャネルには非対応です。
*2 ベースラインに準拠、1 ピクセル =1 ポイントで描画します。プログレッシブ形式の圧縮等は非対応です。
*3 基本的な EPS ファイルは全てサポートします。アプリケーションソフトによっては、EPS ファイルの末尾に "showpage" のコマンドが入らないファイルが作成されます。その場合は、ホットフォルダで "showpage" コマンドが付くように設定して印刷していただければ問題ありません。

■ ホットフォルダはハードディスクドライブ上の任意のパス（ローカルドライブ）に作成可能

参考

- アプリケーションソフトで作成した EPS ファイルでページのサイズ情報などが保存されない場合は、最大サイズで印刷されます。
- カスタム用紙サイズを選択して EPS ファイルを作成した場合、最大用紙サイズで印刷してください。
- A4などの定型用紙サイズを選択してEPSファイルを作成した場合、指定した用紙サイズで印刷してください。

ホットフォルダの作成方法

ホットフォルダは次の 2 種類の方法で作成することができます。

EPSON PS Server から作成する方法

1 EPSON PS Server を起動します。

起動方法は以下のページを参照してください。

☞ 本書 77 ページ「EPSON PS Server の起動」

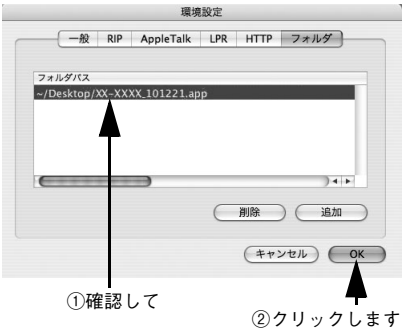
2 ［EPSON PS Server］―［環境設定］を選択し、［フォルダ］タブを表示します。

❸ **［追加］をクリックします。**

❹ **次の画面が表示されますので、作成するホットフォルダ名 / 作成場所を指定し［OK］をクリックします。**

！注意
- ローカルディスクのみ指定できます。ネットワークフォルダは使用できません。
- フォルダ名は自動的に「プリンタ名 _ 作成日時（時、分、秒）」で表示されます。必要に応じてわかりやすいフォルダ名に変更してください。

❺ **再度［フォルダ］タブが表示されますので、作成したフォルダが追加されたことを確認し［OK］をクリックします。**



ホットフォルダは ❹ で指定した場所とフォルダ名で作成されます。

EPSON PS Managerから作成する方法(Web版EPSON PS Managerを起動時のみ)

> **!注意** Windows 環境の EPSON PS Server に接続する場合、EPSON PS Manager からダウンロードしてホットフォルダを作成することができません。

1 EPSON PS Server を起動します。

起動方法は以下のページを参照してください。

☞ Mac OS X：本書 77 ページ「EPSON PS Server の起動」

2 クライアントで EPSON PS Manager を起動します。

起動方法は以下のページを参照してください。

☞ 本書 127 ページ「起動」

3 [ダウンロード] をクリックします。

4 **［EPSON PS Folder をダウンロード］をクリックします。**

5 **ダウンロードした圧縮ファイルをダブルクリックして解凍します。**

ダウンロードされた EPSON PS Folder は、「tar」形式の圧縮ファイルです。通常の場合、［Epson_ps_folder_100.tar］という圧縮ファイルがデスクトップに作成されますので、作成された圧縮ファイルをダブルクリックして解凍してください。

デスクトップに［EPSON_PS_Folder］というホットフォルダが作成されます。必要に応じて［EPSON_PS_Folder］のプロパティを設定してください。詳細は以下のページを参照してください。

☞ 本書 137 ページ「［ホットフォルダプロパティ］画面について」

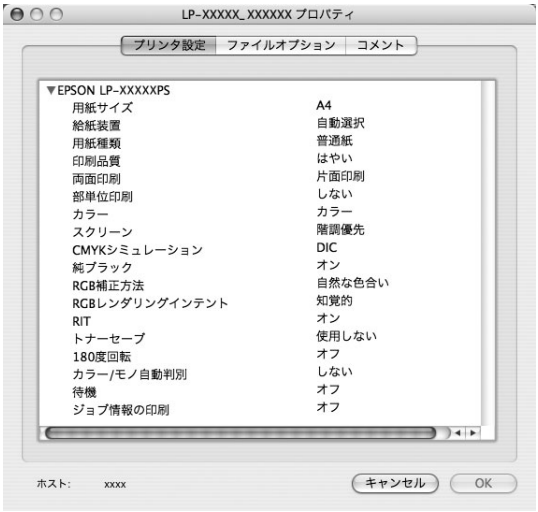
［ホットフォルダプロパティ］画面について

［ホットフォルダプロパティ］画面は、ホットフォルダのアイコンをダブルクリックすると表示できます。

［プリンタ設定］タブ

ドラッグ&ドロップされたファイルを印刷する際に、自動的に適用される詳細設定をあらかじめ設定することができます。

> **注意** PostScript ファイルをホットフォルダにドラッグ & ドロップして印刷する場合、PostScript ファイルに含まれる印刷設定より、ホットフォルダプロパティの印刷設定が優先されます。

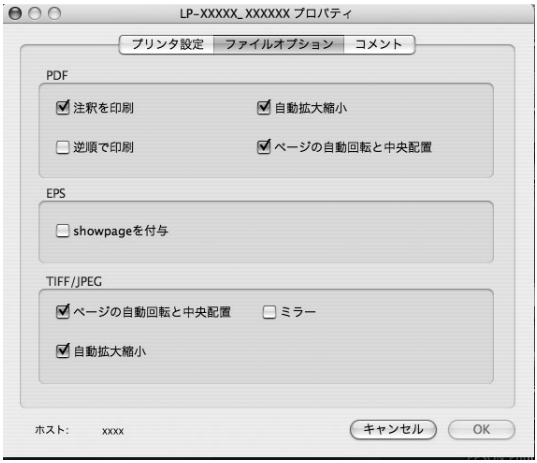


変更したい項目をクリックすると選択肢が表示され各項目の設定を変更することができます。設定内容は機種によって異なります。詳細は以下のページを参照してください。

☞ 本書 115 ページ「プリンタ初期設定」

［ファイルオプション］タブ

ファイル形式ごとに、印刷に関する設定を変更できます。



■ PDF

項目	説明	初期設定
注釈を印刷	PDF ファイルの中に含まれるコメントを印刷します。	チェック ON
逆順で印刷	複数ページのジョブを逆順で印刷します。	チェック OFF
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。［プリンタ設定］タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが［ジョブのデフォルト］の場合、本機能は動作しません	チェック ON
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。［プリンタ設定］タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが［ジョブのデフォルト］の場合、本機能は動作しません。	チェック ON

■ EPS

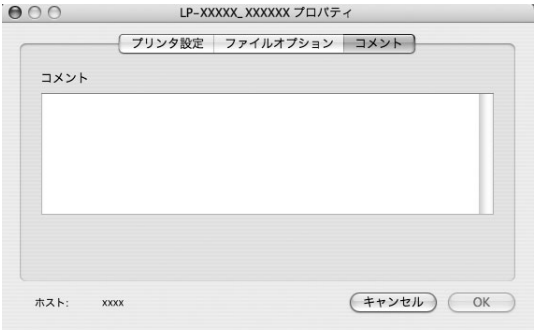
項目	説明	初期設定
Showpage を付与	［showpage］命令を EPS ファイルに付与します。EPS ファイルによっては［showpage］命令が必要になる場合があるため、EPS ファイルの印刷ができない場合、本項目にチェックを付けてください。［showpage］命令がすでにファイル内にある場合に、この設定を有効にすると、白紙ページが 1 枚印刷されます。	チェック OFF

■TIFF/JPEG

項目	説明	初期設定
ページの自動回転と中央配置	選択した用紙サイズの中央に自動回転してジョブを配置します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目で用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
自動拡大縮小	指定した用紙サイズに拡大・縮小して印刷します。[プリンタ設定] タブの用紙サイズ項目にて、用紙サイズを指定してください。用紙サイズが [ジョブのデフォルト] の場合、本機能は動作しません。	チェック ON
ミラー	鏡像印刷（鏡に映したように左右を反転します）を行います。	チェック OFF

[コメント] タブ

ホットフォルダのリストで [コメント] の欄に表示する内容を入力します。複数のホットフォルダを作成し、各フォルダを区別するための説明を入れる場合等に使用します。



!注意 入力できる文字数は最大で半角 255 文字までです。

ホットフォルダの削除方法

ホットフォルダの削除方法は作成方法によって異なります。

EPSON PS Server からホットフォルダを作成した場合

[EPSON PS Server] ―［環境設定］を選択し、［フォルダ］タブを表示させ、削除したいフォルダを選択して［削除］をクリックします。

EPSON PS Manager でダウンロードして作成した場合

作成したホットフォルダをゴミ箱に移動します。

Mac OS 9 クライアントでの使用方法

ここでは、本製品を Mac OS 9 クライアントで使用する方法について説明します。

● セットアップについて 141
● 印刷の手順 149
● プリンタドライバの設定項目について 151
● ファイルへの出力 172
● カラーシミュレーション機能について 174
● EPSON PS Manager について 179

セットアップについて

EPSON PS Server が稼動する OS（プリントサーバ）と印刷を行う OS（クライアント）の組み合わせによって印刷をおこなうための前提条件などが異なります。下表を参照して前提条件（[A] ～ [F]）を確認してください。

プリントサーバ接続

		プリントサーバの OS（EPSON PS Server 稼動コンピュータ）	
		Mac OS X	Windows XP
クライアントの OS	Mac OS 9	[A] AppleTalk、TCP/IP	[B] TCP/IP
	Mac OS X	[C] AppleTalk、Rendezvous/Bonjour*、TCP/IP	[D] TCP/IP
	Windows 2000/XP	[E] TCP/IP	[F] TCP/IP

* Mac OS X v10.2.8/v10.3.9：Rendezvous
Mac OS X v10.4.x：Bonjour

以下の「XXX → YYY」という記載について、「XXX」がクライアントの OS を示し、「YYY」はプリントサーバの OS を示します。

[A] Mac OS 9 → Mac OS X

Mac OS 9 ではクライアントとして印刷できますが、本製品のプリントサーバとしては使用できません。

☞ 本書 143 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの選択」
☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

[B] Mac OS 9 → Windows XP

Mac OS 9 の［セレクタ］からは本製品を利用したプリンタ名が表示されません。デスクトップ・プリンタを作成します。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

[C] Mac OS X → Mac OS X

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。

☞ 本書 65 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 68 ページ「Rendezvous/Bonjour 接続でのプリンタの追加」
☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[D] Mac OS X → Windows XP

Mac OS X から印刷する場合、カスタム用紙サイズの作成などについて、制限事項や注意事項があります。Mac OS X ドライバの注意事項についての詳細は、ユーザーズガイドまたはエプソンのホームページ（http://www.i-love-epson.co.jp）でご確認ください。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 70 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの追加」

[E] Windows 2000/XP → Mac OS X

Windows 2000/XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

[F] Windows 2000/XP → Windows XP

Windows 2000/XP の［Standard TCP/IP Port］を必ず使用してください。［LPR Port］を使用した接続は動作保証外となります。なお、プリンタフォントの追加はできません。

☞ 本書 13 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（サーバへのインストール）」
☞ 本書 15 ページ「プリントサーバ接続環境でのインストール（クライアントへのインストール）」

AppleTalk 接続でのプリンタの選択

Mac OS 9 から AppleTalk を使って印刷するには、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

!注意 AppleTalk 接続では、以下の制限事項があります。
- 「待機」の機能が動作しません。「待機」の設定を行っても、印刷してしまいます。
- 印刷が終了するまでクライアントが解放されません。

LPR 接続ではこのような制限がないため、IP 設定が可能な環境で使用の場合は、LPR 接続を推奨します。

参考
- サーバ側のコンピュータで EPSON PS Server を起動しておいてください。
  ☞ Mac OS X：本書 77 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順を繰り返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server を選択し直してください。

1 アップルメニューから［セレクタ］を開いて、［AppleTalk］を［使用］に設定します。

一度［使用］に設定していれば、［セレクタ］は設定を記憶しています。設定を変更した場合は、警告ダイアログのメッセージを確認して［OK］をクリックします。

参考 ［セレクタ］で必ず［AppleTalk］を［使用］に設定する必要があります。［不使用］に設定すると、EPSON PS Server から印刷できません。

2 ［AdobePS］を選択します。

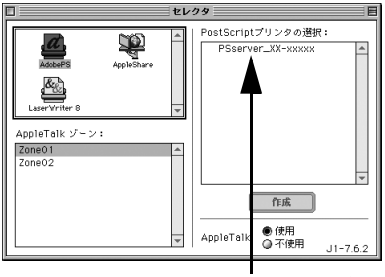
［セレクタ］左側のボックスに、インストールした［AdobePS］アイコンが現れます。そのアイコンをクリックします。

参考 これ以降の手順に進めない場合は、プリントサーバコンピュータの EPSON PS Server が起動していないか、ケーブルが正しく接続されていません。EPSON PS Server の起動とケーブルの接続を確かめてください。

3 **［PS Server_XX-xxxxx*］を選択します。**

AppleTalk ゾーンを設定している場合は、EPSON PS Server を接続しているゾーンを最初に選択してください。

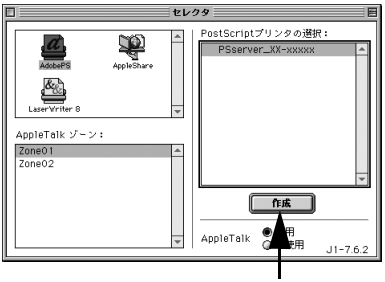
* プリンタの機種名が表示されます。



クリックします

4 **［作成］をクリックします。**

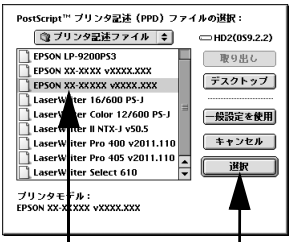
プリンタとの接続状況を示すダイアログが表示されたあと、使用するプリンタ機種専用の PPD ファイルが自動的に選択されます。



クリックします

参考 サーバ名の左横に、PPD ファイルが選択されていることを示すマーク（ ）が現れます。

万一お使いのプリンタ専用の PPD ファイルが自動的に選択されない場合は、右のダイアログが現れます。お使いのプリンタの機種名と同じ PPD ファイルをクリックして、［選択］をクリックしてください。



①機種専用 PPD ファイルをクリックして

②クリックします

5 **セレクタを閉じます。**

- クローズボックス（ダイアログ左上の□ボックス）をクリックして［セレクタ］を閉じます。
- 用紙設定に関する警告ダイアログが現れたら、メッセージを確認して［OK］をクリックします。

以上で、印刷前の準備は終了です。お使いのアプリケーションソフトから印刷できます。

TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択

Mac OS 9 から TCP/IP を使って印刷するには、以下の手順に従って EPSON PS Server（プリンタ）を選択してください。

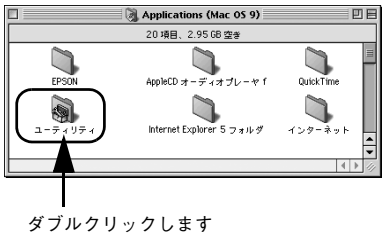
参考

- サーバ側のコンピュータで EPSON PS Server を起動しておいてください。
  ☞ Windows：本書 22 ページ「EPSON PS Server の起動」
  ☞ Mac OS X：本書 77 ページ「EPSON PS Server の起動」
- 起動している EPSON PS Server を一度選択すれば、印刷のたびに以下の手順を繰り返す必要はありません。
- ネットワーク上の複数の EPSON PS Server を切り替えて印刷する場合は、EPSON PS Server を選択し直してください。
- コントロールパネルの"TCP/IP"でIP設定がされていることを確認してください。
- Mac OS X サーバに接続しているプリンタに印刷する場合は、サーバの EPSON PS Server で、［環境設定］ダイアログの［LPR］タブの［LPR］チェックボックスをチェックしておいてください。
  ☞ 本書 112 ページ「［LPR］タブ」

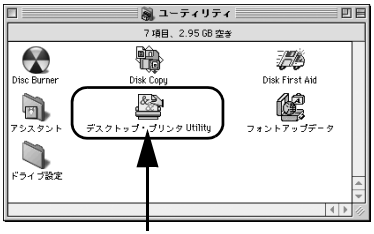
1 **ハードディスクのアイコンをダブルクリックします。**

参考 ［Macintosh HD］というアイコン名は、ご利用の環境によって異なります。

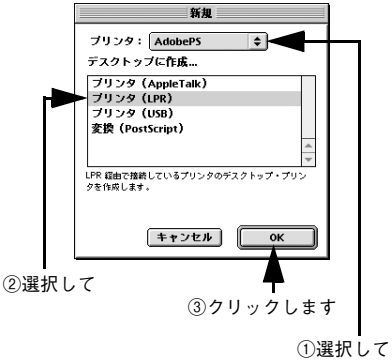
2 **［Applications］フォルダにある［ユーティリティ］フォルダをダブルクリックします。**



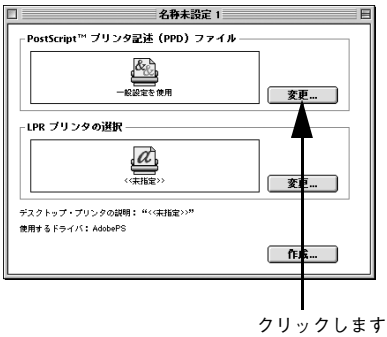
3 **［デスクトップ・プリンタ Utility］をダブルクリックして起動します。**



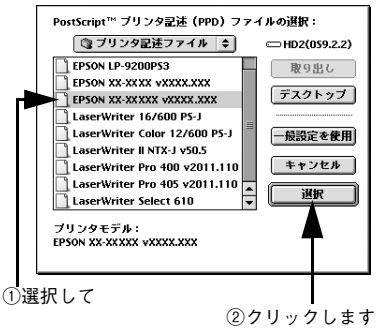
4 ［プリンタ］で［AdobePS］を選択し、［プリンタ（LPR)］を選択して、［OK］をクリックします。



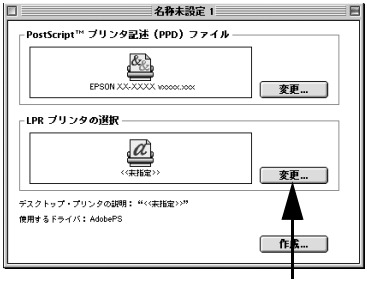
5 ［PostScript プリンタ記述（PPD）ファイル］の［変更］をクリックします。



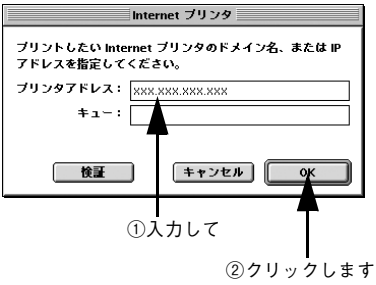
6 使用するプリンタの PostScript プリンタ記述ファイルを選択して、［選択］をクリックします。



7 **[LPR プリンタの選択] の [変更] をクリックします。**



8 **[プリンタアドレス] に EPSON PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを入力して、[OK] をクリックします。**



- IP アドレスは、Mac OS X サーバに印刷する場合は EPSON PS Server の [EPSON PS Server] メニューで [環境設定] を選択し、[LPR] タブに表示されるものを使用してください。Windows サーバに印刷する場合は、PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを入力してください。
- [キュー] には入力する必要はありません。
- [検証] をクリックすると、接続に問題がないか検証できます。

参考

- [検証] は入力した IP アドレスの接続状況を検証する機能で、EPSON PS Server の接続を検証するとは限りません。必ず、EPSON PS Server が動作しているコンピュータの IP アドレスを確認してから [プリンタアドレス] に入力してください。
- 正しく検証された場合、画面内に「プリンタの場所：IP アドレス or プリンタのドメイン名」が表示されます。
- 「プリンタを検証できません」とエラーが表示された場合、EPSON PS Server が動作しているか確認してください。

9 **［作成］をクリックします。**

クリックします

10 **右の画面が表示されます。［プリンタ名］を入力して、［OK］をクリックします。**

①入力して　②クリックします

11 **［ファイル］メニューから［終了］を選択して、［デスクトップ・プリンタ Utility］を終了します。**

以上で、印刷前の準備は終了です。印刷を行うには、以下のページへ進んでください。
☞ 本書 149 ページ「印刷の手順」

印刷の手順

起動している EPSON PS Server が選択されていれば、印刷できます。ここでは、Mac OS アプリケーションソフトでの基本的な印刷手順について説明します。EPSON PS Server の接続については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 143 ページ「AppleTalk 接続でのプリンタの選択」
☞ 本書 145 ページ「TCP/IP（LPR）接続でのプリンタの選択」

用紙設定の手順

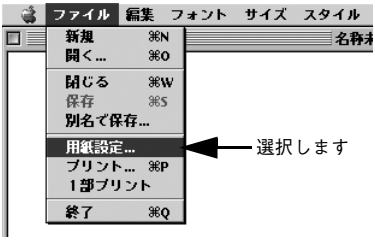
実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。

> **参考** アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1. **EPSON PS Server が起動していることを確認します。**

2. **アプリケーションソフトを起動します。**

3. **［ファイル］メニューから［用紙設定］を選択します。**
   アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（［プリンタの設定］など）。



4. **各項目を設定します。**
   - 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
   - 各設定項目の説明は、以下のページを参照してください。
     ☞ 本書151 ページ「［用紙設定］ダイアログ」

> **参考** 設定項目の説明は、［ヘルプ］メニューから［バルーン表示］を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

5. **［OK］をクリックして終了します。**

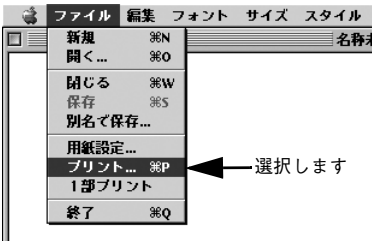
この後、印刷データを作成します。次へ進んでください。
☞ 本書 150 ページ「印刷設定の手順」

印刷設定の手順

印刷する前に、印刷部数などを設定します。印刷関係の項目は以下のダイアログボックスで設定します。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］を選択します。**

アプリケーションソフトによっては、コマンド名が異なる場合があります（［印刷］など）。



2 **各項目を設定します。**

- 表示されている設定条件でよければ、改めて設定する必要はありません。
- 各設定項目の説明は、以下のページを参照してください。

☞ 本書158 ページ「[プリント]ダイアログ」

参考

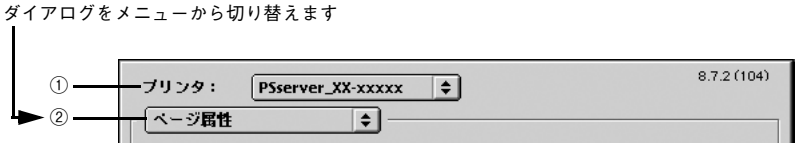
- CMYK/RGB カラーシミュレーション機能を使用するなどプリンタ固有の機能を利用するには、［プリンタのカラー調整］または［プリンタの固有機能］ダイアログで設定してください。
  ☞ 168 ページ「［プリンタ固有機能］ダイアログ」
- アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 設定項目の説明は、［ヘルプ］メニューから［バルーン表示］を選択してバルーンヘルプを表示させてご覧いただける場合があります。

3 **［プリント］をクリックして、印刷を実行します。**

プリンタドライバの設定項目について

［用紙設定］ダイアログ

［用紙設定］ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



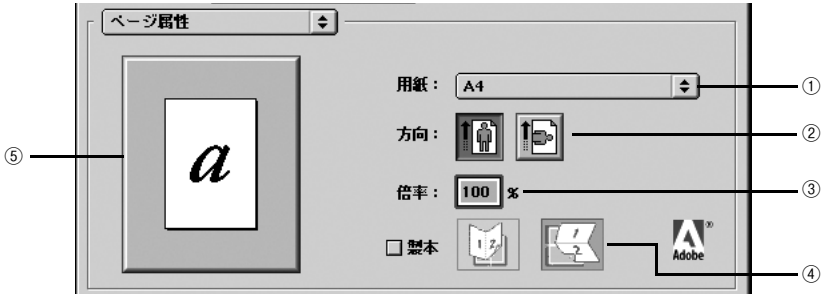
① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数台ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択します。

②［用紙設定］メニュー

ポップアップメニューから設定画面を選択すると、以下の機能が設定できます。

［ページ属性］ダイアログ



① 用紙

ポップアップメニューから印刷する用紙サイズを選択します。選択できる用紙サイズは、プリンタの機種によって異なります。使用可能な用紙サイズと印刷可能領域については、お使いのプリンタの取扱説明書を参照してください。

> **参考** カスタム用紙サイズを作成して選択することができます。
> ☞ 本書 157 ページ「［カスタムページ設定］ダイアログ」

② 方向

印刷データを用紙に対してどの方向で印刷するかアイコンをクリックして選択します。

③ 倍率

25% ～ 400% の範囲で拡大または縮小して印刷できます。数値を直接入力して設定します。

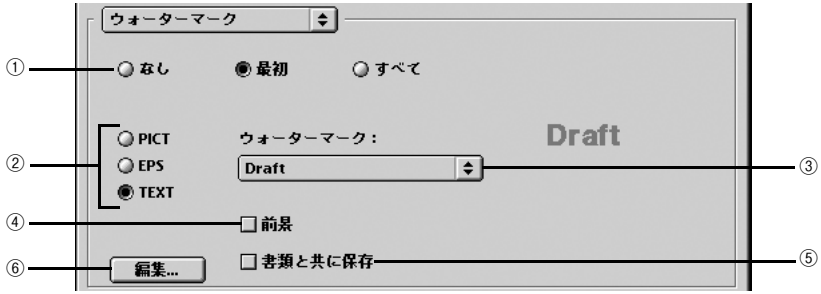
④ 製本

製本するように印刷でき、綴じ方向を選択できます。

⑤ プレビューウィンドウ

設定状況をイラストで表示します。画面上をクリックすると用紙サイズと余白の情報を表示します。

［ウォーターマーク］ダイアログ



① なし / 最初 / すべて

ウォーターマークを印刷するページを選択します。

設定	機能
なし	ウォーターマークを印刷しません。
最初	ウォーターマークを最初のページにのみ印刷します。
すべて	ウォーターマークをすべてのページに印刷します。

② PICT/EPS/TEXT

ウォーターマークのファイル形式を選択します。

設定	機能
PICT	PICT 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
EPS	EPS 形式で保存したファイルをウォーターマークとして印刷します。
TEXT	登録した文字（TEXT/ テキスト）をウォーターマークとして印刷します。文字の登録方法については、以下のページを参照してください。☞ 本書 154 ページ「⑥ 編集」

③ ウォーターマーク

ウォーターマークファイルを選択します。なお、上記②で選択したファイル形式によって、選択できるファイルは異なります。

参考

- ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、［システムフォルダ］の［初期設定］フォルダ内にある［ウォーターマーク］フォルダです。
- サンプルのウォーターマークファイルが用意されています。任意の画像や文字などを［ウォーターマーク］フォルダに PICT または EPS 形式のファイルとして保存すると、ウォーターマークとしてご利用いただけます。
- ［ウォーターマーク］フォルダのエイリアスを作成して、アクセスしやすい任意の場所に配置することもできます。ただし、その場合のエイリアス名は必ず［ウォーターマーク］としてください。

④ 前景

ウォーターマークを書類の前景に印刷します。背景として印刷する場合は、［前景］のチェックマークを外します。

> **参考** 一部のアプリケーションソフト（例 SimpleText）は、背景を白く印刷します。その場合、背景にウォーターマークを配置すると、ウォーターマークは印刷されません。ウォーターマークは前景に配置して印刷してください。

⑤ 書類と共に保存

印刷するかわりにファイルとして保存することができます。その際、ウォーターマークを一緒に保存することができます。ファイルの保存については、以下のページを参照してください。

☞ 本書 172 ページ「ファイルへの出力」

> **参考** アプリケーションソフトによっては、ウォーターマークを書類と共に保存できない場合があります。

⑥ 編集

②で［TEXT］を選択した場合、文字（TEXT/ テキスト）をウォーターマークとして登録できます。［編集］をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。

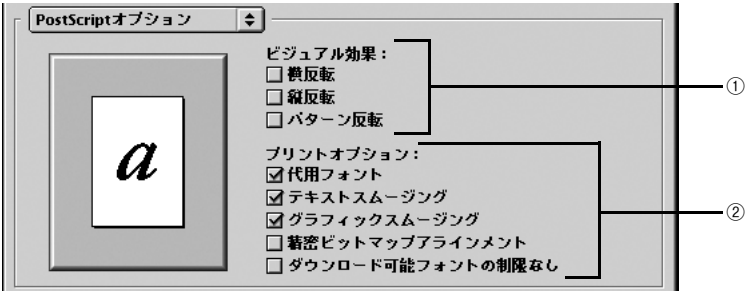
表示	機能
ウォーターマークファイル	登録済みのテキストウォーターマークファイルを選択します。
ウォーターマーク フォント / サイズ / スタイル	テキストウォーターマークに使用するフォント、サイズ、スタイルを、メニューをスクロールして選択します。
ウォーターマーク テキスト	ウォーターマークのテキストです。新規に登録する場合は、ここにテキストを入力します（最大半角 255 文字）。
色	ウォーターマークの色を選択します。
新規保存	［ウォーターマーク テキスト］に入力したテキストをウォーターマークファイルとして新規に保存します。［新規保存］をクリックするとダイアログが表示されますので、［新規ウォーターマーク名］を入力して［OK］をクリックします。

表示	機能
ウォーターマークの配置	テキストウォーターマークを印刷するページ位置（テキストの左下角）と角度を指定できます。 • マウスをクリックすると位置が決まります。 • ウォーターマークをドラッグすると、テキストの角度が変わります。

参考

ウォーターマークファイルを保存するフォルダは、[システムフォルダ]の［初期設定］フォルダ内にある［ウォーターマーク］フォルダです。誤ってウォーターマークを消しても対処できるように、[ウォーターマーク]フォルダをバックアップすることをお勧めします。

［PostScript オプション］ダイアログ



① ビジュアル効果

印刷データにビジュアル効果を加えて印刷します。

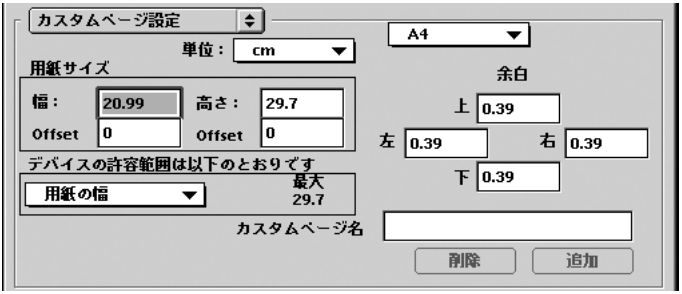
設定	機能
横反転	印刷データを鏡に映したイメージ（水平方向に反転させたイメージ）で印刷します。
縦反転	印刷データを鏡に映したイメージ（垂直方向に反転させたイメージ）で印刷します。
パターン反転	白黒を反転させたイメージで印刷します。

② プリントオプション

印刷時のフォント、画像に対する機能を設定することができます。

設定	機能
代用フォント	New York、Geneva、Monacoのフォントをそれぞれ Times、Helvetica、Courier のフォントに置き換えて高品質に印刷します。
テキストスムージング	印刷データ中のビットマップフォントの輪郭を滑らかにして印刷します。
グラフィックスムージング	印刷データ中の画像（ビットマップデータ）に補正をかけて高品位に印刷します。
精密ビットマップアラインメント	グラフィックイメージを印刷したときに起きるゆがみを補正するために、印刷データを少し縮小して印刷します。
ダウンロード可能フォントの制限なし	通常、この機能は設定しない（チェックしない）でください。 この機能にチェックを付けると、印刷時にプリンタからダウンロードするスクリーンフォントを多数使用できるようになりますが、印刷に不具合が生じることがあります。

［カスタムページ設定］ダイアログ



［カスタムページ名］に名前を付けて、カスタム用紙サイズを作成できます。

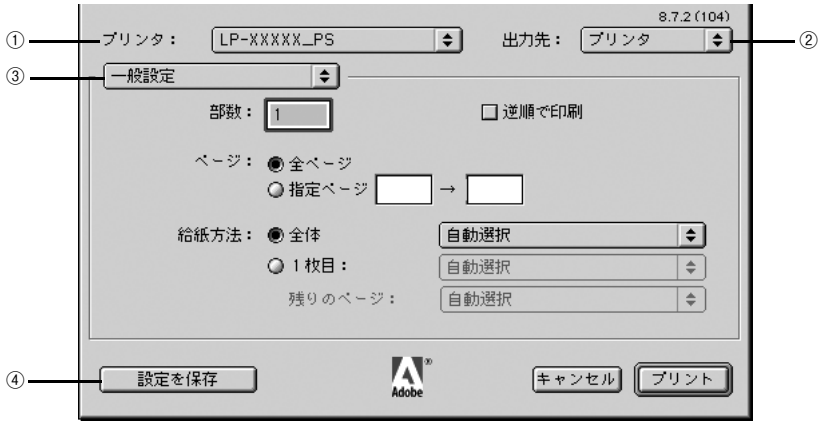
- ［単位］を選択してから、［用紙サイズ］と［余白］の各項目に数値を入力し、［追加］をクリックして登録します。
- 登録したカスタム用紙サイズを削除するには、用紙サイズ名をメニューから選択して［削除］をクリックします。
- お使いのプリンタの機種で設定できる数値の許容範囲は、［デバイスの許容範囲は以下のとおりです］のメニューを切り替えて確認できます。

参考

- 作成したカスタム用紙サイズは、［ページ属性］ダイアログの［用紙］から選択できます。
- プリンタに付属のドライバで作成した用紙情報をカスタム用紙として登録できます。

［プリント］ダイアログ

［プリント］ダイアログでは、印刷に関わる各種の設定を行います。ダイアログ左上の［印刷設定］メニューから設定画面を選択すると、プリンタの各種機能が設定できます。



① プリンタ

印刷可能な PS プリンタが複数ある場合は、このポップアップメニューから使用するプリンタをクリックして選択することができます。

② 出力先

印刷データの出力先を設定します。［プリンタ］を選択すると印刷データをプリンタに送り、プリンタは印刷を開始します。［ファイル］を選択すると、印刷データを PostScript ファイルまたは EPS ファイルとして保存することができます。

☞ 本書 166 ページ「［PostScript 設定］ダイアログ」

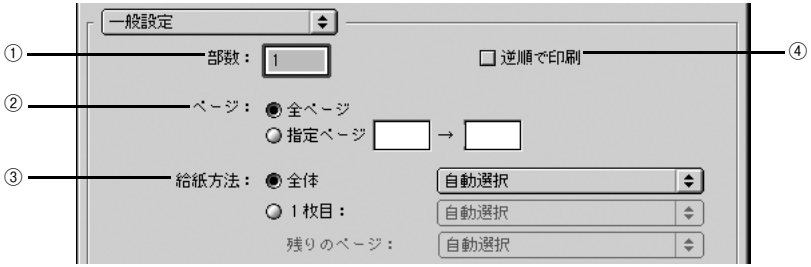
③ 印刷設定メニュー

印刷に関する各種機能の設定が実行できます。ポップアップメニューから選択してください。各設定項目については、次ページ以降を参照してください。

④ 設定を保存

［プリント］ダイアログで設定を変更して［設定を保存］をクリックすると、設定が保存されます。

［一般設定］ダイアログ



① 部数

印刷する部数を最大 999 部まで設定できます。直接数値を入力して設定します。

② ページ

印刷するページの範囲を設定します。

③ 給紙方法

印刷する用紙がセットされた給紙装置に合わせて選択します。

設定	機能
自動選択（初期設定）	プリンタ本体側と EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で、設定されている給紙装置が異なる場合、EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］で設定されている給紙装置が使用されます。この場合、EPSON ステータスモニタやプリンタの操作パネルに給紙装置変更のメッセージが表示されますので、メッセージに従って給紙装置を変更する必要があります。 ☞ Windows：本書 43 ページ「プリンタ初期設定」 ☞ Mac OS X：本書 115 ページ「プリンタ初期設定」
MP トレイ	MP トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2/3/4	オプションの増設カセットユニットの用紙カセットから給紙します。

通常は［全体］を選択して、すべてのページで同じ給紙装置を使用します。

④ 逆順で印刷

最後のページから逆順で印刷します。

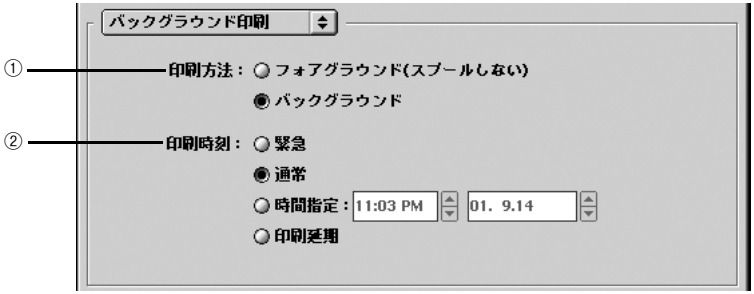
［追加オプション］ダイアログ

① 高速プリンタまたは Acrobat Distiller を使用する場合に選択
EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、ビットマップフォントとして印刷します。

② EPS ファイルまたはポータブル PostScript ファイルを作成する場合に選択
EPSON PS Server 用にインストールされていない 2 バイトフォントは、フォントデータのサブセットとしてプリンタへ送られます。

> **参考** アプリケーションによっては、①の設定で印刷できない場合があります。そのような場合は、②の設定で印刷してください。

［バックグラウンド印刷］ダイアログ



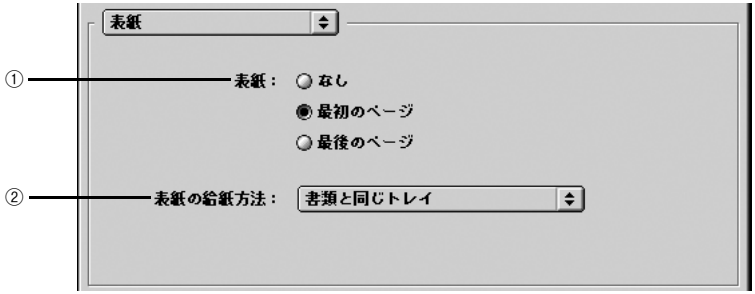
① 印刷方法

バックグラウンドを選択すると印刷中も Mac OS をほかの作業に使用することができます。初期設定では［バックグラウンド］が選択されています。

② 印刷時間

通常の印刷では、［通常］を選択します。［緊急］を選択すると、複数の印刷データがある場合に、優先して印刷します。［時間指定］を選択すると、印刷する時間と日付を指定して印刷できます。［印刷延期］を選択すると、印刷データをプリントキューに残したまま印刷しません。

［表紙］ダイアログ



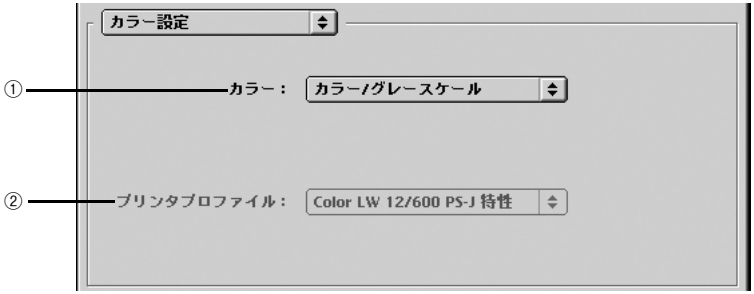
① 表紙

印刷データの名称や印刷日時などの情報を表示したページを、印刷の［最初のページ］または［最後のページ］に印刷できます。

② 表紙の給紙方法

表紙を印刷するときは、印刷データとは別の給紙装置を［表紙の給紙方法］で選択することもできます。ただし、給紙口が 1 つしかないプリンタの場合は、設定を変更することができません。

［カラー設定］ダイアログ



① カラー

カラー / グレースケールの印刷方法を設定します。

機能	説明
白黒	モノクロ（白黒）で印刷します。グレースケール（階調）は再現しません。
カラー/ グレースケール(初期設定)	カラーまたはグレースケール印刷するときに選択します。
ColorSync カラーマッチング	本製品では使用しません。
PostScript カラーマッチング	本製品では使用しません。

* アプリケーションソフトによっては、［白黒］を選択してもカラーで印刷される場合があります。その場合は、［プリンタの固有機能］ダイアログで［カラー］を［モノクロ］に設定してください。
☞ 本書 168 ページ「［プリンタ固有機能］ダイアログ」

参考

- アプリケーションソフトの CMYK または RGB カラーモードで作成した画像データを印刷する場合は、本製品の CMYK または RGB シミュレーションをご利用いただけます。
- アプリケーションソフトの Lab カラーを使用してディスプレイとのカラーマッチングを行う場合、プリンタに標準添付のプリンタドライバ（QuickDraw プリンタドライバ）を使用して ColorSync モードで印刷することをお勧めします。

② プリンタプロファイル

①で［ColorSync カラーマッチング］または［PostScript カラーマッチング］のどちらかを選択した場合に選択可能となりますが、通常は［白黒］または［カラー / グレースケール］で印刷しますので、本製品ではこの項目は使用しません。

［レイアウト］ダイアログ

① ページ / 枚

- 分割印刷や割付印刷を行わない場合は、［1］を選択します。
- 大きな用紙サイズを複数のページに分けて分割印刷するには、分割ページ数をメニューから選択します。

分割印刷をする場合

- 連続した印刷データを１枚の用紙に割り付けて印刷するには、割付ページ数をメニューから選択します。割付印刷を行う場合は、②～④の項目を設定できます。

② レイアウトの方向

割り付け印刷を行う場合、ページを並べる順番をアイコンをクリックして選択できます。

設定	機能
	ページを左から右の順に並べます。
	ページを右から左の順に並べます。

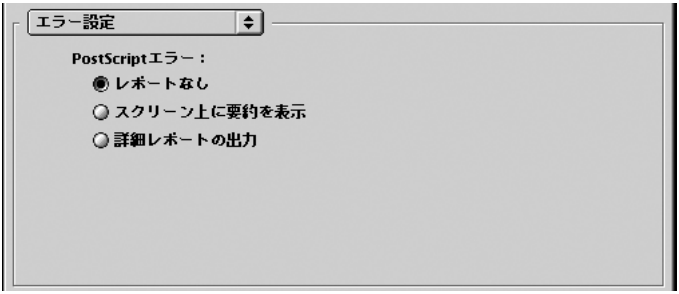
③ 枠線

割り付けた印刷データの周りに枠線を描くかどうかを選択できます。ポップアップメニューから枠線の種類も選択できます。

④ 両面に印刷

両面印刷ユニットを使って用紙の両面に印刷するときに、チェックマークを付けます。また、チェック後、両面印刷時の綴じ方向を選択します。

［エラー設定］ダイアログ

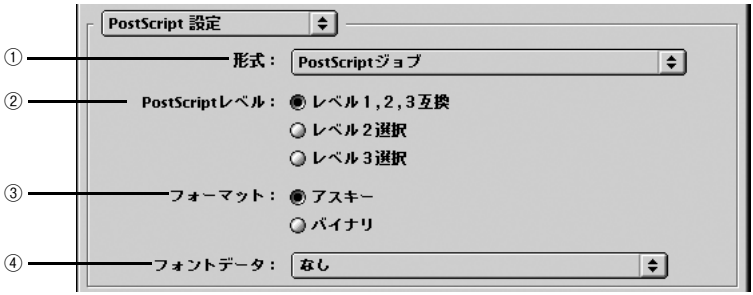


PostScript エラーが発生した場合に報告するかどうか選択します。

設定	機能
レポートなし	PostScript エラーが発生しても報告しません。
スクリーン上に要約を表示	PostScript エラーが発生した場合、コンピュータのモニタスクリーンにエラーの要約を表示します。
詳細レポートの出力	PostScript エラーが発生した場合、エラーの詳細をプリンタで印刷します。

［PostScript 設定］ダイアログ

［出力先］を［ファイル］に設定した場合、印刷データをファイルとして保存できます。［PostScript 設定］ダイアログでは、ファイルを保存する際の条件を設定できます。



①形式

ファイルの保存形式を選択します。

設定	機能
PostScript ジョブ	PS（PostScript）ファイルとして保存します。
EPS（ビットマッププレビュー）	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとしてビットマップ（72dpi）のモノクロイメージを提供します。
EPS（PICT プレビュー）	EPS ファイルとして保存します。プレビューイメージとして Mac OS の画面に表示するためのQuickDrawPICTフォーマットのイメージを提供します。
EPS（プレビューなし）	EPS ファイルとして保存します。Mac OS の画面上に表示するためのプレビューイメージを提供しません。

②PostScript レベル

設定	機能
レベル 1, 2, 3 互換	どのレベルの PostScript プリンタで印刷するかわからない場合に選択します。どの PostScript レベルとも互換性を保ちますが、その分ファイルサイズが大きくなり、印刷処理に時間がかかる場合があります。
レベル 2 選択	PostScript レベル 2 のプリンタで印刷する場合に選択します。レベル 1 の PS プリンタでは正常に印刷できない場合があります。
レベル 3 選択	PostScript レベル 3 のプリンタで印刷する場合に選択します。本製品はレベル 3 の PostScript インタプリタです。

③フォーマット

保存するファイルのデータ形式を選択できます。

設定	機能
アスキー	フォーマットで選択した形式のデータをアスキーコードで保存します。EPS ファイルは必ずアスキーフォーマットを選択してください。
バイナリ	フォーマットで選択した形式のデータをバイナリ（2 進数）で保存します。

④ フォントデータ

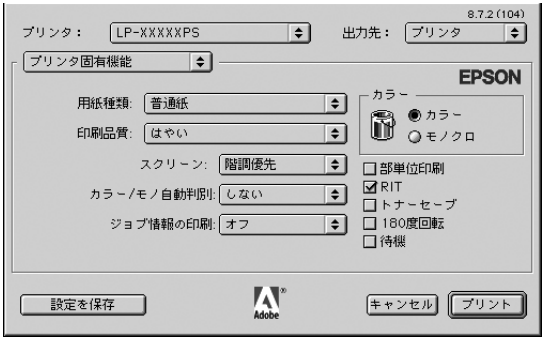
作成する PS ファイルにダウンロード可能なフォントの情報を含めることができます。作成した PS ファイルをほかの PostScript プリンタから印刷する場合などに、フォント情報を含めないと印刷データで使用した以外のフォントで印刷される場合があります。

設定	機能
なし	フォント情報を含めません。
すべてを含める	印刷データに使用されているすべてのフォント情報を含みます。
標準 15 書体以外を含める	印刷データに使用されているフォントの中で標準 15 書体以外のフォント情報のみを含みます。
PPD にない書体を含める	PPD ファイルに記載されている欧文フォント以外で印刷データに使用されている欧文フォントの情報のみを含みます。和文 2 書体はビットマップとして保存されます。

参考 現在保存できるフォント情報は、欧文フォントの場合だけです。和文フォントの情報は保存できません。

［プリンタ固有機能］ダイアログ

［プリンタ固有機能］ダイアログでは、プリンタ固有の機能を設定できます。なお、このダイアログではバルーンヘルプはご利用いただけません。



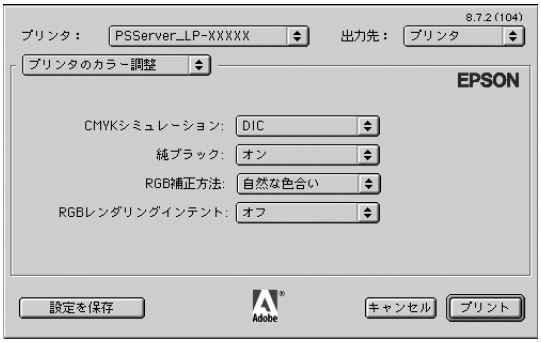
設定	機能	
用紙種類	使用する用紙の種類を選択します。	
印刷品質	印刷品質を指定します。	
	はやい（初期設定）	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
	きれい	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調の変化する画像）の印刷に適しています。
スクリーン	スクリーンを選択します。	
	階調優先（初期設定）	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
	解像度優先	解像度を優先して印刷します。文字や細かい線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。
カラー / モノ自動判別	印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。	
	しない（初期設定）	カラー / モノ自動判別を行いません。
	する	カラー / モノ自動判別を行います。
ジョブ情報の印刷	ジョブ情報を印刷するかを設定します。	
	オフ（初期設定）	ジョブ情報を印刷しません。
	上端に印刷	ジョブ情報を用紙の上端に印刷します。
	下端に印刷	ジョブ情報を用紙の下端に印刷します。
	左端に印刷	ジョブ情報を用紙の左端に印刷します。
	右端に印刷	ジョブ情報を用紙の右端に印刷します。
カラー	カラー印刷するかモノクロ印刷するかを設定します。	
	カラー（初期設定）	カラーで印刷します。
	モノクロ	モノクロで印刷します。

設定	機能	
部単位印刷	部数が 2 以上の場合、1 部ごとに印刷します。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	部単位印刷を行いません。
	オン（チェックマークあり）	部単位印刷を行います。
RIT	RIT*（Resolution Improvement Technology）を有効にすると大きな文字がきれいに印刷できたり、写真画像の斜線補正や輪郭補正などに効果があります。 * RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする EPSON 独自の印刷機能	
	オン（チェックマークあり / 初期設定）	RIT をオンにします。
	オフ（チェックマークなし）	RIT をオフにします。
トナーセーブ	カラー、モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えて印刷します）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	オン（チェックマークあり）	トナーセーブ機能を使用します。
180 度回転	印刷データを 180 度回転して印刷します。	
	オフ（チェックマークなし / 初期設定）	180 度回転しません。
	オン（チェックマークあり）	180 度回転します。
待機	印刷せずに印刷ジョブを待機させるかを設定します。ただし、AppleTalk 接続の場合、本項目をオンにしても、機能しません。	
	オフ（初期設定）	印刷ジョブを待機しません（印刷します）。
	オン	印刷ジョブを待機します（印刷しません）。

ジョブ情報の印刷は印刷可能領域内に印刷されます。印刷可能領域いっぱいのデータを印刷する場合、ジョブ情報の印刷は［オフ］にしていただくことをお勧めします。

［プリンタのカラー調整］ダイアログ

印刷色に関する詳細な設定をします。RGB 用 PPD ファイルを使用する場合、本ダイアログでの設定はできません。



設定	機能	
CMYK シミュレーション	オフセット印刷機の CMYK インク色を再現して印刷する場合に、シミュレーションする CMYK インクの色を選択します。	
	オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
	DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
	SWOP	SWOP™ 出版印刷色
	Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
	TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
	JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
	JapanColor2001	JapanColor 色再現印刷 2001 に準拠
	カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタムCMYKプロファイルで定義している印刷色 ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」 ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」
純ブラック	黒の調整方法を設定します。	
	オフ	CMYK4 色を混ぜて、黒の階調を表現します。
	オン（初期設定）	CMYK4 色のうち、K のみを使用して黒の階調を表現します。

設定	機能	
RGB 補正方法	RGB 色を再現して印刷する場合に、補正する RGB 色を選択を選択します。☞ 本書 174 ページ「カラーシミュレーション機能について」	
	オフ	RGB 補正機能を使用しません。
	Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
	Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
	sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
	自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
	鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
	カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色
RGB レンダリングインテント	出力装置が再現できる色には限界があり、特定の出力装置で色を再現する場合、指定した色の再現範囲を調整する必要があります。その再現範囲の調整方法の種類を選択します。本設定は、［RGB 補正方法］のみに機能します。	
	オフ（初期設定）	色の再現範囲を調整しません。
	知覚的	視覚的に自然なイメージになるように変換します。画像データが広範囲な色域を使用している場合に使用します。
	相対的な色域を維持	元データの色域座標と印刷時の色域座標が一致するように、さらに白色点（色温度）の座標値が一致するように変換します。多くのカラーマッチング時に使用されます。
	彩度	彩度を保持して変換を行います。
	絶対的な色域を維持	元データも印刷データも絶対的な色域座標に割り当てて変換します。元データと印刷データの白色点（色温度）は色調補正されません。ロゴカラーの印刷など、特殊な用途で使用します。

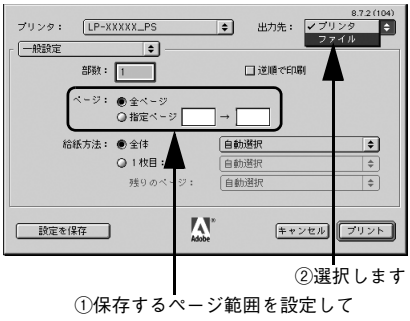
ファイルへの出力

AdobePS ドライバを使用してファイルを印刷する際に、PS（PostScript）ファイルまたは EPS（Encapsulated PostScript）ファイルとして保存することができます。

> **参考** EPS ファイルは、ほかのアプリケーションソフトで作成したファイルに組み込むことができます。

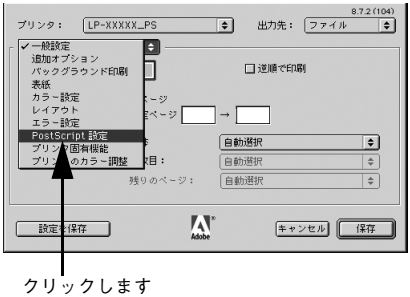
1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**

2 **保存する範囲を設定して、［出力先］メニューから［ファイル］を選択します。**



> **参考** EPS ファイルとして保存する場合は、1 ページを超えて保存することはできません。1 ページ分のページ範囲を指定してください。

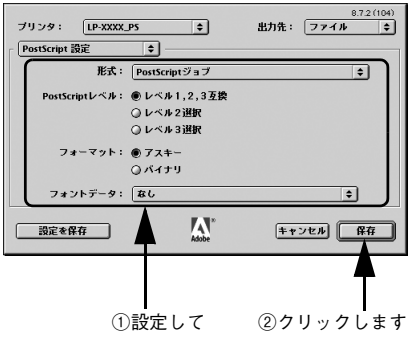
3 **［印刷設定］メニューのポップアップメニューから［PostScript 設定］をクリックします。**



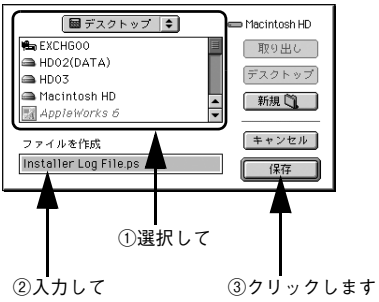
4 **各項目を設定し、［保存］をクリックします。**

各項目の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 166 ページ「［PostScript 設定］ダイアログ」



5 **保存先のフォルダを選択し、ファイル名を入力して、［保存］をクリックします。**



カラーシミュレーション機能について

CMYK/RGB カラーシミュレーションとは

CMYK シミュレーション

PostScript 対応アプリケーションソフト日本語版（PageMaker、QuarkXPress、Illustrator、Photoshop < CMYK カラーモード>など）のほとんどでは、印刷機で使用する CMYK カラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、CMYK シミュレーション機能を使用することにより、最終的に使用するオフセット印刷機の色（CMYK カラー）を再現（シミュレーション）することができます。本製品でシミュレーションできる CMYK カラーは、次の通りです。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色
SWOP	SWOP™ 出版印刷色
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷色
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」 ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

RGB 補正方法

本製品は RGB カラーの補正機能を搭載しています。RGB プロファイルを使用して、RGB カラーを指定した RGB カラーでシミュレートできます。「自然な色合い」と「鮮やかな色合い」を選択することで、プリンタカラーのシミュレートも行うことが可能です。

一部の PostScript 対応アプリケーションソフト（Photoshop < RGB カラーモード>など）は、RGBカラーを指定できます。これらのアプリケーションソフトから本製品で印刷する際に、RGB 補正方法を使用することにより、使用する RGB カラーを再現（シミュレーション）することができます。本製品で補正できる RGB カラーは、次の通りです。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します（プリンタドライバでの調整項目はありません）。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色 ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」 ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

!注意 本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能をご利用いただく場合は、以下の点に留意してください。

- この機能を使用しても、必ずしも最終印刷物や RGB モニタと完全な色合わせが行えるわけではありません。出力機器（印刷機や RGB モニタ）には特性の違いや個体差があり、特定出力機器の色を完全にシミュレーションできないためです。
- 印刷物の色は、照明によって見え方が変化します。この機能は、D50 光源の照明下で印刷物を観測することを想定しています。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、この機能は使用しないでください。
  ☞ 本書 190 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」

設定と印刷の手順

CMYK/RGB シミュレーションを行うには、以下の手順に従ってください。

> **参考** 印刷を行うアプリケーションソフトや印刷条件により、手順が異なる場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。また、必要に応じて手順中に表示されるそのほかの項目の設定を行ってください。

1 印刷するファイルを作成します。

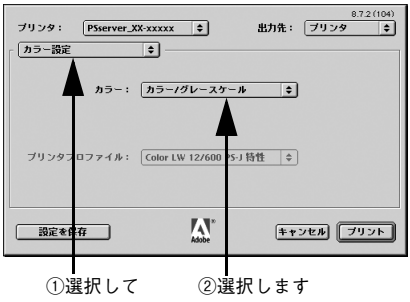
- CMYK シミュレーションを行う場合は、色を CMYK カラーで指定して、ファイルを作成します。
- RGB シミュレーションを行う場合は、色を RGB カラーで指定して、ファイルを作成します。

> **参考** Adobe 社の Photoshop などのアプリケーションソフトは、CMYK や RGB のカラープロファイルを選択することができます。シミュレーションするカラー専用のプロファイルを選択してから、ファイルを作成してください。詳細は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 [プリント] ダイアログを開きます。

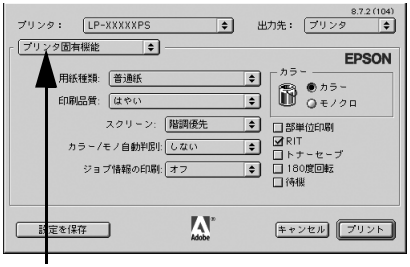
☞ 本書 150 ページ「印刷設定の手順」

3 [プリント] ダイアログの [カラー設定] を選択し、[カラー] で [カラー／グレースケール] を選択します。



> **!注意** [ColorSync カラーマッチング] または [PostScript カラーマッチング] が選択されていると、CMYK シミュレーション機能は使用できません。必ず [カラー / グレースケール] を選択してください（[白黒] ではカラーシミュレーションされません）。

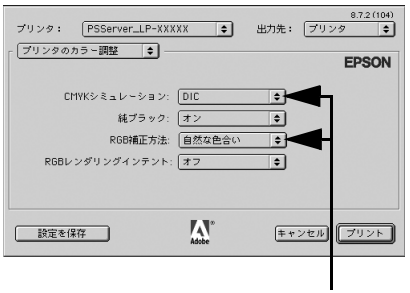
4 **［プリント］ダイアログの［プリンタの固有機能］を選択します。**



5 **［カラー］で［カラー］を選択します。**

［モノクロ］を選択すると、CMYK シミュレーションは行われません。

6 **［CMYK シミュレーション］および［RGB 補正方法］で、シミュレーションの対象となる印刷機色のプロファイルを選択します。**



- CMYK シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	CMYK シミュレーション
オフ	CMYK シミュレーション機能を使用しません。
DIC（初期設定）	大日本インキ化学工業株式会社の DIC 標準色をシミュレーションするプロファイルです。
SWOP	SWOP™ 出版印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
Euro	ヨーロッパ（Eurostandard）の印刷物をシミュレーションするプロファイルです。
TOYO	東洋インキ製造株式会社の東洋インキ標準色をシミュレーションするプロファイルです。
JMPA	雑誌広告基準カラー（JMPA カラー）をシミュレーションするプロファイルです。
JapanColor2001	Japan Color 色再現印刷 2001 に準拠
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server の［カラーマネージャ設定］ダイアログで登録したカスタム CMYK プロファイルで定義している印刷色をシミュレーションします。 ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」 ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

- RGB シミュレーションする場合は、以下のプロファイルから選択できます。

設定	RGB 補正方法
オフ	RGB シミュレーションを行いません。
Adobe RGB	Adobe 社が定義する RGB 色
Apple RGB	Apple 社が定義する RGB 色
sRGB	スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
自然な色合い（初期設定）	より自然な発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
鮮やかな色合い	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。本項目を設定した場合、RGB レンダリングインテントの設定は効きません。
カスタム 1 ～ 5	EPSON PS Server に登録したカスタムプロファイルで定義した RGB 色 ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」 ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

参考

- CMYKデータであればCMYKシミュレーションが行われ、RGBデータであれば RGB シミュレーションが行われます。
- シミュレーションを行わない場合は（プリンタ本来の色で印刷する場合は）、［オフ］を選択してください。
- アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を設定する場合は、必ず［オフ］を選択してください。両方の機能を同時に使用すると、2 重にカラー補正されて正しい色で印刷できません。
  ☞ 本書 190 ページ「ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定」
- カスタムプロファイルを EPSON PS Server に登録する方法については、以下のページを参照してください。
  ☞ Mac OS X：本書 120 ページ「カラーマネージャ設定」
  ☞ Windows：本書 48 ページ「カラーマネージャ設定」

7 ［プリント］をクリックして印刷を実行します。

EPSON PS Manager について

EPSON PS Manager の概要

EPSON PS Manager は EPSON PS Server に接続して、印刷ジョブを管理するためのユーティリティソフトです。
EPSON PS Manager にはアプリケーション版と Web 版の 2 種類があります。接続する EPSON PS Server の OS 環境によって使い分けてください。

EPSON PS Server の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
Windows XP	アプリケーション版 EPSON PS Manager 通常のアプリケーションとして、インストールしたコンピュータ上で動作します。
Mac OS X	Web 版 EPSON PS Manager Web アプリケーションとして、Web ブラウザ上で動作します。 ＜使用可能ブラウザ＞ IE4.0 以降で動作可能ですが、最新バージョンのご利用をお勧めします。

起動

EPSON PS Manager の起動手順は次の通りです。

1 EPSON PS Manager を起動する前に、次のようにします。

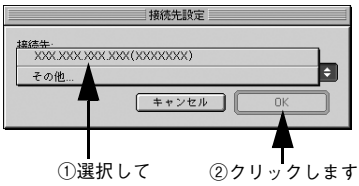
- EPSON PS Server で印刷するプリンタが使用可能な状態になっていること（正しく接続され、電源がオンになっていること）を確認します。
- EPSON PS Server を起動します。

2 次の手順で EPSON PS Manager を起動します。

EPSON PS Server をインストールした起動ディスク内の［EPSON PS Manager］フォルダにある［EPSON PS Manager］アイコンをダブルクリックします。

3 ポップアップメニューにサーバの一覧が表示されるので、接続したいサーバ（EPSON PS Server）を選択します。

接続したいサーバが表示されない場合は、サーバのホスト名または IP アドレスを入力します。



4 **パスワード入力画面が表示されます。**

- 初期状態では、パスワードは設定されていませんので、そのまま［OK］をクリックします。
- Web 版 EPSON PS Manager では、パスワード設定されていないときにはそのままブラウザが開きます。

> **参考**
>
> パスワードは、EPSON PS Server で設定します。
> - Windows の場合
>
> ［編集］メニュー－［初期設定］－［クライアントパスワードの設定］
>
> ☞ Windows：本書 42 ページ「初期設定」
> - Mac OS X の場合
>
> ［環境設定］－［クライアントパスワード］
>
> ☞ Mac OS X：本書 109 ページ「環境設定」

5 **EPSON PS Manager が起動し、次の画面が表示されます。**

画面中央には、EPSON PS Server に送られた印刷ジョブの一覧が表示されています。画面のメニューやボタンをクリックして、印刷ジョブや印刷の設定を行います。

【アプリケーション版 EPSON PS Manager】

【Web 版 EPSON PS Manager】

終了方法

EPSON PS Server の OS （プリントサーバまたはスタンドアロン接続）	EPSON PS Manager の種類
アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［ファイル］－［終了］をクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	Web ブラウザを終了します。

EPSON PS Manager の操作

アプリケーション版 EPSON PS Manager と Web 版 EPSON PS Manager は基本的な操作方法や機能は同じです。

【ジョブ一覧表示画面】

PS Manager には EPSON PS Server にスプールされた印刷ジョブの一覧が表示されます。

列名	表示内容
ジョブ名	印刷状態を示すアイコンと、ジョブのファイル名を表示します。
状態	ジョブの状態を表示します。表示する状態は以下のとおりです。「印刷中」と「プレビュー準備中」は進行状況をパーセント（%）で表示します。 • 待機 • スプール中 • 印刷待ち • 印刷中 • プレビュー待ち • プレビュー準備 • フォーマット異常 • PS エラー • カバーオープン • 用紙切れ • トナー切れ • インク切れ • 用紙ジャム
ユーザ名	ジョブのファイルを印刷したユーザ名を表示します。
スプール時刻	ジョブのファイルを印刷した時刻を表示します。表示形式は以下の通りです。 • アプリケーション版「時：分：秒」 • Web 版「年：月：日　時：分」
サイズ	ジョブのファイルサイズを表示します。
フォーマット	ジョブのファイル形式を表示します。表示する形式は以下のとおりです。これら以外の形式は「不明」と表示されます。 • PostScript • PDF • EPS • TIFF • JPEG

参考

- PS エラーとなったジョブに対しては「PS エラー」と表示されますが、プリンタエラーとなったジョブは、印刷済みと同様に「待機」と表示されます。
- アプリケーション版 EPSON PS Manager の場合、印刷済みジョブは「待機」と表示されます。印刷時に、［待機］を［オン］に設定した印刷ジョブは、印刷が完了していない状態でも「待機」と表示されます。ジョブ名や日時でご判断ください。

【基本操作ボタン】

ボタン	名前	機能
	中止	選択したジョブの印刷またはプレビューを中止して、待機状態にします。
	削除	選択したジョブを削除します。
	印刷	選択した待機状態のジョブの印刷を再開します。
	プレビュー準備	選択したジョブに対して、プレビュー用リッピングを開始します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了していない場合に有効になります。
	プレビュー表示	［プレビュー］画面を表示し、選択したジョブのプレビューを表示します。選択したジョブがプレビュー用リッピングを完了している場合に有効になります。
	印刷設定	［印刷設定］画面を表示します。選択したジョブの印刷設定をします。
	優先度を上げる	すでに印刷待ちになっているジョブより優先して印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	優先度を下げる	印刷の優先度を下げて、より優先度の高いほかのジョブより後で印刷を行います。ただし、優先度を変更してもジョブ一覧上での表示位置は変わりません。
	最新の情報に更新	ジョブの一覧を更新します。

【その他の機能】

① サーバ設定

接続している EPSON PS Server とプリンタの情報を表示する機能です。

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］−［サーバ設定］をクリックし、［全般］タブをクリックます。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［サーバ設定］をクリックします。

② プリンタ初期設定

接続している EPSON PS Server の［プリンタ初期設定］の内容を表示します。
設定したい項目をクリックすると、ポップアップメニューが表示され設定値を変更することもできます。各設定項目については次のページを参照してください。
☞ 本書 115 ページ「プリンタ初期設定」

アプリケーション版 EPSON PS Manager での操作	メニューバーの［設定］−［サーバ設定］をクリックし、［デフォルト］タブをクリックします。
Web 版 EPSON PS Manager での操作	［プリンタ初期設定］をクリックします。

③ メッセージを表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

EPSON PS Server やプリンタのエラーやワーニングメッセージを確認できます。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	［メッセージを表示］をクリックします。

④ イメージ（サムネイル）表示（Web 版 EPSON PS Manager のみ）

ジョブ一覧の［イメージ］に印刷ジョブにサムネイル画像を表示させます。
［イメージ］にサムネイルを表示すると、どのような印刷ジョブか分かりやすくなりますが、多量のサムネイル表示を行うと、Web ブラウザ表示に時間がかかることがあります。
また、長尺印刷など、用紙サイズの大きなデータはサムネイル表示できない場合があります。

Web 版 EPSON PS Manager での操作	ジョブ一覧の［イメージ］欄 をクリックします。

！注意 **Web 版 EPSON PS Manager について**

- Web 版 EPSON PS Manager を使用するには、IE4.0 以降 * が標準のブラウザに設定されている必要があります。
  * 最新バージョンのご利用をお勧めします。
- Web 版 EPSON PS Manager は、起動時に Web ブラウザを呼び出します。起動時にキャンセル操作を行うと、このWebブラウザの実行は中止されますが、EPSON PS Manager 自体は起動してしまいます。この場合には、タスクバーなどで起動している EPSON PS Manager を手動で終了する必要があります。
- Web 版 EPSON PS Manager のジョブ一覧画面では、表示順序をソートしたり、自動更新の時間を設定したりすることができますが、これらの設定条件は保存されません。EPSON PS Manager を再起動すると初期設定に戻ります。

付録

● 困ったときは..... 185
● 本製品をアンインストールしたい..... 189
● ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定 190
● インストールされるファイル、フォルダ 191

困ったときは

ここでは困ったときの対処方法について説明しています。また、本製品のバージョンアップが行われる場合があります。下記エプソンのホームページを確認して、最新のバージョンのものを使用していただくことをお勧めします。
http://www.i-love-epson.co.jp

エラーメッセージ一覧

現象	説明と対応
Web 版 PS Manager を表示するとき、ブラウザで次のエラーが表示される 「Connecting to ******.local: Host not found」	プロキシサーバが構築されている環境で表示されるエラーです。 エラーに表示されるホスト名を［システム設定］－［ネットワーク］－［プロキシ］タブ画面の［プロキシ設定を使用しないホストとドメイン］に登録してください。
次のメッセージが表示される 「ブラウザは Internet Explorer の最新バージョンをお使いください。」 「ブラウザは Safari の最新バージョンをお使いください。」	お使いのコンピュータで使用しているブラウザが、Web 版 PS Manager の対象外のバージョンです。レイアウトが正常に表示されない等の問題が発生する可能性があるため、推奨するバージョン以上のブラウザで使用してください。
エラーメッセージ「range check」が表示される	プリンタの仕様から外れている設定がされている場合に発生します。印刷が、本製品のクライアントソフトウェア（PS ドライバ）で行われているか確認してください。
エラーメッセージ「Limit check」が表示される	処理の限界を超えた場合に起きます。出力解像度を下げるか、パスを単純にするなどして、負担を軽くして印刷してください。
プリンタワーニングが発生しました。詳細情報は、プリンタのパネルを確認してください。	EPSON ステータスモニタまたはプリンタのパネルに表示されているワーニングの内容を確認し、ワーニングを解除してください。
プリンタエラーが発生しました。詳細情報は、プリンタのパネルを確認してください。	EPSON ステータスモニタまたはプリンタのパネルに表示されているエラーの内容を確認し、ワーニングを解除してください。

印刷に関連する内容

現象	説明と対応
CPSソフトリッパーPlus3をWindowsにセットアップしたが、PS サーバから印刷できない （または PS ファイルがテキストで印刷される）	Port 名が「IP_(PS Server 起動 PC の IP アドレス)」になっているかを確認してください。 セットアップ時にポート指定をせず、初期値のままセットアップすると LPT1 ポートに設定されるため、PS サーバからは出力されません。 また、セットアップ時にプリンタが物理的に接続されているポートに設定した場合、PS ファイルがテキストで印刷されます。
Mac OS X からの印刷時、カスタム用紙サイズで正常に印刷できない	Mac OS X v10.2.8 の場合、カスタム用紙サイズには対応していません。
直接印刷できない	直接印刷は、特定の形式のファイルでのみ可能です。 また、次のファイルでは直接印刷できません。 Adobe Illustrator で作成した PDF ファイル、プレビュー付き EPS ファイル、オプションありの TIFF ファイル、16bitTIFF ファイル、TIFF zip 圧縮ファイル等。
印刷時に［待機］を設定しても、印刷されてしまう	AppleTalk 接続の場合、［待機］は機能しません。LPR 接続で使用してください。
封筒用紙サイズである角形 2 号と長形 3 号に印刷すと、180 度逆に印刷される	封筒用紙サイズである角形 2 号と長形 3 号は、プリンタへの用紙搬送方向が他の用紙サイズとは 180 度異なるため、印刷時には［180 度回転］をオンにして印刷してください。

起動に関する内容

現象	説明と対応
1台のPCに2つのプリンタ用のCPSソフトリッパーPlus3をセットアップしたところ、PS Server が正常起動しない	CPS ソフトリッパー Plus3 は、一台のコンピュータに1 つのみインストール可能です。本製品以外のCPSソフトリッパー Plus がインストールされている場合は、既にインストールされているCPSソフトリッパー Plus を必ずアンインストールしてから本製品をインストールしてください。
CPS ソフトリッパー Plus3 が CD からインストールできない（Windows）	Windows 版は、CD-ROM ドライブが複数ある場合、一番若いドライブ番号のドライブ（D、E、F の CD-ROM ドライブがある場合は D ドライブ）からしかインストールできません。 一番若いドライブ番号のドライブにセットしてください。
Mac OS X で PS Server を起動すると「パーソナル Web 共有が動作していません。」と表示される	Web 版 PS Manager を利用するには、Mac OS X の［パーソナル Web 共有］をオンにする必要があります。［システム設定］－［共有］－［サービス］タブ画面の［パーソナル Web 共有］をオンにしてください。（設定を変更する場合に、管理者の権限が必要になります。） Web 版 PS Manager を利用すると、ジョブの情報が Web 上に公開されます。セキュリティを確保するため、PS Server の［環境設定］にある［クライアントパスワード］を設定することをお勧めします。
Windows XP SP2 上で、PS Server 起動時に、セキュリティセンターが起動する	Windows 上で、［スタート］－［コントロールパネル］－［ファイアウォール］－［例外］タブ画面で［プログラムの追加］をクリックし、EPSON PS Server を、例外プログラムに登録してください。

接続に関する内容

現象	説明と対応
Mac OS X をプリントサーバにした場合、LPR 経由で出力ができない	プリントサーバで［ファイアウォール］または［共有］が設定されていると、LPR 印刷時に使用するポートと同じポートが使用されてしまい、プリントサーバ側での印刷ができません。 プリントサーバの Mac OS X で上記の設定を確認し、設定されている場合、下記の手順で解除もしくはポート番号を許可する必要があります。 下記の作業はセキュリティに関わる内容です。必ずシステム管理者に確認してください。 1. Mac OS X の［システム環境設定］の画面で［共有］をクリックします。 2.［共有］画面中央の［ファイアウォール］タブをクリックし、画面右側の［新規］をクリックします。 3.［ポート名］メニューから［その他］を選択し、［ポート番号、ポート番号の範囲］/［TCP ポート番号］（Mac OS X v10.4）に 515 を入力します。 4.［OK］をクリックします。
プリントサーバが Mac OS X の場合、AppleTalk が利用できない	［システム設定］－［ネットワーク］の［AppleTalk 使用］がオンになっていることを確認してください。また、PS Server の［環境設定］－［AppleTalk］タブ画面で、エラーが表示されていないか確認してください。
プリントサーバが Mac OS X で、接続する Web 版 PS Manager のアドレスが分からない	Mac OS X 上で、PS Server の［環境設定］－［HTTP］タブ画面に記載されているURLを使用してください。
Mac OS の Rendezvous を変更しても、PS Server の Rendezvous 名が変更されない	OS の再起動が必要です。再起動後に PS Server を起動すると新しい Rendezvous 名になります。

フォントに関する内容

現象	説明と対応
フォントのインストールができない	Windows がサーバまたはクライアントになっている環境では、プリンタフォントのインストールはできません。他の Mac OS のクライアントでインストールを試してください。プリンタフォントの取扱説明書を再度確認してください。

本製品をアンインストールしたい

Windows 2000/XP

最初に、Windows の［プリンタ］/［プリンタと FAX］を開いて、PS プリンタドライバ（通常は「EPSON LP-XXXXPS」）を右クリックして［削除］を選択して削除します（プリンタの標準プリンタドライバを削除する必要はありません）。
次に、Windows の［コントロールパネル］−［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］で、以下のプログラムを削除します。

Windows 2000 の場合	Windows XP の場合
EPSON PS Manager EPSON PS Folder	EPSON PS Server EPSON PS Manager EPSON PS Folder

!注意 ［プリンタ］/［プリンタと FAX］に 「EPSON LP-XXXXPS」が残っていないことを確かめてから、［アプリケーションの追加と削除］/［プログラムの追加と削除］にてプログラムを削除するようにしてください。

Mac OS X

本製品の CD-ROM をコンピュータにセットし、CD-ROM のアイコンをダブルクリックし、［OSX インストーラ］フォルダを開いて［EPSON PS Server アンインストーラ］をダブルクリックします。

Mac OS 9

① デスクトップに表示されるインストーラをダブルクリックします。
② 使用許諾書の画面で［同意］をクリックします。
③ 画面左上で［アンインストール］を選択して、画面右下の［アンインストール］をクリックします。

ソフトウェア上でのカラーマネージメント設定

カラーマネージメント機能のあるアプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、本製品の［CMYK シミュレーション］と［RGB 補正方法］を必ず［オフ］にしてから印刷を実行してください。ソフトウェアのカラーマネージメント機能と本製品の CMYK/RGB シミュレーション機能を同時に使用すると、正しい色合いで印刷することができなくなります。

☞ 本書 176 ページ「設定と印刷の手順」

プリンタ用 ICC プロファイルについて（Mac OS 9、Mac OS X の場合）

本製品には、プリンタで使用できる用紙ごとに下表の ICC プロファイルが添付されています。アプリケーションソフト上でカラーマネージメント機能を使用する場合は、使用する用紙種類に対応する ICC プロファイルを選択してください。

用紙種類 _ 解像度	ICC プロファイル名
普通紙 _ 階調優先	CPS LPS70 NormalPaperG.icc
普通紙 _ 解像度優先	CPS LPS70 NormalPaperD.icc
厚紙 _ 階調優先	CPS LPS70 NormalPaperG.icc
厚紙 _ 解像度優先	CPS LPS70 NormalPaperD.icc
特厚紙 _ 階調優先	CPS LPS70 NormalPaperG.icc
特厚紙 _ 解像度優先	CPS LPS70 NormalPaperD.icc
超特厚紙 _ 階調優先	CPS LPS70 NormalPaperG.icc
超特厚紙 _ 解像度優先	CPS LPS70 NormalPaperD.icc
OHP シート _ 階調優先	CPS LPS70 NormalPaperG.icc
OHP シート _ 解像度優先	CPS LPS70 NormalPaperD.icc
コート紙 _ 階調優先	CPS LPS70 CoatedG.icc
コート紙 _ 解像度優先	CPS LPS70 CoatedD.icc

参考

- ICC プロファイルは、本製品をインストールする際に、自動的に起動ディスク内の［ColorSync™ 特性］または［ColorSync プロファイル］フォルダ* 内にインストールされます。
  * フォルダ名は Mac OS のバージョンによって異なります。
- アプリケーションソフトによっては、リストに表示されるプロファイル名が下記の ICC プロファイル名とは異なる場合があります。
- ソフトウェア上でのカラーマネージメント機能の設定方法、ICC プロファイルの選択方法などについての詳細は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
- 本製品に含まれる一部の ICC プロファイルは、GretagMacbeth ProfileMaker で作成されています。

インストールされるファイル、フォルダ

本製品のインストール時に指定したインストール先のフォルダや所定のフォルダには、本製品をお使いいただく上で必要な様々なファイルやフォルダが入っています。すべて本製品が印刷を行う際に必要となるファイル・フォルダです。以下代表的なファイルについて説明します。

■ EPSON PS Server

本製品の本体アプリケーションソフトウェアです。印刷をする前に、必ず起動します。クライアントインストールの場合は、インストールされません。

■ EPSON PS Manager

EPSON PS Server の印刷ジョブを管理･コントロールするユーティリティソフトウェアです。EPSON PS Manager を使うと、以下のことができます。

- 印刷ジョブの再印刷、印刷設定の変更が可能。
- 印刷ジョブのプレビュー（サムネイル）表示が可能。
- FTPを使用してEPSON PS Serverに印刷ファイルの転送が可能(Mac OS Xサーバはサポートしていません)。
- 印刷ジョブの印刷優先度の変更が可能。

■ AdobePS（Mac OS 9 のみ）

PostScript プリンタを制御するためのプリンタドライバです。[セレクタ] からこのプリンタドライバを使って EPSON PS Server を選択します。[システムフォルダ] 内の [機能拡張] フォルダにインストールされます。

参考

- プリンタドライバ「AdobePS」は、ほかの PostScript プリンタを選択する場合にも使用できます。
- MS-Word、MS-Excel などの QuickDraw 対応のアプリケーションソフトウェアや、TrueType フォントを使用する場合は、本製品ではなく、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバを使用することをお勧めします。
- PostScript プリンタとして使用しない場合も、各プリンタに標準添付されているプリンタドライバをお使いください。

■ PPD ファイル

PPD（PostScript Printer Description）ファイルは、各プリンタの特性を記述したファイルです。

- Windowsの場合は、プリンタドライバのインストール時にPPDファイルを指定してインストールします。
- Mac OS X の場合は、[ライブラリ] フォルダの [プリンタ] フォルダにインストールされます。
- Mac OS 9 の場合は、[機能拡張] フォルダ内の [プリンタ記述ファイル] フォルダにインストールされます。

■プリンタフォント

本製品で印刷できるフォント（書体）です。次の標準プリンタフォントがホストコンピュータの所定のフォルダにインストールされます。

漢字書体	CID フォント 2 書体 平成明朝 -W3、平成角ゴシック -W5
欧文書体	136 書体 AlbertusMT、AlbertusMT-Italic、AlbertusMT-Light、AntiqueOlive-Bold、AntiqueOlive-Compact、AntiqueOlive-Italic、AntiqueOlive-Roman、Apple-Chancery、Arial-BoldItalicMT、Arial-BoldMT、Arial-ItalicMT、ArialMT、AvantGarde-Book、AvantGarde-BookOblique、AvantGarde-Demi、AvantGarde-DemiOblique、Bodoni、Bodoni-Bold、Bodoni-BoldItalic、Bodoni-Italic、Bodoni-Poster、Bodoni-PosterCompressed、Bookman-Demi、Bookman-DemiItalic、Bookman-Light、Bookman-LightItalic、Carta、Chicago、Clarendon、Clarendon-Bold、Clarendon-Light 、CooperBlack、CooperBlack-Italic、Copperplate-ThirtyThreeBC、Copperplate-ThirtyTwoBC、Coronet-Regular、Courier、Courier-Bold、Courier-BoldOblique、Courier-Oblique、Eurostile、Eurostile-Bold、Eurostile-BoldExtendedTwo、Eurostile-ExtendedTwo、Geneva、GillSans、GillSans-Bold、GillSans-BoldCondensed、GillSans-BoldItalic、GillSans-Condensed、GillSans-ExtraBold、GillSans-Italic、GillSans-Light、GillSans-LightItalic、Goudy、Goudy-Bold、Goudy-BoldItalic、Goudy-ExtraBold、Goudy-Italic、Helvetica、Helvetica-Bold、Helvetica-BoldOblique、Helvetica-Condensed、Helvetica-Condensed-Bold、Helvetica-Condensed-BoldObl、Helvetica-Condensed-Oblique、Helvetica-Narrow、Helvetica-Narrow-Bold、Helvetica-Narrow-BoldOblique、Helvetica-Narrow-Oblique、Helvetica-Oblique、HoeflerText-Black、HoeflerText-BlackItalic、HoeflerText-Italic、HoeflerText-Ornaments、HoeflerText-Regular、JoannaMT、JoannaMT-Bold、JoannaMT-BoldItalic、JoannaMT-Italic、LetterGothic、LetterGothic-Bold、LetterGothic-BoldSlanted、LetterGothic-Slanted、LubalinGraph-Book、LubalinGraph-BookOblique、LubalinGraph-Demi、LubalinGraph-DemiOblique、Marigold、Monaco、MonaLisa-Recut、NewCenturySchlbk-Bold、NewCenturySchlbk-BoldItalic、NewCenturySchlbk-Italic、NewCenturySchlbk-Roman、NewYork、Optima、Optima-Bold、Optima-BoldItalic、Optima-Italic、Oxford、Palatino-Bold、Palatino-BoldItalic、Palatino-Italic、Palatino-Roman、StempelGaramond-Bold、StempelGaramond-BoldItalic、StempelGaramond-Italic、StempelGaramond-Roman、Symbol、Tekton、Times-Bold、Times-BoldItalic、Times-Italic、Times-Roman、TimesNewRomanPS-BoldItalicMT、TimesNewRomanPS-BoldMT、TimesNewRomanPS-ItalicMT、TimesNewRomanPSMT、Univers、Univers-Bold、Univers-BoldExt、Univers-BoldExtObl、Univers-BoldOblique、Univers-Condensed、Univers-CondensedBold、Univers-CondensedBoldOblique、Univers-CondensedOblique、Univers-Extended、Univers-ExtendedObl、Univers-Light、Univers-LightOblique、Univers-Oblique、Wingdings-Regular、ZapfChancery-MediumItalic、ZapfDingbats

■ スクリーンフォント（Mac OS X/Mac OS 9 の場合のみ）

画面表示用のフォントです。ホストコンピュータとクライアントコンピュータの［システムフォルダ］内の［フォント］フォルダ（Mac OS 9）または［ライブラリ］フォルダ内の［Fonts］フォルダ（Mac OS X）にインストールされます。

> **参考** 欧文書体は、インストーラの［簡易インストール］ではインストールされません。［カスタムインストール］を選択してインストールしてください。

■ カラープロファイル

インストールされるプロファイルとインストール先は、次の通りです。

インストールされるプロファイル

- EuroscaleCoated.icc
- JapnaColor2001Coated.icc
- JapanWebCoated.icc
- USWebCoatedSWOP.icc
- AdobeRGB1998.icc
- AppleRGB.icc

インストールされる場所

- Windows XP
  インストールしたディスク :¥WINDOWS¥system32¥spool¥drivers¥color
- Mac OS X
  インストールしたディスク :/ ユーザ /XXXX（ログイン時のユーザー名）/ ライブラリ /ColorSync/Profiles

索引

数字

180 度回転（Mac OS 9）.....169
180 度回転（Mac OS X）.....97, 118
180 度回転（Windows）.....32, 46

A

Adobe RGB（Mac OS 9）.....175, 178
Adobe RGB（Mac OS X）.....104
Adobe RGB（Windows）.....37, 39
AdobePS.....191
Apple RGB（Mac OS 9）.....175, 178
Apple RGB（Mac OS X）.....104
Apple RGB（Windows）.....37, 39

C

CMYK シミュレーション
（Mac OS 9）.....170
CMYK シミュレーション
（Mac OS X）.....94, 116
CMYK シミュレーション
（Windows）.....30, 44
CMYK シミュレーション機能
（Mac OS 9）.....174
CMYK シミュレーション機能
（Mac OS X）.....103
CMYK シミュレーション機能
（Windows）.....36
CMYK（Mac OS X）.....120
CMYK（Windows）.....48
［ColorSync］ダイアログ
（Mac OS X）.....90

D

DIC（Mac OS 9）.....174
DIC（Mac OS X）.....103
DIC（Windows）.....36

E

EPSON PS Folder（Mac OS X）.....133
EPSON PS Manager.....7, 191
EPSON PS Manager（Mac OS 9）.....179
EPSON PS Manager（Mac OS X）.....127
EPSON PS Manager（Windows）.....55
EPSON PS Server.....7, 191
Euro（Mac OS 9）.....174
Euro（Mac OS X）.....103
Euro（Windows）.....36

H

HTTP を使用してクライアント接続を
可能にする（Mac OS X）.....113

I

ICC プロファイル.....190
ICC プロファイル（CMYK）
（Windows）.....48
ICC プロファイル（RGB）
（Windows）.....49
ICC プロファイル（用紙）
（Windows）.....49

J

JMPA（Mac OS 9）.....174
JMPA（Mac OS X）.....103
JMPA（Windows）.....36

M

Macintosh 起動時にバックグラウンド
印刷を可能にする（Mac OS X）.....109

P

PostScript エラー（Mac OS X）.....91
［PostScript オプション］ダイアログ
（Mac OS 9）.....156
［PostScript 設定］ダイアログ
（Mac OS 9）.....166
PostScript レベル（Mac OS 9）.....166
PPD ファイル.....191
PPD ファイル（Mac OS 9）.....144

R

RGB 補正方法（Mac OS 9）.....171, 175
RGB 補正方法
（Mac OS X）.....95, 104, 117
RGB 補正方法（Windows）.....31, 37, 45

RGB レンダリングインテント（Mac OS 9）.....171
RGB レンダリングインテント（Mac OS X）.....95, 117
RGB レンダリングインテント（Windows）.....31, 45
RGB（Mac OS X）.....121
RGB（Windows）.....49
RIP メモリサイズ（Mac OS X）.....110
RIT（Mac OS 9）.....169
RIT（Mac OS X）.....96, 118
RIT（Windows）.....32, 46

S

SWOP（Mac OS 9）.....174
SWOP（Mac OS X）.....103
SWOP（Windows）.....36

T

TOYO（Mac OS 9）.....174
TOYO（Mac OS X）.....103
TOYO（Windows）.....36

い

［一般設定］ダイアログ（Mac OS 9）.....159
［一般設定］タブ（Mac OS X）.....93
色調整（Mac OS X）.....120
色調整（Windows）.....49
印刷時間（Mac OS 9）.....161
印刷状況を表示（Mac OS X）.....125
印刷状況を表示（Windows）.....53
印刷ジョブのログを残す（Windows）.....42
［印刷設定］ダイアログ（Mac OS X）.....93
［印刷設定］ダイアログ（Windows）.....25
印刷の向き（Windows）.....25
印刷品質（Mac OS 9）.....168
印刷品質（Mac OS X）.....93, 116
印刷品質（Windows）.....29, 44
［印刷部数と印刷ページ］ダイアログ（Mac OS X）.....85
印刷方法（Mac OS 9）.....161

う

ウィンドウを非表示（Mac OS X）.....125
ウィンドウを表示（Mac OS X）.....125
［ウォーターマーク］ダイアログ（Mac OS 9）.....153

え

エラー状況を表示（Mac OS X）.....125
エラー状況を表示（Windows）.....53
［エラー処理］ダイアログ（Mac OS X）.....91
［エラー設定］ダイアログ（Mac OS 9）.....165

お

欧文書体.....192
［オプション情報設定］ボタン（Mac OS X）.....119
［オプション情報設定］ボタン（Windows）.....47

か

課金情報（Mac OS X）.....90
拡大縮小（Mac OS X）.....81
カスタムサイズ（Mac OS X）.....82
［カスタム・ページ・サイズ］ダイアログ（Mac OS X）.....81
［カスタムページ設定］ダイアログ（Mac OS 9）.....157
カスタム用紙サイズ（Mac OS 9）.....157
カスタム用紙サイズ（Mac OS X）.....81
［カスタム用紙サイズ］ダイアログ（Mac OS X）.....81
カラー（Mac OS 9）.....163, 168
カラー（Mac OS X）.....94, 116
カラー（Windows）.....30, 44
［カラー設定］ダイアログ（Mac OS 9）.....163
［カラー設定］タブ（Mac OS X）.....94
カラーマネージメント機能.....190
カラーマネージャ設定（Mac OS X）.....120
カラーマネージャ設定（Windows）.....48

カラー / モノ自動判別
（Mac OS 9）.....168
カラー / モノ自動判別
（Mac OS X）.....96, 118
カラー / モノ自動判別
（Windows）.....32, 46
環境設定（Mac OS X）.....109
漢字書体.....192

き

キャリブレーション情報
（Mac OS X）.....121
キャリブレーション情報（Windows）....49
給紙装置（Mac OS X）.....115
給紙装置（Windows）.....43
給紙方法（Mac OS 9）.....159
給紙方法（Windows）.....26
境界線（Mac OS X）.....86

く

クライアントパスワード
（Mac OS X）.....109
クライアントパスワード設定
（Windows）.....42

け

形式（Mac OS 9）.....166

さ

最小化時にタスクトレーにのみ表示
（Windows）.....42
最大ジョブ保存数（Mac OS X）.....109
最大ジョブ保存数（Windows）.....42

し

シートごとのページ（Windows）.....25
［出力オプション］ダイアログ
（Mac OS X）.....88
出力先（Mac OS 9）.....158
出力用紙サイズ（Mac OS X）.....89
純ブラック（Mac OS 9）.....170
純ブラック（Mac OS X）.....94, 117
純ブラック（Windows）.....31, 45
［詳細オプション］ダイアログ
（Windows）.....28
詳細設定（Windows）.....26, 27
［詳細設定］タブ（Mac OS X）.....96
初期設定（Windows）.....42
書体.....192
ジョブ情報の印刷（Mac OS 9）.....168
ジョブ情報の印刷（Mac OS X）...96, 119
ジョブ情報の印刷（Windows）.....32, 47
ジョブ情報ログを出力する
（Mac OS X）.....109

す

スクリーン（Mac OS 9）.....168
スクリーン（Mac OS X）.....93, 116
スクリーン（Windows）.....30, 44
スクリーンフォント.....193
［スケジューラ］ダイアログ
（Mac OS X）.....88

せ

製本（Mac OS 9）.....152
設定（Mac OS X）.....80
［設定を保存］（Mac OS 9）.....158

た

待機（Mac OS 9）.....169
待機（Mac OS X）.....96, 118
待機（Windows）.....32, 46
対象プリンタ（Mac OS X）.....80

ち

丁合い（Mac OS X）.....85
直接印刷（Windows）.....41, 108

つ

［追加オプション］ダイアログ
（Mac OS 9）.....160

と

［トーンカーブ］ダイアログ
（Mac OS X）.....122
［トーンカーブ］ダイアログ
（Windows）.....50

トナーセーブ（Mac OS 9）.....169
トナーセーブ（Mac OS X）.....96, 118
トナーセーブ（Windows）.....32, 46
ドラッグ & ドロップ印刷
（Mac OS X）.....101
ドラッグ & ドロップ印刷（Windows）....35
トレイの切り替え（Mac OS X）.....91

ね

ネットワーク名（Mac OS X）.....111

は

倍率（Mac OS 9）.....152
［バックグラウンド印刷］ダイアログ
（Mac OS 9）.....161

ひ

ビジュアル効果（Mac OS 9）.....156
表紙（Mac OS 9）.....162
［表紙］ダイアログ（Mac OS 9）.....162
［表紙］ダイアログ（Mac OS X）.....90
表紙の給紙方法（Mac OS 9）.....162
表紙のタイプ（Mac OS X）.....90
表紙をプリント（Mac OS X）.....90

ふ

ファイルとして保存（Mac OS 9）.....172
ファイルとして保存（Mac OS X）.....88
ファイルとして保存（Windows）.....33
フォーマット（Mac OS 9）.....166
フォーマット（Mac OS X）.....88
フォント.....192
フォントデータ（Mac OS 9）.....167
部数（Mac OS 9）.....159
部数（Mac OS X）.....85
部数（Windows）.....28
部単位印刷（Mac OS 9）.....169
部単位印刷（Mac OS X）.....116
部単位印刷（Windows）.....44
プリセット（Mac OS X）.....84
プリンタ（Mac OS 9）.....151, 158
プリンタ（Mac OS X）.....84
［プリンタ固有機能］ダイアログ
（Mac OS 9）.....168
プリンタ再選択（Mac OS X）.....124
プリンタ初期設定（Mac OS X）.....115
プリンタ初期設定（Windows）.....43
［プリンタのカラー調整］ダイアログ
（Mac OS 9）.....170
プリンタの再選択（Windows）.....52
プリンタフォント.....192
プリンタプロファイル（Mac OS 9）...163
プリント（Mac OS X）.....89
プリントオプション（Mac OS 9）.....156
［プリント］ダイアログ
（Mac OS 9）.....158
［プリント］ダイアログ
（Mac OS X）.....84
プレビューウィンドウ（Mac OS 9）...152
プレビューウィンドウ（Windows）.....26
プロファイル名（CMYK）
（Mac OS X）.....120
プロファイル名（RGB）
（Mac OS X）.....121
プロファイル名（用紙）
（Mac OS X）.....121
分割印刷（Mac OS 9）.....164
分割印刷（Mac OS X）.....86

へ

ページ（Mac OS 9）.....159
ページ（Mac OS X）.....85
［ページ設定］ダイアログ
（Mac OS X）.....80
［ページ属性］ダイアログ
（Mac OS 9）.....152
［ページ属性］ダイアログ
（Mac OS X）.....80
ページの順序（Mac OS X）.....89
ページの順序（Windows）.....25
ページの順序を逆にする
（Mac OS X）.....89
ページ / 枚（Mac OS 9）.....164
ページ / 枚（Mac OS X）.....86

ほ

方向（Mac OS 9）.....152

方向（Mac OS X）.....81

ま

待ち時間（Mac OS X）.....111

め

メインウィンドウ（Mac OS X）.....125
メインウィンドウ（Windows）.....53
メッセージをクリア（Mac OS X）.....125
メッセージをクリア（Windows）.....52

よ

用紙（Mac OS 9）.....152
用紙（Mac OS X）.....121
用紙（Windows）.....49
用紙サイズ（Mac OS X）.....80, 115
用紙サイズ（Windows）.....28, 43
用紙種類（Mac OS 9）.....168
用紙種類（Mac OS X）.....93, 116
用紙種類（Windows）.....30, 44
［用紙処理］ダイアログ
（Mac OS X）.....89
［用紙設定］ダイアログ
（Mac OS 9）.....151
［用紙設定］メニュー（Mac OS 9）....151
［用紙 / 品質］ダイアログ（Windows）..26

り

リセット（Mac OS X）.....121
リセット（Windows）.....49
RIP メモリサイズ（Windows）.....42
両面（Mac OS X v10.4）.....87
両面印刷（Mac OS X v10.2）.....87
両面印刷（Mac OS X）.....116
両面印刷（Windows）.....25, 44
両面に印刷（Mac OS 9）.....164
両面プリント
（Mac OS X v10.2/v10.3）.....87

れ

［レイアウト］ダイアログ
（Mac OS 9）.....164
［レイアウト］ダイアログ
（Mac OS X）.....86
レイアウトの方向（Mac OS 9）.....164
レイアウト方向（Mac OS X）.....86

わ

枠線（Mac OS 9）.....164
枠線（Mac OS X）.....86
割付印刷（Mac OS 9）.....164